

しましたが、最後までしっかりがんばります。

4月25日 月曜日 晴

清水理恵カチア

私達が日本に着いて、丁度2週間になりました。この14日間はあっという間に過ぎてしまったという感じがします。時間が過ぎるのがあまりにも速いので、日本の1分は50秒しかないみたいです。

今日は、日本に米てから初めて、真っ青な空の素晴らしいお天気になりました。朝起きて、窓を開けると、センターにある八重桜がとてもきれいに咲いていて、月曜日であることがもったいないぐらいです。

午前中は、丸山先生の「日本事情」の授業でした。今日の授業は日本の国土のなりたちについてのお話でした。日本の東端には南鳥島という、とても変わっている島があるそうです。この島はとても小さく、満潮の時には大人が3人立てるぐらいの狭さです。その上、島の形はきのこの様で、海面にはきのこの「かさ」が出ていて、海底はその茎のように細くなっているため、いつその「茎」が折れて島がなくなってしまうか分からないぐらいです。しかし日本はこの島を守るため、大金を使っていて、島の周りの直径400kmの領海を定めているそうです。日本は国土が狭いため、このように小さな島でも大切にしているのだなあと、つくづく考えさせられました。

午後からは、土井先生の文章表現研究の時間でした。今日は土井先生とは初めての授業だったので、変わった自己紹介をしましょうということで、根岸森林公園へ行きました。江崎さんから差し入れのアイスクリームを食べながら、みんなそれぞれお話をしました。

夕方は、体育でバレーボールの練習をしました。

夕食後、みんな初めて華道のおけいこをしました。今日は、春らしいコデマリとカーネーションを生けました。

今日は青空教室を始め、とても気持ち良いうらかな一日でした。

このような新鮮な気持ちで、一年間いろいろ学んで行きたいとおもいます。

4月26日 火曜日 晴

土屋真弓

今日は玉川へ通う日です。先週より早めにでかけ8時25分には短大の校舎につきました。そこで愛吟集と全人教育論のテキストをいただきました。

1時限 国語 徳座先生

・先週の授業の復習

－日本語の表記－漢字制限

・プリントの2ページと3ページの説明

－昭和21年の漢字制限により、当用漢字で書きあらわせない言葉は、言い換えか、書き換えて表すことになった。

—その結果、

表現がやさしくなった反面、豊かな表現が失われ、かなが多くなることで、句読点が多くなり、読みにくくなるという欠点がでてきた。

3時限 全人教育論 平山先生

人生で最も苦しい
いやな辛い損な
場面を真先に
微笑みを以て
担当せよ

先生は全人教育論を理解するには知行合一（知っていることと行うことが一致しなければならぬ）が大切だとおっしゃいました。

それからテキスト「母のための教育学」研究の説明をされました。（玉川大学の学生のみ）

4時限 国語 片山先生

人間の言語記号の特性

- ・超越性
- ・恣意性
- ・生産性
- ・文化的伝承
- ・二重文節

掃りは葛西さんと木村さんと町田で買い物をしました。

こちらの学生はブラジルと違って、授業中ふざけたりせず、やるべきことはちゃんとやります。しかし、発言をあまりせず、ノートを黙々ととっていると思えば、休み時間には大声でしゃべりだりして、私はとまどってしまいます。彼らを理解するには、まだ時間がかかりそうです。

4月26日 火曜日

井上明楽

今日はAM9:45に集合はなかった。ですからAM10:20に斎藤先生の授業に出た。先生は10分遅れて教室に入った。授業では“日本語の構造”という教科書の26ページから32ページにある“助詞「が」について”という第五章を学んだ。PM1:30からは吉岡先生に“ヤンさんと日本の人々”というビデオを見て、先生にとってだいじな所を教わった。そして動作の変化はどうするか教えてもらった。この授業では、何と、全員眠い顔をしていた。私はいねむりをした。4:30から体育で卓球をやった。そして風呂に入り夕食をとって7:30から茶道が始まった。正座はとてきつくてきつくて何回か姿勢をくずした。終いにはしんぼうできなくて、くずしたまま座っていた。先生がきびしくなくて良かった。

4月28日 木曜日

丸岡アウベルト義彦

午前8時に移住センターを立つ約束でしたが15分おくれました。8時15分に移住センターを出発しました。江崎さんから頂いたプログラムでは、色々な決まった場所を見学する予定でした。けれども、交通の問題で予定通りには出来ませんでした。

始めから終わりまでガイドさんは親切に色々なことを伝えてくれました。また、質問、歌などで雰囲気を楽しませたり、見学している場所を詳しく説明をされました。

新木場、ごみで作られた夢の島から東京の中心へ行きました。東京の中心、浅草で昼食を頂いて、浅草寺の信仰と楽しみの町を歩きまわりました。そこではじめて、わたしがもっていた「日本のイメージ」昔の日本を心のなかで感じました。交通渋滞で時間を無駄にしました。

皇居外苑、二重橋、桜田門などを見学して「素晴らしい」と感じたことがいまでも残っています。その一つが霞が関ビルのパノラマからながめた皇居の広さでした。

夕日をながめながら観光バスはだんだんと横浜市、海外移住センターのほうへ進んできました…

5月2日 月曜日 晴

出合美樹

いつものように9:45に講義室に集まり、江崎さんとの顔合わせを終え、10:20に丸山先生の授業が始まる。

授業内容は先週に続いて、国土、領域、人口などについてでした。それぞれ外国（自分達の国）と比較しながら考えたので、皆もすぐに見当がついたようだった。

午後からは土井先生とでした。彼女は庭から、咲いたばかりのすずらんをもって来たりして、やわらいだ雰囲気です。授業を開始される。彼女の自己紹介、それから、今年1年を通してどんな事を勉強したいか、それぞれの希望を次のようにまとめた。

1. 手紙の書き方
2. 作文指導法
3. 詩、歌などの鑑賞
4. 文章のまとめ方
5. 板書の仕方
6. ノートの取り方

これを終え、原稿用紙の使い方を少し説明していただいた。来週の宿題も出された。（自分が1年間どんな事をしたか、初期の2カ月間の各自が持つ目標について、作文を書く。）

17:30に予定してあった体育の時間は先生の御都合で中止された。

夜は、2回目の華道の授業を受けた。

明日、5月3日から休みなので、皆それぞれ親戚の家に行くため、用意をするのに忙しそうにしていた。（Bコースの研修生は今日は早くねたようでした）。

5月6日 金曜日 晴

若林広美リンダ

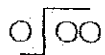
今朝9時45分に第2講義室に集まって江崎さんと会った。

10時20分に斎藤先生の音声の授業が始まった。「日本語のアクセント」の勉強を続け、拍子について説明して下さい。

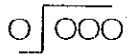
(1) 2拍の場合には：○ ○



(2) 3拍子の場合には：○ ○○



(3) 4拍子の場合には：○ ○○○



午後1時から2時40分までは井口先生の文法授業で、「は」と「が」の使い方を詳しく説明して下さい。例えば、

(1) 一般には「は」を使って、個には「が」を使う

(2) 種には「は」を使う

(3) 何に気がいたら「が」を使う

(4) 比較に「は」を使う

〔文1〕が〔文2〕

接続助詞

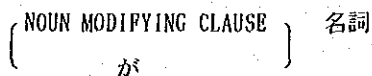
(5) _____が『動詞の連用形』

(6) 名詞と動詞の関係を示す時に「が」を使う

『名詞』が『動詞』

格助詞

(7) 名詞の前の文の中に「が」を使う



(8) においがする

音がする

4時30分から6時までは奥田先生の音楽の授業だった。「切手のないおくりもの」と「かぜよふ

けふけ」と「車にゆられて」という歌を歌った。そうして「こゆき」という歌を、立て笛で吹いた。

夜の7時30分から9時までは笹本先生と池田先生の書道の授業だった。「垣」、「寸」、「女」、「平」、「赤」と「玉」の書き方を習った。

5月9日 月曜日 晴

小田希美

朝8時に起床したため朝食時間に間に合わない。

1時限の日本事情の授業では、人口動態と特徴と地形について詳しく説明する。

2時限の文章表現の授業では、作文「1年間日本でやってみたい事」を清書し提出する。

3時限は自由

ナツちゃんと真弓と郵便局へ手紙を出しに行く。帰る途中ストアへより本を買う。楽しい。

4時限の体育の授業では、バレーボールをする。高校時代を思い出す。

夕食後生け花をする。花の名前は…忘れる。

明日は、玉川へ通学日ですので、早く寝ます、といってももう11時です。

おやすみ

5月10日 火曜日 くもり

山内光子

今日は3回目の大学へ行く日でした。

まだ3回しか行ってないので、大学の雰囲気などわからないけどがんばりたいです。

2時限は“保育内容の研究”で神山先生の授業でした。

神山先生の授業はとても楽しく、今日は返事のしかたについて教えていただきました。

3時限は全人教育です。この授業はちょっとおもしろくなかった。先生の声は小さいし、学生の態度もあまりよくない。

4時限の国語1は男子生徒が身体検査だったので、女子8人でスタートした。授業は「聞く」ということにかんして、いくつ意味があるかということでした。とてもおもしろく、わかりやすいです。

夜は、明日18回生の研修生徒が地方へ行っていまうのでたぶんおそくまでおねれないと思います。明日から静かになって少しさみしくなる。

みんながんばってもらいたいです。

5月11日 水曜日 晴

関口ナツコ

今日で18回生の数人とお別れ。知りあって1ヶ月ぐらいだけど、すごく仲よしになれたのに、もう行ってしまふなんて…

みんなそれぞれの勉強をするために日本に来たのはわかる。でも悲しいよ。お昼の食堂はシーンとしてBコースしかいない。

ふざけてばかりでも本当は頭の回転が早い大阪のあんちゃん、こと、本田君、笑い声が人をなごませるみっちゃん、みんな本当にいい人。元気でがんばって下さい！

午前は文献講読、午後は教材研究、体育の時間はサイクリング、夜は茶道と忙しいかったけれども充実した1日でした。

5月12日 木曜日

宮 脇 郁 代

雨降りの日でした。午前9時45分に第Ⅱ講義室に集合しました。遅れて来た方もいました。江崎さんは外国人登録について話しましたが、行く日が決定しませんでした。

午前10時25分に坂根先生の授業が始まりました。

授業の内容：

- I. 読み方テスト
- II. 漢字の音と訓読み方

いちがつ みっか ひとり
一月（音） 三日（訓） 一人（熟字訓）

III. 助数詞の種類

1. ひとつ ふたつ みっつ
2. いち に さん

A. 数詞の部分も助数詞の部分も変わらないもの

いち } がっ じ ねん
に } 月、時、年
さん }

B. 助数詞の部分が変わるもの

いっ → そく ~ かい ~ (ぼ) ~ (ほん)
に → そく ~ かい ~ ほ ~ ほん
さん → (ぞく) ~ (がい) ~ (ぼ) ~ (ほん)
足 階 歩 本

4. 助数詞の使い方

助数詞	形状や性質	例
冊(さつ)	書物など	本、ノート、辞書、雑誌

IV. JR鉄道会社について教わりました。

民営化された国鉄の目的は旅費が高くて人は少なくなり、事務員のサービスが悪くなったからです。あたらしい鉄道会社は現在7社あります。

午前から始めた授業は午後4時10分に終わりました。休む時間があつたから疲れませんでした。

今日は、内容がわかりましたので楽しかった。18回生の研修生が出発されてからセンターは静かで淋しい感じですよ。

5月13日 金曜日

葛西順子ルシア

今日は9時30分に斎藤先生から“(Bコース)研修課題”のオリエンテーションがありました。

その研修課題とは、この一年の間に何か自分のテーマを見つけ、いろんな調査するなり、図、表、テープを作る。そして論文か、教材その物でも何か、残しておくような物、日本語、日本語教育、日本文化に関することは何でもいいということです。私は、頭をかかえこんで自分のテーマを見つけようとしています。

その後音声の授業には、トクシマは「ク」が無声化するため、アクセントが一つ後へずれるとか、「ン」、「ツ」、母音の連続がある時には、アクセントが一つ前に移動することがわかりました。

お昼からは、井口先生の文法がありました。ちょっと「は」と「が」を復習してから、場所の「デ」と「ニ」のちがいを例文を使いながら勉強しました。

16時30分から楽しい音楽の時間でした。私はあまりわからないので大変ですが、それでも、楽しいです。

19時30分から書道の授業で今夜からは、17回、18回生の子弟研修生と一緒に習字をするので、またにぎやかになりました。

今日で日本に来て丸1ヶ月です。昨日来たみたいな気もするけれどあっと言う間に、もう1ヶ月たってしまったんだなあと思い、まだまだホームシックにもかからないようで、何事にもくじけずがんばっています。

5月16日 月曜日

木村直美

今日江崎さんは、お休みでしたが、時間通り、10時に丸山先生の授業が始まりました。

最初に先生は、来年の3月までの予定表をプリントにして配られ、一週間の時事問題を詳しく話して下さいました。日本事情については、先週の地形の続きと、日本の気候を勉強しました。

午後は、1時10分から土井先生の授業がはじまり、先週書いた作文の間違っているところを直したり、正しい文章表現の仕方などを一人一人個人的に教えて下さいました。

体育の時間には、くじ引きでペアを組み、卓球の試合をしました。最後に丸岡君と宮脇さんがいい勝負をして、丸岡君がBコースのチャンピオンに決定しました。

夜は華道に17回生、18回生と、井口先生も一緒にとてもにぎやかでした。今日は、バラと、えぼしを生けました。

バラは生ける前、水切りをして、お湯に少しつけると、よく水が上がると習いました。

明日玉川へ通学の為、みんなは早く休んでいた様でした。

5月17日 火曜日

清水理恵カチア

今日は朝から大分暖かくなってきました。もう夏が近づいてきたのかな。

火曜日は玉川へ通学の日です。火曜日を除く平日には私達はセンターでいろいろな授業を受けていますが、この週に一回の通学は私にとってとても待ちどおしいです。

玉川大学での1時限目は国語です。徳座先生は漢字の構成法について授業をして下さいました。漢字を大きく分けると次のように分類できます。

1. 象形文字
2. 指事文字
3. 形声文字
4. 会意文字
5. 仮借
6. 転注

ちなみに一番多いのは形声文字です。

これからこのようなことをもう少し深く勉強することになると思います。

3時限目の音楽の時間では毎週玉川学園の愛吟集の中から2、3曲を歌う練習しています。みんな大きなきれいな声を出すので、とてもすてきなメロディーになります。それから童謡の簡単な伴奏の仕方を教えてもらっています。

4時限目は片山先生の国語の時間です。言語というのはそれぞれ社会独自のものであり、日本語を学習するとは、日本語的な考え方を身につけることであると先生はおっしゃいました。

授業が終わってから、玉川学園の主任の倉岡先生の御挨拶がありました。先生は日本語を教える場合に日本文化、日本人の心も伝えることができるように、私達もこのようなことをできるだけ体験していくようにと、言われました。

その後は皆、いくつかのグループに別れて、センターへもどりました。今日はなんとなく皆疲れてしまったみたい。

5月18日 水曜日 晴

土屋真弓

9:45の集合がなかったし、JICAの総裁がお見えになるので、授業の前にみんな部屋の掃除をしました。

今日の斎藤先生の授業は文献講読でしたが、いつものように音声の授業の復習から始まりました。それから「日本語の構造」のP28からP31までみました。ページ数だけみると大して授業が進んでいないようですが、それはみんながどんどん質問したり積極的に発言するからです。

11:30総裁が私達に挨拶をしに講義室まで来られました。

13:30からの視聴覚教材研究の授業ではビデオテープ「ヤンさんと日本の人々」第6話を見まし

た。動詞の過去形、いつ行きましたか／いつ行ったのですか、の違い、～するつもりという形ができてきました。

16:30の体育ではテニスとバドミントンをやりました。ボールがとんでもない方向へいってしまって、打ち合うというより球ひろいをしていたようなものでした。

19:30から茶道、今日は内山さんと清水さんと木村さんがお茶をたてました。

昨日玉川大学へ行ったので、みんな朝から疲れた顔をしていました。これからもっと大変になるでしょうが、がんばりましょう。

5月19日 木曜日

井上明楽

昨日の夜、AM3:00まで漢字の勉強した。朝AM7:30に起きて朝食をとってまたAM9:00まで漢字の勉強をした。それからすこし休もうと思ってベットによこになった。AM9:45の集合に遅れてしまった。今日の授業は三つとも坂根先生です。文字と表記と所外研修指導です。今日のテストはうまく行かなかった。

5月20日 金曜日

丸岡アウベルト義彦

今日は、9時30分に斎藤先生から「Bコース」研修課題のオリエンテーションがありました。日本語教師本邦研修生たちは自分の課題を決めてなかったと感じた。

10時20分に音声の授業で、復習、アクセントの規則、その中で日本人が好きなアクセントの仕方を勉強した。

13時から文法、「で」と「に」の使い方(数、出来事、移動、状態)などの勉強であった。

16時30分に音楽が始まって、奥田先生の授業(白い道、遠い世界にと友達はいいもんだ)という曲を歌って、シャープとフラットの働きと笛とピアノの練習があった。

19時30分から書道で筆で「千、手、子、合、上」などの漢字の書き方、規則などの注意で一日の勉強が終わった。

5月23日 月曜日 雨

若林広美リンダ

今朝、丸山先生の日本事情の授業でいろいろな自然災害のことを話した。もし地震が起こったら、机の下に避難したほうがいいと教えてくださった。

昼から、土井先生の文章表現研究の授業があった。推敲する時、何に気をつけるかと教えてくださった。そして、7月までの予定をいただいた。

それから、体育の授業にラジオ体操となわとびをした。

夜の華道の授業にれんようとしゃくやくを生けた。しゃくやくはまだ咲いていないので、咲くのを楽しみにしている。

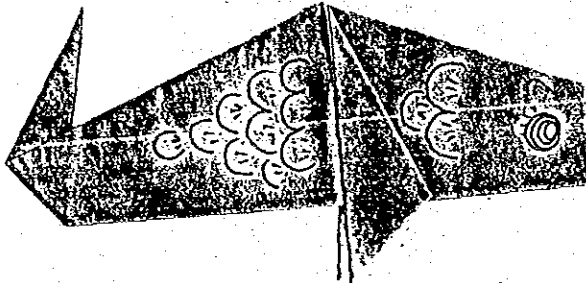
5月24日 火曜日 晴のち曇り

出合 美樹

とてもすずしいあさを、まだはんぶんねむっているかおをかかえて、たまがわがくえんにむかう。はやめがくえんにとうちゃくしたので、みんなえきまえのこうばいぶで、それぞれかいものをしたり、かいもしないざっしなど、あさりよみをしていた。そのご、こくさいきょうりよくしつにゆき、くぼられていなかったぶんのきょうかしょをかばんにいれ、それぞれかくきょうしつにむかう。

1じげんめのわたしたちのじゅぎょうは、とくざせんせいのこくごIだった。このじゅぎょうまでにていしゅつするしゅくだいがあったのだが、くらすのはんぶんくらいしかださなかつたようだ。

2じげんめのほいくないようのけんきゅうで、おりがみをした。そのほかかみやませんせいから



たきでも いきおいよくのぼっていく
こいのように
げんきなこどものせいちょうを
ねがって こどものひをきねんする

“ごいをひろめるため”のいろいろなほうほうを、かのじょのけいけんからたとえておしえてくださる。そのなかでも“そだちあいのしどう”ようするに、せんせいがしぜんのかんきょうのなかでのせいかつから、たくさんのことをこどもからひきだし、しどうしてゆく、そしてこのかんきょうも、いとてきにけいかくをたてるのも、だいじだとのべていた。

ごごからは、おんがくIIだった。べんきょうのきんちょうかんから、すこしかいほうしてくれるこのじかんがたのしみになってきた。そのあとのこくごのじかんのせんせいも、じゅぎょうちゅうのかいわをとともだいじにするかたなので、ひょうげんゆたかなじゅぎょうである。きょうは、3、4にんがじぶんがよんだほんの、どくしよしょうかいをした。かんたんで、わかりやすいしょうかいだった。

このごろ、たまがわのくらすめいとともやわらかいゆうじょうかんじょうが、かよいつつあるふんいきが、すこしずつそだってきたようなきもする。

きょうかしょがふえて、おもいかばんをかついだせいか、かたがこったひとがいたようだ。

たいへんよみにくいひらかなでかいて、すみませんでした。かんじのじゅうようさを、かんじとってみたかっただけなのです。へへへ

5月25日 水曜日 晴のち曇り

小田 希美

7時10分に起床

昨日に比べ寒い。

いつものように9時45分に教室に集合する。特別な知らせはない。

1時限の授業文献構造では、形容詞文の「が」と動詞文の「を」そして、動詞の活用形について勉強をする。

2時限の授業視聴覚教材研究では、「ヤンさんと日本の人々」の第7話をビデオで見た後、「—— ています」「—— ている」という終文について学ぶ。

3時限は自由時間

私は、北海道で研修を受けている、いとこの郁に手紙を書く。

4時限は体育でテニスをする。

夕食後、9時まで茶道がある。しびれがきれ……

9時から11時前まで「夜のヒットスタジオ」という番組を友達と見る。

妹の佳恵から手紙が明日来る頃なので楽しみです。おやすみ

5月26日 木曜日

山内光子

今日は、木曜なので一日中坂根先生の授業だった。

1時限は漢字の読み書きのテストから入っていった。テストが終わってから2時限にわたり、漢字の成り立ちを教えてもらった。六書というものがあり、今日は時間のつごうで象形、指(示)事、会意までしかできなかった。ちょっとおもしろいテストもした。それは象形文字もそうでないものも、3つずつ絵を書いて、その字は何かという少しかわって楽しいテストだった。

3時限目は教育について、日本と外国の児童を対象にしたものなどをプリントでわたされて、それを見ながら、日本の子供達は、何%勉強して外で遊ばないかなどを見た。とても興味があって楽しく、皆が色々な問題や疑問をもってディスカッションできた。

夜は、今日始めて、私達の会議というか、色々なことについて話し合ってみた。とてもいいことだと思う。これから毎月1回することに決まった。これからもっと色々な問題が出てくると思うけど、それをみんなでひとつひとつ話し合って、より深くみんなのことを知りたいと思う。

5月27日 金曜日

関口 ナツコ

1時限は、斎藤先生のアクセントの授業。先生は広い知識を持っているので、話を聞いているだけで楽しい。

私たちBコースは質問をするのが好きなので、しばしば授業の内容が脱線し、別の事について話し合うが、それも一つの勉強だと思う。

2時限目は、井口先生の文法で、連体修飾について習った。この授業では、男女の言葉使いについても習ったが、中、高校生がよく使う「そうじゃな〜い」「ナウイ」などについて、話し、皆、それぞれ知っている流行語を言ってみたりして、笑いが止まらなくなった。その後、音楽と書道があ

ったが、お世辞やごますりでなく、本当にセンターに来ていただく先生方はいい人ばかりだ。

昼は、海外に移住する人達のお見送りがあり、ちょっとセンチになってしまった。今から外国に住む人の気持ちはどういうものだろう。

私はやっぱりブラジルが大好きだけど、今、このセンターでの生活に不満がなく、幸せすぎてこわいくらいだ。

5月30日 月曜日

宮 脇 郁 代

午前の授業：

9時45分、江崎さんとの集まりでした。でも特別なお話がなかったのですぐに解散しました。

10時00分、丸山先生の日本事情の時間でした。まず最初に先週新聞に大ニュースとして書かれたことを報告してくださいました。その後、日本の行政区分または、地方について特質なことを詳しく説明してくださいました。

午前の授業

13時00分、土井先生が担当される文章表現研究の時間でした。初めに、私達が書いた作文「日本にいる間にしたい事」と先生の感想を読みました。皆は上手に書いていました。次に文章の種類について勉強をしました。その後、日誌を書くのに疑問があったので土井先生に相談しました。話し合っていたら良く内容がわからなくて先生が江崎さんに相談し、決定しました。授業時間の内容を書きそれ以外は自由でした。

16時30分、勉強だけでなく健康な体をつくるための体育時間でした。始めにラジオ体操、それから二人組で色々なパスの練習をしてから、コートの中でバレーボールの試合をしました。

19時30分、18回生の研修生と一緒に華道の時間を過ごしました。今日はカーネーションとニューサイランを使って生花をしました。

5月31日 火曜日

葛西順子ルシア

今日は火曜日で、私達は大学生気分です。私と山内光子さん（みっちゃん）だけが1時間目の授業を選ばなかったので、玉川大学へは2時間目（10：40）までに着いたらいいのです。あとの皆さんは、かわいそうに7時にセンターを出て、ラッシュの電車で行くのだそうです。（でも秋からは全員、一緒なのです。つらいんでしょうね…）

私は、保育内容の研究「言語演習」－神山先生、全人教育論－平山先生と国語Ⅰ－片山先生の授業を受けています。山が三つ続いていますね。

保育内容の研究の神山先生は、優しそうで、私達留学生のことを忘れず、クラスにとけこめる様なふんいきにしてくれます。神山先生は、いつも先生と生徒の気持ちが通じ合う大切さを、よく聞かしてくれます。

今日は特別に、神山先生は授業後に、私達7人にいろんな子供が自分の想像の鳥の絵と、実際鳥を観察した後の絵、子供達が作った絵、カルタ等を見せていただき説明をしてくださいました。それで本当に子供は、大きな夢をもった芸術家なのだなあと感じました。

昼食は、カレーを食べました。それから全人教育の授業で「母のための教育学」という小原國芳先生の本を勉強するのですが、子供の教育というのは、日本人にとっては、本当にいろんな面から心配しながら始まるのだなあと感じ、びっくりするだけです。

4時間目の片山先生の授業は休講だったので、清水さん、木村さん、土屋さん達と金平先生の国語Ⅰの授業を見せていただきました。片山先生と又ちがう国語の授業だったので、とっても楽しかったと思いました。

6月1日 水曜日

木村直美

今日、9:45の集合では、特別なことはなかったので、10:00に解散しました。

10:20から、斎藤先生の文献講読の授業が始まり、動詞の活用形について、日本語の活用はポルトガル語等の活用と同じではないことを習いました。そして、日本語表現の名詞的性格、自動詞、他動詞の区別を学習しました。

13:30から、視聴覚教材研究で吉岡先生から、簡単な教材の作り方を教えてもらい、それから「ヤンさんと日本の人々」のビデオを見ながら、先生は指導事項等、わかりやすく説明してくださいました。

15:15から長野先生のスピーチの授業でした。先生はテープレコーダを出され、「これから、皆さんに前に出てもらって、3分間以内で自己紹介をしてもらう」と言われ、みんなびっくりしました。順番はくじ引きで決められ、私が1番でした。私はどきどきして、何を言ったか覚えていません。みんなの自己紹介が終わってから先生は、私達は日本語教師として、生徒の前で話すことは重要なことで、よく話せることは一番いい教材だと、順々とわかりやすく教えてくださった。

16:20に長野先生の授業が終わり、16:30から茶道がありました。今日で一通り、みんな先生の前でお茶をたてました。

夕食後、みんなは、明日の漢字のテストの勉強を一生懸命していました。

今日からの日程表は、びっしりと組まれているので、もっと忙しくなりそうです。

6月2日 木曜日

清水理恵カチア

今日は、朝から雨模様の空が続きました。

9:45の集合の時、江崎さんから、6月18日は海外移住の日なので、センターでシュラスコ会をすることになったとお知らせがありました。久しぶりのシュラスコ、首を長くして待っている人もいます。

坂根先生の授業の1時限は、漢字の読み書きのテストから始まりました。テストが終わってから形声文字について教えてもらいました。漢字は偏とつくりから成り立っていて、偏が漢字の意味、つくりは読み方を示すものが多いのです。ですから、同じつくりを持つ音読みは同じであることが多いので、字の読み方はだいたい分かるものだとして教えてもらいました。

午後からは、仮借文字について勉強をしました。仮借文字の中には「珈琲」と書いて「コーヒー」と読む単語のように、意味はなく字の音だけを借りたものが多いのですが、「麦酒」を「ビール」と読む単語のように、意味から読み方をとった単語もいくつかあるのだと教えてもらいました。

今日は坂根先生のお誕生日です。10分の休憩の間、みんなでカードに寄せ書きをし、お祝いの言葉とお花を先生に贈りました。

その後、坂根先生に横浜市磯子図書館までつれていってもらい、皆、館員カードを作ってもらいました。このカードで2週間の期間に3冊の本を借りることができるようになりました。

夜、私達の2回目の話し合いをしました。

みんなが自分の意見を述べる時間をつくるのは、良いことだと思います。

6月3日 金曜日 雨

土屋真弓

9:45の集合の時間では、東小学校訪問についての昨夜の会議の結果を、江崎さんに報告しました。会議中挙げられたいくつかの疑問点については、江崎さんが小学校へ打ち合わせに行ってから、また話し合うことになりました。

10:20に斎藤先生の音声の授業が始まりました。区、士、婦、器、社などが語尾についた単語のアクセント、それぞれが独立した2つの単語からなる複合語のアクセントをみました。そして和語には尾高型、漢語には平板型、外来語には頭高型が多いということを知りました。

13:00の井口先生の文法の授業では、修飾語について先週の復習をしました。そのあと、受給、受益の表現とウナギ文について勉強しました。今週から文法の授業は2コマやることになり、皆疲れた顔をしていました。

休むヒマもなく10分後から音楽の授業がありました。今日は一人ひとり前に出て、指揮棒をふりました。

夜の書道では先生がお書きになったカニの絵がある6月のカレンダーをいただきました。

台風2号が上陸していると斎藤先生がおっしゃいました。でも横浜には来ないそうで、皆ホッとしました。

6月5日 日曜日 晴

土屋真弓

今日は丸岡君の誕生日です。

私は小田さんと鎌倉へ行きました。そして偶然、由比が浜大通りでお祭りがあるのを知って、行

ってみました。おみこしをかついで肩にアザをこしらえましたが、とてもいい思い出になりました。

6月6日 月曜日 晴

井上明楽

今日丸山先生の日本事情の授業が水曜日に移されて午前中授業は無かった。だから朝の集合が無いと思って部屋で寝てた。すると集合があると言うので急いで教室に向かった。なんとその日に限って、ポリビアから帰国したセンターの新しい総務課長を紹介された。

午後から土井先生の1時間めが無かったのでPM2:40から2時間めに出た。この授業では説明の練習をするためにみんな何か物を持ってきてクイズでそれを当てるゲームをした。

私はこまを持ってきた。得に変わった物を持ってきた人はナツコさんと丸岡さん。それぞれ光ゲンジのポスターと、黒いマジックペンでハートの絵を書いたものを持ってきた。それから宿題に出された説明文を、若林さんとお互いに見せあってそれぞれ意見を言った。

PM5:40から体育があって公園に散歩しにいった。

公園から帰って風呂に入り、食事を取り、華道の授業に出た。今週の生花はよく出来たが先週ほどではなかった。

このごろ天気が良いので私の天気も晴れている。

6月7日 火曜日

丸岡アウベルト義彦

「ねむいな!」とささやいて、この一日が始まった。急いで玉川学園へ行く用意をして、海外移住センターを出た。

9時から国語、徳座先生の授業が始まった。和語と漢語の重要性。日本人としての生活では必ず和語と漢語を使うこと。まず、言葉を表現する時に自分の語いを理論的につかう時に和語、漢語という意識で使いわけるのが大切だ。その他に敬語のトレーニングと女性語の説明などがあった。

10時40分から幼児教育学で、色々な社会問題、家族関係の中で、社会関係の原形として最も重視されてきたものはふし関係とごし関係、それを纏めると、親子関係であるという勉強をした。

午後1時から2時半までは全人教育の授業であった。それから国語I、片山先生の授業では時代の流れの中で国語教育を勉強した。日本国民であるために、日本国民であることを考えて、道徳、教育、国民教育というのが、ただ一般的に人間としてのあり方を尊ぶとか、又は教育をいやすためにある「イデオロギ」の構造を持つことが大切だと授業中に思った。

6月8日 水曜日 雨

若林広美リンダ

今日は斎藤先生の都合で、文献講読の授業が9時30分に始まって11時10分で終わった。相変わらず少し復習してから新しい学科に入った。音便とウ音便のことを説明して下さった。それから、自動詞と他動詞の区別を説明して下さった。一例をあげるならば、「横たふ」という他動詞は自

動詞的用法もある。

授業が終わったら、江崎さんと本を講師控え室から第Ⅱ講義室まで運んだ。そして、本棚の整理もした。

午後1時30分から3時10分まで吉岡先生の視聴覚教材研究の授業があった。「ヤンさんと日本の人々」の第9話「魚はきれいですか。」というビデオを見て、形容動詞（な形容詞）を勉強した。そして、形容動詞を形容詞（い形容詞）と比べた。

今週の月曜日に丸山先生の日本事情の授業は休講だったから、今日3時20分から4時20分までであった。5月31日から6月7日の時事と、主な都市と陸上の交通のことを話してくださった。

4時30分に最後の授業（茶道）があった。皆一度お茶を立てたから、今日お茶碗の洗い方を習った。終わったら足が痺れたので、お茶の道具を運ぶことはできなかった。夏休みまでに正座に慣れるかしら。早く慣れて来たらいいと思う。

6月9日 木曜日 晴

出合 美樹

木曜日と言えば、漢字のテスト、前の晩はほとんどが真面目に机に向かっている。実は皆、漢字の練習をしているのです。もちろん中には、勉強しなくてもできるお姉ちゃんたちもいるようですが、彼女らもそれなりに別の科目の復習などもしていた。

坂根先生と漢字のテストを終えた後、文字について授業を進める。先週習った続きで、六書の中の形声文字やつくりについて少し形をまとめた。その後、磯子図書館に行った時の報告書を書いて提出した。

授業は4時20分に終わり、その後、それぞれ自由行動をとった。

6月10日 金曜日

小田 希美

8時半から15分に起床、光ちゃんに朝食をとってもらう。

1時限の音声の授業では、2拍名詞と1拍名詞について学ぶ。

2時限と3時限の文法の授業では、使役文と受身文について勉強をする。日本文法は、難しいとつくづく思う。

4時限の音楽の授業では、いつものように歌を歌ったり、ピアノと笛で合奏したり、指揮棒をふったりする。

夕食後書道の授業では、行書で文字を書く。字をくずさないといけないので難しい。

今日は、自由時間がなかったので疲れた。

6月13日 月曜日

山内 光子

また新しい1週間のはじまりです。

昨日は郁代さんの(24回目)誕生日だったので、江崎さんとの集合時間に例により4カ国語でハッピーバースデーを歌いました。

10時からの日本事情は交通についてでした。日本には海底トンネルがあることを知りました。

文章表現では国の日本語教育の説明文を先生になおしていただいて、みんなが前に出て発表しました。

体育の時間はバレーボールをしました。

華道はカーネーションとがまの穂を活けました。みんなだんだん上手になって行きます。

明日は楽しいな玉川大学へ行く日です。雨が降らなければいいですが…。

6月14日 火曜日 くもり

関 口 ナ ツ コ

玉川学園に通うのがとても楽しみになってきた。と、いうのは友達が二人できたから。

1時間目は徳座先生の国語の時間で、女言葉と敬語について習い、2時間目は益井先生の幼児教育で、幼児に対する世話、養護の変化を習った。この先生は、ブラジルのことを色々聞いてくるのでうれしい。

3時間目は高森先生の音楽I。初めて理恵ちゃんと美ほちゃんという玉大の生徒と友達になれて感激し、今度どこか遊びに行く約束もした。

今日は少し私的なことを書いてみたい。

昼は自分でもよくしゃべると思うぐらいみんなと話す。本当に色々な人と知り合いになり、とにかくコミュニケーションを計るのが大好き。だが、夜になるとどうしてかわからないが、すごーくさみしくなっていまい、一人になりたくなるのだから、こまったものだ。

だれもいないところでポロポロ泣き出し、どんよりした気分になってしまい、同室の郁代さんに心配かけてしまう。ごめんね!

早く自分の外見と、内側のナツコとのバランスがとれるようになりたい…

6月15日 水曜日 晴

宮 脇 郁 代

午前の部

江崎さんとの話し合いでした。

特別研修として1日馬上さんが授業参観しました。

文献構造の授業で、斎藤先生にお誕生日のお祝いの歌を、四言語で歌ってあげました。その後、音声の復習、終止形 — 連体形のはたらきについて勉強をしました。

午後の部

視聴覚教材研究では、第10話のヤンさんと日本の人々のビデオを見て勉強をしました。が、途中にマレーシアの話が出て研修生は色々質問をし、マレーシアの事を教えていただきました。

長野先生が担当されるスピーチの時間でした。まず最初、来週の課題について話しました。それから早口言葉を読みました。

10分おくれて和室に行ったので、先生は、私たちをまっていた。お茶の入れかたの練習中に江崎さんがビデオを取りに来ました。

授業は18時15分に終わりました。それから自由行動でした。

6月16日 木曜日

葛西順子ルシア

今日は、横浜市立東小学校に行く日です。

待ち待った日が来たのです。皆、色々歌や遊びなどを思い出したり、変わった自己紹介をしようと工夫したりして大変でした。

8時35分にロビーで江崎さんと会って、桜木町へ向かいました。桜木町で坂根先生と一緒にあって、みんなわくわくどきどき気分です。東小学校まで歩いて行きました。

東小学校に着き、2階の第一会議室で校長先生と二人の先生にあいさつをしました。そこで色々東小学校のことをききました。

東小学校は83年前に建てられ、約8年前に建てかえられました。生徒は約300人、横浜で1番小さい学校から15番目ぐらいだと考えられています。

東小の生徒達の地域環境を話してくれました。比較的下町で商売をしている人達の子供で、“がんばって生活をしている”ということがわかりました。

この生徒達のお父さんとお母さんは、学校へかなり期待していて、親達から希望を学校に出していて、どんな行事にもよく、夫婦またはおじいちゃんおばあちゃんも参加すると聞きました。

でも問題もあります。例えば、母子家庭で、場合によっては子供もお父さんと別れている。職業が商売であるため、子供の生活とずれがあって、さびしさからテレビをよく見ることになり、夜が遅くなってしまいます。

学校（先生）は、子供の生活にかかわってくると、父兄と話をしてみても相談にのったりしてあげます。

私達の質問にも答えてくれて“落第”はないそうで、もっとも子供が病気のためだとか、休んだせいで、親の方から、心配でもう一度おなじ学年をさせてやりたいという特別な時だけあるのだとわかりました。でも先生は個人指導をしたり、家庭学習させたりして、おいつく様にするので大変だと重いました。そのほか、先生は生徒の気持ちを安心させ、いやな思いをふせいでばげます仕事しなければいけないので、心理的な事もよくわかっていないとあぶないと思いました。

東小は得に先生と生徒のふれあいを大切に思ったり、子供達が体を使い、みんなで学習をして喜びを味わうこと、体験を實際、自分でするようにさせています。

この子供達の中では、かなり塾に通っている子が多く、学ぶ力も持っています。

学校では勉強のほか、お習字、そろばん、クラブ活動、英会話、田んぼ、花だん、畑等があることがわかりました。

このあと、私達は各クラスの生徒について、皆それぞれ別れました。私と井上さんと清水さんは、5の1と5の2で、一緒に体育館に行きました。

5の1と5の2組は、私達を拍手と歌と笛を吹いて迎えてくれました。それから、あいさつ、私達の自己紹介（私は傘をひろげ、“い”と書いた画用紙を見せて、“私はカサイです。日本の反対にある国、ブラジルから来ました。”と名のりました。井上さんはその“い”の上ののって、“私の名前は何ですか”と質問しました。清水さんは、“私は清水です。私がお水をもってきたら、水びたしになってしまうから…”と言って、ブラジルの地図を広げ、ブラジルは日本の23倍になることを説明しました。それからは、なわとびをしたり、サンバを踊ったり、かぶとのおりがみをしたり、いろんな質問をされたりしました。ポルトガル語でおはよう、ありがとう、ごめんなさい、先生、日本、友だち等を黒板に書いて教えました。それから私達が、みんなにポルトガル語で2曲歌いました。

そのあと私と井上さんは5の1組のクラスに行き、清水さんは5の2組のクラスに行きました。

お習字をするつもりだったんですが、時間がないということで、またいろんな質問されたりしたあと、給食を食べました。食べながら、まだいろいろ聞いたりして、なかなか食べられませんでした。

私達はみんながいろいろ書いてくれた色紙をもらい、時間どおりに2階の第一会議室にもどりました。

それから先生方は、また、いろいろ私達の質問に答えてくれました。例えば成績表は、指導の記録としてとり扱って、担任が変わっても基本的な資料として使われていること。そして相対評価は5つの段階（1、2、3、4、5）と、文字、文章にまとめたものがあって、国語の場合、話し、読み、書きの評価があることがわかりました。

私は東小学校の“子供を育てる”姿勢にたいして、すごく感動させられ、そして、小学校の先生はすごいなあと思知らされました。

6月17日 金曜日 晴

木村直美

9時半から、研修課題について、一人一人講師控室へ行って、斎藤先生と話し合いました。

時間の関係で4人だけ、聞いてもらえませんでした。

10時半から、音声の授業が始まり、今日は外来語、名詞は頭高（新しい外来語名詞）と、来板型（古くからあることば）のアクセントをもっている事を知りました。

2拍と3拍固有名詞には、人名地名によって、アクセントが違うことがわかりました。

午後1時から4時20分まで文法の授業で、直接受身と間接受身について勉強しました。文法は難

しいと、つくづく思いました。

4時半から音楽でリズム読みと、和音について勉強し、ピアノと笛で合奏しました。笛の音もきれいにでる様になりました。

7時半から、書道でした。先生は一人一人に「竹香新雨後」とお言葉を書いてくださいました。授業が終わってから、シュラスコ会の肉の味つけをみんなで手伝いました。

今日一日は休む時間もなくて、みんな疲れたようでしたが、明日が楽しみです!!

6月18日 土曜日

清水理恵カチア

今日は海外移住の日、センターでシュラスコ会をしました。

朝から皆で、おにぎり、サラダ、フルーツ・ミックス、お肉にかけるたれなどを作ったり、男の子達は、机などをグラウンドに運びました。食べ物は多く、いろいろ作るのは大変ですが、皆一緒に用意するということがとても楽しかったです。

午後3:30からもうお肉は少しずつ焼けてきて、お客さんもだんだんと集まってきました。今日のお客様は先生方、日頃お世話になっている方々でした。

少し食べてから、研修生の中から男女9組で、ボリビアのクエッカというフォークダンスを踊りました。このため女の子は白いブラウスに鮮やかな色のスカートを着、髪はみつあみにしカーネーションをさして、ハンカチを持って踊りました。

私達は2回しか練習しなかったのですが、皆ステップがそろっていなかったけれど、とても楽しく踊りました。2回目はお客様の中から18人加わって、全員36人で踊りました。

それからはカラオケが始まり、センターの所長さん、松田課長、江崎さん、書道の笹本先生の歌を聞かせていただきました。

シュラスコ会が終わり、みんな後かたづけをし、二次会をしました。今日は2ヶ月ぶりにお肉、果物を沢山食べました。おいしかった!

明日は父の日なので、研修生から江崎さんに、プレゼントを贈ります。日頃の感謝の気持ちをこめて

今日はとても楽しい一日でした。

6月20日 月曜日 晴

土屋真弓

今朝は江崎さんから、7月9日にある隣の根岸中学校の合唱祭に、私達も参加することになっているとのお知らせがありました。どの歌を歌おうかと、皆今から楽しみです。

日本事情の授業の内容は交通でした。これで日本の国土はひととおり勉強したことになります。来週からは日本史にはいります。

きょうは井上さんの誕生日なので、授業のあと「ハッピーバースデー」を4カ国語で歌いました。

文章表現では、先週のつづきで説明文の発表、そして手紙の書き方について、色々説明していただきました。今日土井先生は私達に、サクランボを持ってきてくださいました。

体育はバレーボール、土井先生も参加されました。

華道ではリアトリスとブバリアをいけました。

6月21日 火曜日

丸岡アウベルト義彦

9時から玉川大学で国語の授業が始まった。先週渡した宿題の内容について、和語と漢語のコメントであった。それから敬語の種類（ていねい語、けんそん語、尊敬語）の説明をした。

2時間目の授業はなかった。午後1時から2時半までは全人教育の授業であった。そして2時40分に片山先生の授業で、一つの文章に何を漢字でかくか、かなでかくか、あるいは何をローマ字でかくかの問題、そのような文字の使い方、考え方として答えが重要だろう、とくに小学校の教師として子供たちに正しい使い方を伝えるのがたいせつだと教えてくれた。

4時15分に金平先生から第36回学校劇夏期大学のオリエンテーションがあった。それは毎年ある劇の勉強会で、多くの先生方が対象になって集まる会である。

6月22日 水曜日 晴

井上明楽

今日斎藤先生の授業では日本語の構造の69ページから72ページまで勉強しました。

私にはとても難しくてわからなかった。午後1:30から吉岡先生の授業では、“ヤンさんと日本の人々”のビデオを見て日本の文化、日本語文法、そのほか日本語教育の教材の指導法について学びました。

PM4:30から茶道でした。今日出た菓子の名前はわりきりでした。私は宮脇さんがたてた茶を飲みました。そのほか今日茶をたてた人達は土屋さんと木村さんと山内さんでした。正座はきついですけれど、この授業はたのしい先生と一緒にお茶を飲むのは面白い。

6月23日 木曜日 曇り

若林広美リンダ

今朝、坂根先生の文字の授業で、漢字試験があった。おかしいことに先生がページを間違った。それが分かったら途中で試験を止めて、午後に新しい漢字試験をやり直すことにした。それから、漢字の組み立てについて部首の名前を全部教えてくださった。

午後の1時に新しい漢字テストを受けた。だんだん難しくなって来た。

日本語にたくさん外来語が入って来たから、どこの国から来たのか、いろいろな外来語を国語辞典で調べた。それから、符丁について新聞の記事を読んで話した。

最後に東小学校を参観した時のビデオと海外移住の日のシュラスコパーティーのビデオを皆と見た。とっても面白かった。

授業が終わったら、坂根先生が貸して下さった「GUNG HO」という映画を清水さんとビデオで見た。日本とアメリカの自動車の会社の違いについて、人間関係がうまく行くために大切なことが入っていたので、いい映画だった。皆に見せてあげたい。

6月24日 金曜日 曇り後雨

出合美樹

日々日々梅雨を強く感じされるこのごろになって来る。

午前9時から斎藤先生と研究課題についての相談があり、今日ではほとんどが研究課題をきめたようだ。今日の音声の時間は「日本語音声概説」という新しい教科書を使って授業を進めた。

午後からの井口先生の授業は、いつもより多く進む事ができた。「尊敬」「可能型」「たい、たがる」「けんじょう」「ていねい」「する」などの使用についてだった。

音楽の時間には合唱祭のための歌を練習した。とりあえず英語、ポルトガル語と日本語で「小さな世界」という曲を選んで何回も歌ってみた。英語の方が少し発音がむずかしいので、あまり声がそろわなかったような気がした。

夜の書道の時間はいつもとちがって、始めの時間は、先生から配られた絵ハガキに、それぞれメッセージをペンで書きそえて、先生の住所を書いて、あとでみんなまとめて送ってもらう事になったようだ。

今日はとっても疲れた1日だった。

6月27日 月曜日 雨

小田希美

1時限の日本事情の授業では、日本のあゆみの日本民族のはじまりと自然の中に生きた時代について学ぶ。

2時限と3時限の土井先生の文章表現研究では、本の紹介をする。

4時限の体育の授業では、ピンポン(ダブルス)をする。

夕食後華道の授業では、ゆりを生ける。

きょうは、パラグアイから便りが来たので嬉しかった。12時頃まで返事を書く。

明日は玉大へ通学日です。

6月28日 火曜日

山内光子

今日は楽しい楽しい玉大へ行く日でした。

朝雨が小降だったのでうつつだなーと思っていましたが、わたしが行くころは曇ってはいたけど、雨は上がっていました。でもかさを持って行ったからじゃまでした。

言語教育では幼稚園での3、4、5歳児の年間表みたいなものを、先生が説明されました。次にとりかたの人と向き合って、ひざをつけるような感じで、何か歌の説明をして、それを歌います。次

に2mほどはなれて同じこと、次には遠くはなれて同じこと、だんだん身ぶりで声を大きくしたり楽しかったです。

全人教育では、いつものように学生が発表して、それを板書したものを、ノートに写していました。

国語Iでは漢字についてでした。

夜は移住研修生のポルトガル語、スペイン語を参観させていただきました。私はスペイン語を見ましたが、楽しいけどスピードがはやすぎるのでは？と思ってしまいました。これからも見る機会があれば、参観したいです。

6月29日 水曜日 曇り

宮 脇 郁 代

一日の行動は、江崎さんとの話し合いから始まり、来る火曜日に玉川大学の昼食をブラジルアマゾン研修団と一緒に取ることになった。

斎藤先生の授業は音声の復習から始まり、並び名詞の拡充規則について終わった。

吉岡先生の時間は“ヤンさんと日本の人々”の第12と13話を見て、文法や祭りなどをもっと詳しく知ることができた。

次は、長野先生が担当される時間でした。まず最初に音声の復習（拍、単音、母音、子音、撥音、促音、長音）から出発し、そして、子供の前で話すことは大切だから、発声、発音とアクセントは必要だと教わり、それについて練習をした。

休みも無く和室に行き、希美さん、広美さんとアウベルトさんがお茶を順番にたてた。皆はだんだんお茶をたてるのが上手になったが、すわるのは長続きはできません。

その後、自由時間だった。皆明日の試験の勉強にがんばっていた。でも、センターの研修生全員がバレーボールをすることになったので、私も仲間に入って一緒に遊んだ。とても楽しかった。ナツコさんは、午後は気分が悪くて休みになった。

6月30日 木曜日 雨

関 口 ナツコ

昨日は頭痛に悩まされたが、たっぷり休んだので今日は元気。急に体の疲れがドッと出たみたいだ。

坂根先生の漢字テストから始まった授業は、よく使われる漢字、そして他の語に付いて、新しい意味の加わった語を作る力を持つ字の事について、と展開していった。

人という字は「ジン」とも「ニン」とも読めるので、それをういて知っている限りの言葉を二つにわけて書いていった。私は「ジン」では怪人、変人、「ニン」では犯人、悪人という名詞を板書した。

全員書いた後、先生はそれぞれの性格が言葉に出ていると言った。私はどういう性格なんだろう。

午後は歌舞伎について学び、ビデオも見ました。

朝、郵便局へ行った時にもらった風船を、5つぐらいふくらませて部屋に飾ったら、気分が良くなった。そばにはこわそうなロック歌手のポスター。

友達からも「変人」といわれるし、「私」という人間は一体どうなっているのだろうか？

7月1日 金曜日 晴

葛西順子ルシア

今日はウキウキ気分の金曜日です。え?!なぜかって?だって明日はナント、東京デズニーランドへ行く日ですもの!!それに、斎藤先生の都合で音声の授業がなかったので、朝はゆっくりしました。

でも10時から、根岸中学校の合唱祭のための練習をしました。皆うれしそうでした。

13時には井口先生の文法の時間でした。“オノマトペ、である、ている”を勉強しました。先生もスペイン語に興味を持ち始めたので、おもしろいと思いました。

その後、音楽の授業で、奥田先生に練習はどんなにか大切な物かと言われました。やっぱり1回だけでは無理で、はずかしい気もしました。

夜は、お習字でした。とっても難しかった。

7月2日 土曜日 晴

木村直美

やったー!今日はディズニーランド見学です。

私達は井口先生と7時50分センターを出発して8時01分の電車で東京へ向かいました。

みんなは、嬉しさを隠しきれず、電車の中で歌ったり写真を写したりしていました。

東京駅で江崎さんに会い、バスでディズニーランドへ行きました。ディズニーランドには予定より、10分早く着きました。

入口で江崎さんから、入場券をもらい、中に入ってから集合場所と時間(5時)を決めて、それぞれ別れました。

私は江崎さん、井上さん、丸岡さん、葛西さん、出合さん、宮脇さんと一緒でしたが、他の人達は2人、3人で行動していた様でした。

私達は、次の順番に回りました。

- ・カリブの海賊
- ・ウェスタンリバー鉄道
- ・デビークロケットのカヌー探検
- ・イツ・ア・スモールワールド
- ・スペース・マウンテン
- ・白雪姫と7人のこびと

- ・ホーンテッドマンション
- ・ビッグサンダー・マウンテン

アトラクションに入るのに待ち時間が長くても、みんなは列で申し合いもせず行儀よく待っていました。中には、疲れて居眠りをしている人もいました。

私達が回ったアトラクションは、どれも私には珍しいものばかりで楽しかったですが、スペース・マウンテンとビッグサンダー・マウンテンが大変印象深かったです。私と郁代さんは、これらに乗ってとても恐く、顔色は赤く青くなり、どきどきしていましたが、丸岡さんは平気でパチパチと写真を撮っていました。後で丸岡さんから「よく、さげんでいたね!」と言って、からかわれました。

まだ回りきれない所も沢山ありましたが、買い物をして、集合場所に行きました。全員がちょうど5時に集合しましたので、江崎さんは、感心された様でした。

帰りのバスに乗ってから、だんだん疲れが出て来ました。それぞれ楽しかったことを話していると、あっと言う間に東京駅に着きました。

東京駅から大船行きの電車に乗り、センターに着いたのは、7:30でした。

私には生まれて初めてのディズニーランド見学でしたが、東京ディズニーランドの経営等には、正直に言って感心しました。

今日一日の感激は、このノートに全部書き表せません。でも一言で言えるのは、今日一日ありがとうございました!

7月4日 月曜日 曇り

清水理恵カチア

今日からまた新しい一週間が始まろうとしています。

9:45江崎さんとの集まりがありました。「ディズニーランドで楽しんできたし、これからも勉強もがんばって下さい」とのことでした。まだ土曜日の疲れが少しのこっている人もいるみたい…。

まず丸山先生の日本事情の授業です。今日は日本人の祖先についての勉強をしました。

午後から土井先生の授業で、今日は先週の続きで本の紹介を井上さん、山内さん、若林さん、小田さん、宮脇さん、出合さんと土井先生がしてくれました。みんなそれぞれいろいろな本についてお話ししてくれて、私もそのような本を読みたい気持ちでいっぱいになりました。

その後は体育の時間で皆バレーボールをしました。

夕食後、華道の時間に紫色のトルコキキョウというお花とつつじを生けました。皆だんだん生け方が上手になってきたみたい。

華道がおわってから、Bコース全員、土曜日に根岸中学校で行われる音楽祭のため、「小さな世界」という曲を英語、ポルトガル語と日本語で練習しました。土曜日までみんながんばりましょう!

7月5日 火曜日 曇り

土屋真弓

今日は玉川大学へ通う日でした。

1時限目-国語

・方言・プリントのP17から

・共通語
 {
 標準語

・方言は3つの角度(音韻、文法、語彙)でとらえた方が、わかりやすい。

12:00~12:50

アマゾン青年研修団と文Ⅱの講義室で昼食会

3時限目、全人教育論

美の教育、「母のための教育学」P216 ~ P242

- ・美育の必要
- ・美とは何か
- ・美育の実際問題

4時限目、国語Ⅰ

仮名遣い { 現代仮名遣い
 { 歴史的仮名遣い

授業のあと、清水さんと原宿駅にある「The American Train In Japan」を見に行く。住宅館からミュージック館まで色々あって楽しかったが、アメリカを知るには、映画やコンピューターを通してでなく、実際に行ってみる方がいいと思った。

7月6日 水曜日 晴

井上明楽

今日の朝9:45に起きた。びっくりしてズボンをはいてシャツをきて急いで教室に向かった。午前の授業は斉藤先生の音声でした。先週の金曜日の音声は今日に移されたのです。先生が書き取りをして正しく答えたのは土屋さんだけ、先生に叱られた。これから復習して学んだことを生かさないと言われました。恥ずかしい。それから母音の発音を学んだ(口の形、舌の位置、動き)。

吉岡先生の授業では又ヤンさんのビデオの13章を見て、他動詞と自動詞の使い分けと、ヤンさんのビデオを副教材としてどう使ったらいいか、そしてどう注意しないといけないか、を学びました。そのあと隣の根岸中学校に“下見”をしました。帰りに江崎さんにアイスを奢ってもらった。

今日茶を立てたのは私と直美とカチアといくよさんでした。菓子の名前はつたでした。

ああああ……これから漢字の勉強……辛いな――、がんば がんば。

7月7日 木曜日

丸岡アウベルト義彦

昨日、研修生達プラスBコースでバレーボールをして、腰を痛めて寝ることもできなかった。今日、午前中は休ましてもらった。

午後15分ぐらい遅れて坂根先生の授業を参加した。不、非、無、未が名詞や動詞などと組み合わせた時の働きの説明とプリントを貰った。そのあとに「厳しい採点は漢字嫌いを作る。」という題のプリントを読んで、その一つの講義のレポートの中で、学生たちは小学校で受けた漢字教育をどのように思っているか、また、Bコースの教師たちの意見と比較した。

例：

「不」不可能、不器用、不愉快…

「非」非公開、非礼、非公式…

「無」無意味、無制限、無色…

「未」未完成、未婚、未発表…

7月8日 金曜日 晴

若林広美リンダ

今朝斎藤先生の授業は休講で、午前中授業はなかったので自己研修の時間だった。

午後1時から井口先生の文法授業があった。「～てしまう」を使える動詞を知らせてくださった。それから、時制（テンス）と相（アスペクト）の違いを説明してくださった。動詞の活用で過去形→現在時制→未来形を表わせる。もう一つのテンスの言い方は過去形と非過去形（＝現在制と未来形）それで日本の動詞と時制の関係を教えてくださった。「〔動詞の終止形（現在時制）〕ために」は目的を表わす。「〔動詞の過去形〕ために」は結果とか理由を表わす。そうして、ムードについて少し話してくださった。最後に「～よう」と「～らしい」と「～そう」の違いを説明してくださった。

(1) 「～そう」は伝聞の時に使う。

(2) 「～らしい」と「～よう」は自分で見てから自分で推量する時に使う。

(3) 形：「～だそう」

「～のよう」

〔動詞の連用形〕 そう

〔動詞の終止形〕 よう

〔名詞〕 らしい

午後4時30分から6時まで奥田先生の音楽授業があった。「七夕様」と「星の世界」という歌を歌って、明日（根岸中学校の合唱コンクール）のために「小さな世界」を練習した。2週間にわたって、皆、英語とポルトガル語と日本語で歌えるようになり大分良くなり来た。それから、「エーデルワイス」と「不思議な笛」と「花てまり」を笛で吹いた。最後に「気球に乗ってどこまでも」

という歌を歌った。

昨日は七夕だったから、竹本先生と池田先生の書道の授業にも七夕について勉強した。今晚は小筆を使い、平仮名と漢字がまじっていたからとっても難しかった。けれども、同時に面白かった。

明日、17回生と18回生とBコースの研修生達と一緒に、平塚の七夕祭りに行くのを楽しみにしている。

7月11日 月曜日 雨

出合美樹

先週の土曜日、根岸中学校の合唱祭で練習の成果を発表した。心をひとつにして歌うと言う事がどれだけ難しいか思い知らせれた。

週末の疲れを背にして始まる月曜日、天気も晴れていないせいか、皆今いち元気がなかった。

丸山先生の授業では弥生時代や大和国家成立の説明をして下さった。

午後からは土井先生と要約文について勉強した。

その後、体育、華道の時間まで順調に授業が進んだ。

今日はカラッポなメモですませさせていただきます。

申し訳ありません。

7月12日 火曜日 晴

小田希美

今日は玉川大学へ通学日なので、6時15分に起床する。前期で最後の授業日だ。

1時限の楽しい音楽教材研究の授業では、4年生と私たち（直美さん）が、指揮棒を振る。150人ぐらいの学生さん達の前で振らないといけないので、すごく緊張する。

音楽教材研究は前期で終わる科目なので、授業後、高森先生と直美さんと私3人で、写真を撮ってもらう。とても楽しい授業でした。

2時限の保育内容では、ビデオ（日本の幼稚園）を見る。

私たちのために送別会をしてくれる。農学部のアイスクリームをいただく。

『いつのことやら思い出してごらん、あんな事こんな事、あったでしょう…』という歌を歌ってくれた時には、涙がポロポロ…

先生や学生さん達に折り紙で折った鶴、カメ、まり、やっこさんなどをもらう。

3時限の全人教育論は休講だったので、文学部の食堂でアイスクリームを食べながら、おしゃべりをする。

4時限の国語Ⅰの授業では、かなづかい、文法と文法学説、日本人の言語生活などについて学ぶ。先生はものすごいスピードで授業を進める。

授業後、みんなで写真をとる。

前期最後の授業だったのでなんだか悲しい気持ち。

帰って、この日誌を書かないといけない事がものすごく辛い

おやすみ

7月13日 水曜日 曇り

山内光子

今日もいつも通り、9:45から江崎さんとの話がありました。

8月のホームステイが中止になったので、そのかわりに、もしかしたら「軽井沢へキャンプへ行くかもしれない。」といううれしい知らせがありました。まだ、決まったわけではないので「そうならばいいー!!」と皆が思っています。

1時限は斎藤先生の文献講読でした。でも例によって、はじめの20分間ぐらいは音声の書き取りでした。少しはよくなったと皆、先生からはめられました。今日の授業は「名詞・動詞の拡充」で「名詞、副詞的修飾語、動詞について」を教わり、「非文」「破格」なども教えてくださいました。

2時限は視聴覚教材で「視聴覚教材の一般的特性」、「視聴覚教材を利用する際の一般的心構え」「各種の視聴覚教材」の3つに分け、これらを考えました。このあと絵と写真(パネル、フラッシュカード)では、どちらがいいかなど、先生が実演され、皆で意見を言いました。

3時限は永野先生のスピーチでした。今日はずっと前からの宿題、「小学3年生～4年生の子供達相手の自己紹介」の発表でした。私が1番目になってしまい、はじめだったのでとてもあがってしまって…、でも皆色々工夫をしたとても楽しい自己紹介でした。

スピーチが終わるとすぐ茶道です。今日は広美ちゃん、まゆみちゃん、美樹ちゃん、私がお茶をたてました。私はちゃんと最後まで出来たのはいいが、足がしびれてしまい立てず、やっと立てたかと思うと動けなくて、本当にどうしようもありませんでした。あと少しなんだけどな～。

明日は漢字のテスト、今からがんばるぞ!!

7月14日 木曜日 晴

関口ナツコ

今日は坂根先生の授業で公用文の書き表し方を習った。王さまは「おおさま」と書くか「おうさま」と書くか。

世界中は「せかいちゅう」、「せかいじゅう」のどちらだろうか、などである。答えはなんとなくわかるのだが、説明するのはむずかしい!

又、漢字の筆順も習い、午後からは横浜市図書館に行った。一般の人は入れない本の倉庫を見学することができました。昔の商人が外国人と交渉するのに用いた、手書きの辞書は、大変興味深かった。

帰りに江崎さん、先生と私たちは文明堂に入り、ほっぺが落ちこそうなケーキを食べた。

江崎さんとお出るのは楽しい。なぜならば、一緒に遊んでくれるからだ。道を渡るときも二人して手を上げながら渡ったり、面白い話をするので笑っぱなし。

最近ナツコ、自称「かわいこちゃん」は元気いっぱい。

そうそう、掲示板に私の後ろ姿の写真をバ〜ンと張られてしまいました。犯人はだれでしょうね。
体育の井口先生？

7月15日 金曜日

宮 脇 郁 代

朝から雨が降り続けました。この季節は病気になりやすい。ですから井上は授業をやすみました。
江崎さんの連絡、「最近センターの教室の電気が夜中までついていますが、夜更ししないように
体を気をつける。」

今日の音声の授業では、まず最初に復習、アクセントを付ける練習でした。皆だんだん良くなって
来ましたので先生はほめました。当日の勉強は無声音と子音のテーマでした。

文法の1限目の授業は、否定(〜ない)、2限目は、接続助詞の、と、、ば、なら、たらの違い
について教わりました。新しいテーマでしたから難しかった。休み時間に井口先生にお誕生日のお
祝いをしてあげました。誕生日の歌を歌ってあげたり、ケーキを食べたり、話したりして、楽しか
った。先生は、勤め始めてから初めての誕生日だと喜んでいました。

音楽の時間には、根岸中学校で合唱祭に参加した時のビデオを見てから、歌や笛をふく練習など
をしました。

書道の時間には、先生から絵葉書、筆ペン、先生が書いた7月の暦などをもらいました。さっそ
くいただいた絵葉書に自分で字を書きましたから、とてもうれしかった。

7月18日 月曜日

葛西順子ルシア

今日は、丸山先生がすごい感受性を持っていることが分かりました。先生は私達に色々教えるの
に一生懸命ですので、私達が質問する間もない授業をします。でも、先生にしてみたら、私達の反
応がないと思い、ずいぶんやんでいたのです。もっと早く私達に言ってくれたらよかったです
ですが…

13時には黄色いカーネーションを持って、土井先生が教室に入って来ました。今日は試験の日だ
ったからです。試験は難しくありませんでしたが(「推敲のことについて」と「手紙の書き方」)
自己評価の方がずっと難しかったです。

そのあと、最後の音楽の授業でした。夜は山なすというおもしろいものを生けました。

今週は試験がびっしりあるので大変です。明後日、山下公園の花火大会に行けるのかなあ…行
きたいな…行こうかな…どうしようかな…勉強、早く始めよ!!

みんな頑張りましょうね!

7月19日 火曜日 晴

木村直美

今日は火曜日で、玉川大学には10月まで行かなくてもよいので、今朝はちょっとものたりない気がしました。それに江崎さんとの集合もなかったので、余計にこたえました。

10時20分から、今年の日本語能力試験について、斎藤先生から説明がありました。6名だけ受験しますので、説明後一人一人先生と話し合いをして、何級を受けるか決めました。後の6名は、もう1級合格しているので、先生から「今年、又受ける必要はないから」と言われ、今日午前中は、自由行動でした。

午後から斎藤先生と、研究課題について話し合いがあり、みんなもだんだん内容も決まって来た様です。

話し合いが終わった順に、出かける人や、センターでゆっくりしている人もいました。

夜7時30分から、講堂に移住研究生、17回生、18回生、Bコース全員集合して、総務課長さんから、7月26日予定の実施防災非難訓練の説明がありました。そして研修生の中で、初期消火係、避難誘導係を12名決められました。「みんなのために、26日は真剣に、訓練を受けなければならない。」と最後に注意がありました。

明日テストはありませんが、次の漢字と文法のテストが一番心配です。みんなも、文法のことを気にしている様で、9時半頃廊下は静かです。みんな勉強しているのかな？

7月20日 水曜日

清水理恵カチア

今日は9:45に江崎さんとの集まりがありました。

それから斎藤先生の文献構造の授業でした。まずアクセントの書きとりをしました。これは来週ある試験のための練習ですが、まだまだ練習しなければいけないなという感じがします。

午後からは吉岡先生の授業で、今日は、視聴覚教材のうちカセット・テープの使用法について少し勉強しました。使用の際の注意、自分で作る場合気をつけなければならないことなどを、市販されているテープの幾つかを参考にしながら、説明していただきました。

その後、長野先生のスピーチの時間でした。今日はまず、先週私達が小学生を対象にした自己紹介についての、コメンタリーを聞きました。それからみんなで、言葉遊びのいくつかを読みました。中にはとてもリズムの楽しいものもあり、おもしろかったです。私達は3グループに分けられ、来週までに用意するようにと言われました。

16:30からはお茶のおけいこです。今日は井上君、山内さん、宮脇さんと私の4人がお茶をたてました。みんなもうだいぶ慣れ、上手になってきているような感じがします。

お茶のおけいこが終わってすぐ、木村さん、出合さん、関口さん、葛西さんと私は、横浜・山下公園で行われた花火大会を見に行きました。ちょっと雨が降っていたのは残念でしたが、とてもきれいな花火には感動しました。

さあ、明日は漢字の試験！皆さんがんばりましょう！

7月21日 木曜日 曇り

土屋真弓

今日は文字表記の試験の日、わりに簡単でした。

そのあと、アンケート（1. 自分の文字、表記能力について、2. 文字表記を教える時の注意、3. これからの授業に対する要望）を書きました。そして坂根先生が持ってきてくださった古本をみました。

午後は、国立劇場の歌舞伎教室に行きました。事務室の中村さん、体育の井口先生、坂根先生と一緒にでした。山内さんは気分が悪くて休みました。作品は「毛抜」磁石を使い、鉄製の櫛こうがいを引きよせ、髪を逆立たせるという発想が奇抜でおもしろかった。

帰りは、凡人社により、それぞれ研修課題に役立ちそうな本や辞書などを買いました。

7月22日 金曜日

井上明楽

今日は文法の試験だった。皆緊張していて先生を待っていた。13:05先生は未だ来ない、13:20先生は未だ来ないので、江崎さんがホームステイの変わりの野外指導研修について説明を行った。13:30先生は未だ来ない、皆心配していた。先生がセンターに着くまで美コースは解散、黑板にはこう書かれた。

“今日の試験は先生の不在（又はちこく）によって中止致します。”

美コース

先生は14:10についた。センターから美コースが呼ばれて、試験が始まった。16:30に試験は終わった。フ……………おつかれさま。

文法は午後からでした。その後体育（最後の授業であった）と書道でした。

午前は斎藤先生の音声の授業であった。

個々で一安心、後残るのは音声の試験とスピーチだけ。

7月25日 月曜日

井上明楽

丸山先生は日本の歴史の続きを私達に話してくれました。そして日本の神話についても少し話してもらいました。神話は面白いですね。

土井先生の授業では丸岡さんが“のぐちひでお”と言う本を紹介しました。木村さんは“一年一組、先生あのね。”と言う本を紹介してくれました。

その後、私以外は読む練習をした。それぞれ自分が好きな本と歌詞を読んだ。皆疲れた顔をしていたから先生は早めに授業を終わった。

夜は華道の最後の授業でした。もうこれで終わりなのかと思うと面白くない、続けば良いと思う。

7月26日 火曜日

丸岡アウベルト義彦

大切な“点”

午前には音声の試験であった。斎藤先生の試験は始めに目を通した時、「このような試験も大切な」と気が付いた。簡単な例の上に多くの重要な“点”が含まれてあった。その後に川上素著、「日本語音声概説」の本で日本語の子音を勉強した。斎藤先生の授業で「考える力を伸ばす」が先生の一番の目的だと思う。3時間目は今年の能力試験のオリエンテーションであった。

7月27日 水曜日 雨

若林広美リンダ

今朝、江崎さんとの集合でいろいろな用事があった。先ず、授業は今日で終わりだから、皆さん、最後まで頑張りましょう。それから、伊豆・長岡の往復切符をもらった。そうして、今日は小田さんのお誕生日で「ハッピーバースデー」をポルトガル語とスペイン語と英語と日本語で歌った。

今週は補講の時間で今日の予定は普通の水曜日と違っていた。

午前10時20分から、長野先生のスピーチの授業があった。皆、チーム3つに分かれて、「ソメコとオニ」と言う朗話劇を上演した。いろいろな解釈を聞いてとっても面白かった。

午後1時から4時20分まで、丸山先生の日本事情の授業があった。一昨日にも丸山先生の授業があったので、時事解説は余りなかった。だから、今日直ぐ日本の歴史の話に入った。講義の話題は「文化の伝来」だった。例えば、仏教はこういうふうに関東から伝えられた：

インド→チベット→中国→朝鮮→日本

1世紀 6世紀

トロント大学の専攻は生理学と日本学だったから、私は日本の歴史と日本の文化にも興味がある。

午後4時30分から6時まで、最後の茶道の授業で関口さんと木村さんと土屋さんと山内さんがお茶を立てた。お菓子の名前はきんぎょだった。正座をだんだん長くできるようになったが、3カ月たっても、1時間もじっと座れない。

金曜日の夜に最後の書道の授業がある。それで、9月1日まで授業は休みになる。皆さん、楽しい夏休みをお迎えください。

8月1日 月曜日

出合美樹

先週金曜日は、書道の最後の日で、先生からかけじくをいただき、この日の授業はなくて、みんなでお茶を飲みながら、先生がもって来られたお菓子を食べて、なごやかな一時をすごしました。先生は細かい心配りを最後まで欠かさなかったのも、とっても心にのこる出会いでした。日本人の心を習字だけじゃなく、先生の教え方一つ一つがとっても勉強になりました。

さて今日は、待ちに待った夏期大学。朝10:00に根岸を出、伊豆長岡に着いたのは12:00ごろでした。今日のプログラムは下記のとうりです。

- 1 : 00 開会 (大広間)
- 2 : 00 講演 (“)
- 4 : 00 分科会実習
 - 第 1 (幼児) 山荘 (第3宴会場)
 - 第 2 (低学年) 雨月
 - 第 3 (中、高学年) 龍田
 - 第 4 (学級づくり) 桐
 - 第 5 (特活) 510
 - 第 6 (中学生)
 - 第 7 (脚本) 右近
 - 第 8 (ミュージカル) クラブ橋
 - 第 9 (人形劇) 小倉
 - 第 10 (朗読) 410
 - 第 11 (影絵) 白銀

7 : 00 北から南から (大広間)

夕食 : 6 : 00PM (豪華な夕食の後)

スーパー自己紹介 : 各部屋ごとに集まり、色々な方法でグループ紹介をした。寸劇、歌などを入れ
たりして各部屋がそれぞれオリジナルな紹介をした。

その後 皆で風呂に入り、部屋の友達とお話などして少し騒ぎながら、この日誌を書いています。
広島のルームメイトと、色々なお話ができて、又違う日本人に会いとても良かったと思う。

他の人も感想があれば、ぜひここのスペースに書いてほしいと思います。

今日、地震あり……こわかった。

2日目の夜はコンパがあり、とても楽しかった。楽しいなんてものじゃない。最高!!デ
ィスコパーティーだったけど、若い先生方と一緒にベテラン先生も加わり、大フィーバー。
「あわ踊り」、「ワルツ」、「サンバ」、なんでもござれ。

私たち「美コース」の十八番「小さな世界」を3カ国語で歌った。みんなも手をたたき、
一緒に歌ってくれて、最後は全員輪になり、手をつないだ。もう、大、大、大感激。

今まで何度かダンスパーティーに行ったけど、これが一番印象に残ると思う。

江崎さんはいつも私たちのために忙しそう。本当のお父さんみたい。ありがとうございます！
ナツコでした。

この日 502号室「北から南から」で最優秀賞を
とりました。
502号室=じゅんこ、みき、ノンノン

8月2日 火曜日 雨

小田 希美

夏期大2日目

7時前に起床する。

7時30分から8時まで大宴会場で朝食をする。(とても豪華)

朝食後、あい染めについての説明がある。明治頃染めた物も展示してある。1枚1枚が違った模様
様に染まっていてとてもきれい。

9時から1時30分まで分科会、私は第2の低学年の上演指導にブラジルの直美さんと参加する。

内容

- ・脚本を選ぶ時の注意点、国語以外の科目の時間との組み立てまたは計画について。
- ・『3匹の子豚』の1番難しい家造りの場面をみんなで演じる。
- ・劇遊びについて各グループで考え、考えた遊びを实际みんなで遊ぶ。
- ・『3匹の子豚』のビデオを見る。(金平先生の子供達〔生徒〕が演じた劇)

1時30分から5時まで即興劇の講座と実習がある。グループ名は“ノッポFamily”劇名は“不思議なカベ”みんなでアイデアをだして生まれた作品。

5時30分から6時まで夕食。

7時から9時まで夜の集い。各グループごと即興劇の発表をする。私とナッチャンと直美はよく
ぱりじいさんの役で、最後にはみにくいブタになる。

即興劇の発表後、コンパでみんなでジャンジャン踊る。とても楽しい…。

この後は、温泉に入って寝たのではなく、ボリビアの美樹さんの誕生日を江崎さんの部屋で祝う。

12時頃、みんなと温泉に入りに行く。少しお湯が熱かったが、気持ちがいい。ナッチャンが「お
肌きれいになった」と聞く。(10分ぐらい温泉に入ると、お肌がすぐきれいになるのかな?)

温泉に入った後、この日誌を書く。ねむくってねむくって、できるだけ簡単に書く。

もう2時にちかいです。

とても忙しい1日でしたが、楽しかった。

8月3日 水曜日

山内光子

今日は夏期大最後の日、朝はナツコと直美と私で6:30に起き、温泉に行く予定だった。私は6
時15分前に目がさめ「あと30分以上あるからもう少し」のつもりが、直美さんが7:15にTelをく
れるまで寝てしまいました。

朝ごはんがかわってから行くことに決め、いそいそと食べ3人で朝風呂へ行き、とても気持ちよ
かったです。

9時からは各分科会へ、私は第4分科会、“学級づくりのための劇活動”で昨日の2つのグルー
プに別れて朗読劇をもっと劇ふうにして、ビデオにとったので、それを見て感想を言ったりしてか

ら、リラックスするための遊び、自己紹介のしかた、歌遊びなどをしてから、皆からの感想、5分ほどおくれて終わり、11:10ごろから別れの集い、とつてもなごりおいしい、シュプレヒコールもきれいに出来、一生忘れることのない思い出になりました。閉会してからも皆、写真をとり会ったりロビーで買い物をしたり、たったの3日間だったけれど、顔と名前が一致しない人ばかりだけど、今日になって話をした人が多いけど、又会いたい。又来年参加して、皆と会いたいと思います。来年は無理だとわかっているから、もっと行きたいと思うのでしょうか？

本当にすばらしいアイデア、感動を下さった、学校劇夏期大学の皆様、これに参加させて下さったJICAに心からありがとうございました。

又ぜひ来年の「美コース」の人達にも同じ感想をもってほしいと思います。

帰りの電車では、皆つかれて寝ていました。そこで私は皆のかわいらしいねがおをうつしてしまつたのです。あとで、おこられるかな？—でも一応13人のを写したから文句をいわないで下さい。私もねているふりをして写してもらいました。

センターに着いたのは、2:40ごろでした。それから各部屋へ行き、又ねていたみたいです。もちろん私もねていました。

みんな本当におつかれ様でした。

江崎さんも私達12人のおもりをしてくれて、大変だったと思います。

本当にありがとうございました。

8月5日 金曜日

関 口 ナツコ

来週キャンプに行くので、石井先生が説明にいらして下さった。

レクリエーションの時間もあつた。

私にとっては「地獄」の時。といっても授業の内容や先生がつまらないなんていうことではない。とても面白いのだ。けれども、私は大の不器用！自分自身に頭にくるくらい、手先が不器用。

—組人形・画用紙人形

—割り箸鉄砲

—紙帽子

—ストローあめ玉

希美ちゃんに助けられ、なんとか作れた。

希美ちゃんは、チェッカーズのフミヤが大好き少女で、歌番組をテレビで見る時などは、私より年下にみえるくらい「かわいらしい」と思うけど、今日のような授業で、横に座って「そうじゃない、ナツちゃん。いい、しっかり見てて」、とやさしく説明してくれる彼女は、しっかりもののお姉さん。

キャンプは「甘いバカンス」だと思ってたけど、先生の話を知ると、なかなかハードになりそう

だ。だが又、色々な人と会え、自然にふれるので楽しみだ。

8月8日 月曜日 晴

宮脇郁代

暑い夏になりました。午前は自由でしたから、それぞれ行動をしていました。プールに行く人、部屋で勉強をする人、または、寝る人がいました。

午後1時から、江崎さんと軽井沢キャンプについての話し合いがありました。その内容は次のとおりです。

- ・明日の出発時間 午前10:00
- ・帰りの予定 午後になります。
- ・グループの解決：女性A直美さん、順子さん、美樹さん、カチャさんと私です。
女性B希美さん、光子さん、ナツコさん、広美さんと真弓さんです。
男性：江崎さん、井上さんと丸岡さんです。

このグループはテントごとに分けてました。

- ・食事は 9日 夜（クリームシチュー、ごはん、サラダ）
10日 朝（パン、ミルクと紅茶、たまご）
昼（おにぎり、みそしる、サラダ、おつけもの、野菜いため（鳥肉））
おやつ（さつまいも、とうもろこし）
夜（LOCRO、サラダ）
11日 朝（パン、ミルクと紅茶、たまご）

その他、ゲームをひとグループ2、3用意するようになりました。

8月9日 火曜日

葛西順子ルシア

今日は10時に集合、軽井沢のキャンプへGo!

電車で弁当を食べ、お昼3時頃着きました。森のおくへだんだん入って行き、空気がおいしく感じられました。

グループA、B、男性達それぞれのテントに落ち着いた後、美樹と江崎さんと買い物をしに行きました。その間、私達は「馬見ちゃん」というお兄さんに、キャンプ場を案内してもらいながら、散歩しました。川のそばで、いつもの様に写真を写しました。広場で子供達と遊びました。

美樹と江崎さんが帰って来たので、Bグループが夜のごはんを作りました。おいしいおいしいクリームシチューが、2時間後できあがり、ちょっと暗くなり始めた頃食べました。

その後、Aグループがお皿を洗いました。すごく水がつめたかった!

7時30分からキャンプファイヤー。いろいろおもしろい歌遊びで1時間ほど遊びました。夜は、早くも10時頃ねました。それで次の朝は、雨でした!

8月10日 水曜日 雨

木村直美

今朝、ラジオ体操の放送で目がさめ、テントから出て体操をして、洗面して、Aグループが朝食の準備にかかりました。日本に来て始めて、朝から火をたきお茶をわかして、卵やコーンをゆでました。

朝食前、雨が降りかけたので、みんな私達のテントに入って食事をしました。

Bグループが後かたづけをしてから、みんなはテントの中で雨の音を聞きながら、書き物をしたり、トランプ遊びをしたり、休んだりしている人もいました。

トランプ遊びは、江崎さんも一緒にとても楽しそうでした。

11時半からBグループが昼食の準備を始め、天気もちょっと上がった様だったので、私達は散歩に行きました。途中で雨に降られ、テントに帰って来ると、もうお昼の用意が出ていました。江崎さんが作って下さったおいしいお味そ汁に、ホカホカのおにぎりにはなんとも言えませんでした。

昼食の後かたづけをすませて、又テントに集まり、それぞれ、歌やゲームを教えたりして、遊びの中で、Bコースの仲間をもう少し知ることができました。

ゲームがちょっと長引いたため、夕食の準備も遅くなりましたが、みんなで心を合わせて、みきさんの指示に従って、ポリビア料理（LOCRO）を作りました。

夕食後9時半頃からみんな集まって、Bコースの会議について、色々話し合いました。江崎さんもそれに対して、お話し下さり、みんなも納得できた様でした。

今日一日雨で、思い通りにプログラムが進みませんでした。みんなと大事な話し合いができて、よかったと思います。

8月11日 木曜日 雨

清水理恵カチア

朝から雨。自然の中で雨の音を聞くのは、気持ちが良い。

テントの中で横になっていたら、Bグループの人達が朝食を私達のテントで食べるので、用意してきました。これがキャンプ場での最後のお食事です。きのうのLOCRO、お味噌汁、パン、牛乳、コーヒー、紅茶、桃、ゆで卵、いろいろなものがありました。

後かたづけをし、テントの中もかたづけてからもまだ小雨が降っています。女の子達全員で楽しく歌を歌っていたら、もう時間になり、管理場の方々に挨拶してから、タクシーにむかえにきてもらいました。

駅で釜めしべんとうを買って、電車に乗ってすぐ食べ始めました。とてもおいしかった！帰り道、電車の中でも、とても明るい笑い声があふれていた。

きのうのお話合いも、新しい環境も、みんなにとってとても良かったみたいです。

根岸駅についた途端、雨が振りだしてしまいました。

今回はお天気には恵まれなかったのは残念だけど、軽井沢でみんな一緒に行動できたことは、本

当によかった。

江崎さんどうもありがとうございました。

私達もこれから夏休み。皆さん、良い夏休みをお過ごし下さい。

9月からまた一緒にがんばりましょう！

「元気で元気でチョチョコキ」

9月1日 木曜日

土屋真弓

楽しかった夏休みも終わり、今日からまた授業があります。（休みの間は、この日が来るなんて考えもしなかった…）

久しぶりの朝の集合では、9月から12月までの日程表と、今年のAコースの名簿が配られました。そして10:20から坂根先生の授業では、送り仮名と作文の採点の仕方を勉強しました。夏休み明けで、皆疲れた顔をしていたし、今日の授業は早めに終わりました。

そのあと会議を開き、皆でこれからのことについて話し合いました。わりとスムーズに進んだので、20分ですみました。

9月2日 金曜日

井上明楽

夏休みが終わって2日目の授業、1日目は坂根先生、2日目には斎藤先生と井口先生（文法）、疲れるな。

斎藤先生は前期の復習をしました。井口先生は前期の期末テストの修正をして、その後外人向け簡約日本語に付いて先生の意見を話してくれました。

やはり眠かった、居眠りした。かあちゃん（山内さん）が私の前にいて、居眠りしているのを隠してくれた。夏休みの後の俺は夏休みの前の俺と変わらない。

体育の時間には先生が少し遅れて着きました。私が買った卓球のラケットで先生と卓球をして負けた。

これから頑張らなくちゃいけないな。

9月5日 月曜日

丸岡アウベルト義彦

午前、体の調子が悪くて丸山先生の授業に出られなかった。午後から文章表現研究の時間に今月のスケジュールに対して、土井先生からの説明があった。その後に要約文の復習で土井先生からあった重要な“点”：

- 全体に目をとおして、筆者の意見をつかむ。
- いくつかのまとまりにわけろ。
- まとまりとまとまりの関係を見る。

一筆者の意見の中心となっている文をさがす。そして、クラスが2グループに分かれて、それぞれの要約文を発表した。

夜、7時30分には今月の10日に行う「第1回海外移住センター内スポーツ大会」に参加するBチームの会があった。

9月6日 火曜日 曇り→雨

若林広美リンダ

今朝、江崎さんと集合はなかったが、それでも皆が集まって、7回生のお別れパーティーとAコースの歓迎会のことを話した。

午前中、今日から新しいコースが日程に入った。意味論というコースで、講師は林先生だった。林先生とは初対面だったから、まず皆が自己紹介をした。

今日、色の色々な意味を話した。日本を南米とカナダと比べながら、白と黒と赤と青の中でどちららはプラス・イメージで使われているか、どちらがマイナス・イメージの語として使われているか、どんな場合に色を使えるか、という話だった。

午後にも新しいコースがあった。語彙というコースで、講師は斎藤先生だった。「語彙は語の集合」で、現代の日本語語彙の語種は和語と漢語と外来語である。そして、同音語の多い発音の例をあげた。例えば、「コーショー」は28異なっている漢字の書き方がある。授業の後は研修課題指導の時間で、研究について斎藤先生と相談したかった人が先生と話して、それで今日の授業が終わった。

9月7日 水曜日 少しくもり 心もくもり

出合美樹

朝の授業が始まる前に、昨日と同じように集まった。

江崎さんが見える前に17回生のお別れ会のうち合わせをした。話しが終わらないうちに江崎さんがみえた。

江崎さんとの顔あわせの後、続きをした。

17回生を送るための打ち合わせはだいたい終わったが、まだ話す事が残っていた。〔この会議の反省1. 会議を進めている人を、もうすこし意識するべきだと思う。終わりの合図がでないうちに、皆それぞれ散ってしまっただ。反省2. 9時30分に始まるはずだった会議が10分くらいおくれた。これからもう少し、お互いの時間、立場を尊重し合う事を心がけて行きましょうよ〕

今日の授業では、1日中斎藤先生とだった。1コマ目は文献講読。前半で習った事の規則の体系のまとめ、文構造をもう一度見た(P86)。それと文節と単語など、昼からの語彙の時間と関連したものを学んだ。昼からは語の成り立ち、接辞、国立国語研究所の語彙調査の単位などを表にしたものを見比べた。音声の時間では、日本語の子音の中の鼻音と、はじき音又は巻き舌など勉強した。一度にこんなに沢山習ったけれど、復習しないと忘れてしまいそうです。

夕方はさっそく日曜日の球技大会に備えて、どのチームもバレーや卓球の練習にはげんでいる。何かのきっかけで、みんな心を一つにしてスポーツをする事は、本当に良い事だと思う。

今日は皆さん、おつかれ様でした。

9月8日 木曜日 晴

小田 希美

今日は、一日中坂根先生の授業。

漢字のテストの後、同音異議語、同訓異字、短絡語等について学ぶ。日本語には、同音異議語や同訓異字が沢山あるので難しいが、この授業で少し勉強の仕方が分かる。

所外研修の授業では、金沢県の文学者について学ぶ。

江崎さんから“地方における日本語教育活動”の時間表について説明がある。

夕食後、日曜日の球技大会のため、バレーボールの練習を10時までする。2時間半ぐらい練習したせいか足が…

シャワー後、文法の宿題をする。

今日は本当に疲れた。

おやすみ

9月9日 金曜日 晴

山内 光子

今日は所外研修について、斎藤先生からお話がありました。12日から14日までの予定、ホームステイ先の先生方の名前などの説明がありました。それから広美ちゃんが金沢についての英語の本を訳してくれたのを発表してくれました。

金沢の伝説などを話してくれました。それから金沢に詳しい美樹さんからの、金沢の紹介がありました。はやく行って、江戸村や、忍者寺に行きたいです。

昼からは、井口先生の文法です。今日は皆の国の言語と日本語の比較でした。順となおみがポルトガル語の“名詞”について、私と希美ちゃんがスペイン語の冠詞についてカチアとまゆみがポ語の主語の種類について発表しました。やはりスペイン語、ポルトガル語などを日本語と比較するのはむずかしく、説明するのはもっと大変です。でもとてもおもしろいもので、興味深く皆聞いていて、質問なども出て、たまにはこんな授業もおもしろいと思いました。

体育の時間は明日のためにバレーボールの練習でした。4時半から6時半までしていたので、腕がとても痛いです。私が一番へたなので、明日皆の足を引っばるのかと思うと…でも出来るかぎりがんばります。負けてもともと、何て考えるとほかのメンバーがおこるかな?!

みんな明日がんばりましょう!!

ファイト!!!

9月10日 土曜日 晴

関 口 ナツコ

待ちに待った球技大会日！

みんな1週間前から大特訓、もちろん遊び心いっぱいけど。

午後、空模様が少しおかしくなり、予定より30分早めの2時半から始めることになる。

私は“一応”E-シャツ無いぞハチマキ・チーム（なんと長ったらしい名前！）のピンポンでのキャプテン。

他には、ダルマ、ショーグン（将軍）、エ（え〜）があり、バレーとピンポンで競いあった。

マルセーロと長田君のピンポンは正に白熱戦！最後の最後まで見てるほうまで手に汗を握る決戦。バレーでは、お互いに声をかけあつての「がんばって」、「ドンマイ」、「オーライ」などが印象的だった。

勝利は、エチームの手に！実はエチームとショーグンは同点だったけど、最後にはジャンケンの勝ち抜き戦で勝負し、決まったのだった。（でも実力はエチームの方が？…へへへ）

夜は食堂で、夕食会。ビールやジュースでセンターおきまりの4ヶ国語で乾杯！久し振りにみんなとお話したり、踊ったり。

みんなと毎日顔を合わせても、それぞれ忙しく、ゆっくり話す機会がなかなか無い。もっとこのようなのがあったらいいと思う。

優勝チームには大きなトロフィーが遅られ、抽選で色々な賞品が与えられた。林君は優勝しなかったので、せめてこれだけは絶対当てるぞと言いながら引いたのが当り棒で、40分の1の確率が見事的中して携帯ラジオをもらった。本当に楽しい1日。

これからも、ぜひこういう機会を作ってほしい。

JICAの方々、今日はありがとうございました。

9月12日 月曜日

宮 脇 郁 代

皆は、寝過ぎずに起きました。今日のスケジュールは、いつもと違って金沢へ行きました。

8時10分、大雨の降る朝、センターを出発し電車に乗りに行きました。

9時01分、新横浜で新幹線に乗り込んで、今回の引率松田課長と斎藤先生がたと一緒になりました。研修生達は、皆静かに旅行をしました。

11時14分、米原駅で電車に乗り、金沢へ行きました。

13時12分、金沢駅に到着しました。「金沢を世界へ開く市民の会」の方がむかえに来ていました。その人達と一緒に、社教センターへ行きました。

14時30分兼六園と成巽閣見学をしました。兼六園は、日本三名園の一つです。そして、噴水が初めてできたところです。また、成巽閣ではすばらしい伝統を見、感心しました。

17時00分、社教センターへ集まり、ホームステイへそれぞれ行きました。私は、初めてのホーム

ステイをして少しきんちょうしました。

9月13日 晴

葛西順子ルシア

私は松岡先生の家にお世話になりました。

松岡さん御夫婦はとってもテスキな夫婦でした。気楽なふんいきの中で、長々と夜遅くまでいろんな話をしました。

朝は8:45に社教に着き、それから先生方が金沢流婚礼について授業をしてくださいました。

ずいぶん色々と難かしくて、お見合いから結婚までどのような事があるのわかりました。たとえば、たもと酒、結納、祝宴、媒酌人依頼、お道具披露、お道具入れ、花嫁のれん、まだまだあります。

本当に金沢の娘が結婚するというのは、大変だとよくわかりました。きものを買わないといけないし、又、男の方では、御帯料とか…ナント、すごい大金の話でした。(1500万円!!私には、けんとうもつかないお金です。)

その後、石亭というレストランで昼食しました。それから自由行動をとった人にとっていない人達とわかれしました。私達(直美、広美、丸ちゃん、明楽、郁代ちゃん、光ちゃん、カチヤ)は、竹田先生と松浦先生に案内していただきました。

近江町市場に行き、めずらしい物を見ました。中にはしおからを買った人もいます。そのあと、東山と「とむろ」という(江戸時代の建物)喫茶店であんみつを食べました。時間がなかったので、飲みこむように食べました。兼六荘について、いそいでパーティーに行く用意をしました。パーティーは New Grand Hotel で行われました。すごいごちそうでした。市民の会の方々と一緒に食べ、ふたたび楽しい一時でした。私はすっかり松岡さんの長女になりました。パーティーは2時間で終わりました。子弟研修生(17回と18回生)なおみさんとジュリアさんも参加して下さいました。

兼六荘に帰り、皆で私と直美の部屋で写真をまたとりました。

今日もとっても楽しい一日でした。明日は、もっともっと楽しくなりそうです。

江崎さんのお土産、なにがいいかなあと思うばかりです。

おやすみなさい!

9月14日 水曜日 金沢 晴 根岸 雨

木村直美

今朝7:30から朝食して、8:30兼六荘を出て、4台のタクシーで社教センターへ向かいました。センターに荷物をあずけてから、忍者寺と江戸村へ行くグループに別れました。

江戸村には、なっちゃん、希美ちゃん、郁代ちゃん、真弓ちゃんが二宮先生と川村先生が案内されたそうです。斎藤先生も一緒に行かれました。

忍者寺には、井出先生、木村先生と、先生の案内で、井上さん、丸岡さん、順子さん、美樹さん、

カチアさん、光ちゃん、広美ちゃんと私が行きました。

忍者寺では、ガイドさんに詳しい説明をして頂き、建物の中も全部見られ、あまり多くの仕掛けにはびっくりしました。歩くにも、うっかりしていると、どこに落ちるかわからないぐらい。

「忍者寺」と通称しているが、本当は妙立寺だそうです。

忍者寺を出て、金沢の裏通りを通過して丸谷光仙窯を案内してもらいました。丸谷焼は金沢で有名であり、値段も何千から何万しますので、買うのも考えさせられました。

丸谷光仙から、犀川（松田課長さんが幼い時、泳がれた川）を渡って、武家屋敷跡、野村家保存会を見学しました。

武家屋敷跡をずーと歩いて行くと、高い立派な建物ばかりの所に出て来て、何だか昔から急に、現在に帰って来たようでした。

中央公園を通過して金沢城石川門を見に行きました。「金沢城は、江戸時代から明治維新まで、加賀百万石前田家の居城として、武家政治の中心だった。明治以後は陸軍が入り、戦後は金沢大学のキャンパスになっている。」と先生方の説明を聞いてから、観光物産館に予定通り12:15に着きました。江戸村に行っていた人はもう食堂で私達を待っていました。みんな先生方と一緒に話し合いをしながら、昼食をして、おみやげを買ったりしてから先生方の車で、金沢駅まで送ってもらいました。

この2泊3日金沢で楽しくすごさせて頂いたことを、先生方に感謝して、14:20金沢駅をたちました。特急電車に乗って、一眠りした後、センターに帰るのが楽しみでもう眠れなかった。

長岡から上野駅まではガラすきの新幹線で、みんな落ち着いていられず、しまいには歌を歌ったりしました。

上野駅で、松田課長さんと斎藤先生と別れて、私達だけで、8:30頃、センターに帰って来ました。

江崎さんの車がセンターの前にまだ止まっていたので、思わず「うわ!」と声が出ました。みんなで、すぐ挨拶に行き、江崎さんの顔を見て、やれやれだったようです。

9月16日 金曜日

清水理恵カチア

朝の授業は斎藤先生の音声の時間

まず金沢の印象を一人ずつから聞き、それからちょっとしたコメントが先生の方からありました。全員良い印象が強かった様。それぞれホームステイでの体験、金沢の観光地を歩き回ったこと、一生忘れることはないでしょう。

それからすぐ音声の時間

午後からは井口先生の文法の時間。今日は美樹ちゃん、丸岡君、井上君、郁代ちゃんと広美ちゃんがそれぞれスペイン語、ポルトガル語、英語とフランス語と日本語との比較文法を発表してくれ

ました。

これで井口先生の授業は終わりました。

なんだかあっと言う間に過ぎてしまったみたいで、なんとなく残念。でも、この短い時間に数多くのことを教わった感じがします。

夜、Bコース、17回、18回生全員で江崎さんのお誕生日を祝いました。小さなパーティーでしたが、一人一人が感謝の気持ちをこめた、楽しいひとときでした。

江崎さんおめでとうございます。

9月19日 月曜日

土屋真弓

9:30. Bコース会議

9:45. 集合、特別な事はナシ

10:00. 日本事情、丸山先生

1. Current topics.

a) ソウルオリンピック

b) キューバ、ビルマ両国の内乱

2. 歴史、奈良時代

12:00 a) 大宝の律令

13:00. 文章表現研究、土井先生（今日はおみやげに、ブドウを持ってきて下さった。）

1. 論文の書き方

a) 全体的な手順

b) 本論の組み立て

c) 構成メモ

d) 実際には…研修課題指導（明日は中間発表の予行演習だからちょうどよかった）

2. ノートのとり方

a) 要点をつかむ

16:20 b) 箇条書き

16:30 体育、井口先生

17:40 バレーボール（とび入りー三浦さん、大金さん）

9月20日 火曜日

井上明楽

午前10時20分から林先生の授業であった。意味論の授業では、助詞「が」と「で」の違いに対してBコースの先生方から色々な例をあげてもらって、説明と同時に意味論テキストにそって勉強した。13時から斎藤先生2コマ「語彙」と「研究課題指導」があった。「語彙」の時間には、復習と

国立国語研究所の語彙調査の単位のプリントで、M単位や長単位などを知ることができた。「研究課題指導」ではみんなの10月6日の発表にたいする発表の練習であった。

9月21日 水曜日

丸岡アウベルト義彦

朝10時20分から文献講読で、その時間に連体助詞「の」と準体助詞「の」、それぞれの違いを中島文雄の考えにそって斎藤先生の説明があり、そのあと「象は鼻が長い」-副助詞「は」日本語の特殊な言いかたであって、外国語に訳すと違いが出てくること、注意する所を教えてくれた。

斎藤先生の授業では「考える力と方法」を一番大切な“点”にしていることを、私たちBコースは理解しなければならないと思う。

午後1時30分林伸一先生の授業で比較表現「よりいい」と「よりました」「よりまだまし」の意味の違いをみんなの例に対して説明され、その後に「今日は晴れてよかったですね」、この文の意味の上で想像することを大切に伝えてくれた。また、私たちBコースがどのように生徒たちに物事を伝えたら良いことを注意して意味論の授業をおわらした。

2時40分に林先生から「日本語能力試験指導」の授業でプリントにそって指導してくれた。そのプリントは非常に難しい問題が出ていたけれど説明の上で“問題”はなかった。

9月22日 木曜日 曇り

若林広美リンダ

今朝9時35分に江崎さんとBコース全員がロビーに集まって、Aコースの先生(20人)をお迎えた。

午前、坂根先生の文字の授業で、相変わらず漢字の読み書き試験を受けてから、新しい勉強が始まった。俗字と略字を辞典で調べた。こういう字を知っていたら、講義ノートを取る時には、役に立つが、試験でこういう字を書いたらバツになる。次、どのような副詞、連体詞、接頭語、接続詞、語句を原則として、仮名で書くか、漢字で書くかを学んだ。

坂根先生の午後の授業で、暑中見舞いと残暑見舞いの書き方と、原稿用紙の使い方を説明してくださった。

所外研修指導の時間に金沢市で行われた「地方における日本語教育研究活動」の報告書を書いた。報告書を書き終わったら、今日の授業も終わった。

明日は秋分の日で、授業は休みになった。今週末、17回生と18回生の皆様が久しぶりにセンターへ帰って来る。センターにいる研修生とBコース、皆楽しみにしている。

9月26日 月曜日 曇りのち少し雨

出合 美樹

朝からの丸山先生の授業では、天皇陛下のニュースと、オリンピックのニュースについて少し触れた。

歴史の方は一応今日は、奈良時代まで説明し終え、平安京をした。

午後からは斎藤先生の音声の授業は、習った音声記号を使って、5つの単語を書く練習問題が出た。理論的に本で読んでみても、実際に記号に表すのは、難しい事が分かった。

記号を正しく使うために、日本語音声概説のP61の短音節一覧の使い方を教わる。

最後の時間は、小田きみさんと私の研究課題中間発表を終わらせた。

体育の時間には、17回生に送る歌の練習をした。

夕方練習している時、お茶の先生が本を持って来られた。おみやげにおはぎと名前は分からないが—○○○○—こんなお菓子をいただいた。お・い・し・かっ・た。

明日は午後から玉川で、後期の授業のオリエンテーションを受けに行く予定。

9月27日 火曜日 雨

小田希美

午前中の授業がないので、朝食後、ペルーの光ちゃんと、ペルーと日本のバレーボールの試合を私は1セットだけ見る。ペルーが勝ち、光ちゃんが嬉しそうな顔で「ペルーが日本に勝った」とみんなに伝えているのを見て、私にも喜びが伝わる。

午後はAコース+Bコースの玉川でのオリエンテーションがある。

長野先生から次の事について説明がある。

- ・日程表（3ヶ月間）
- ・受ける授業の科目と先生の名字の読み方
- ・時間割
- ・使用する校舎
- ・幼稚、小学部の授業参観の日程
- ・特別授業（体育祭、文化祭）
- ・休講日
- ・服装

テキストを沢山もらう。

後期3ヶ月間、何だか前期よりももっともっと忙しくなるが…みなさんガンバリましょうね。

9月28日 水曜日

山内光子

今日は朝が文献講読で、「象は鼻が長い」を〔N+P A〕+(n)と記号化して、なぜ+(n)がつくのか+(n)はゆだということを教わり、「は」の提題機能による前置変形、などを教えていただいた。今日で、日本語の構造をおわったけれども、まだまだ沢山のこっている。斎藤先生がこの本のまとめとして26の日本語の構造、日本の文化に関心がある人は27の日本語と日本人を読めばいいとおっしゃった。

授業が終わると、Bコースで今日の17回生のお別れパーティーのために歌う「またいつか」を練習した。

午後は、休講だったので、各自買い物をする人、勉強をする人、おしゃべりをする人、ひるねをする人も何人かいた。6時から17回生のパーティー。沢山のごちそう、17、18回生、Bコース、51期生全員が、食堂へ集まって楽しくすごした。

18回生のカラオケクイズと歌（替え歌）とてもおもしろく、替え歌もとてもよかった。次に私達のジュプレヒコールと歌、みんなが心をひとつにして歌ってもらえてとてもよかった。

17回生はあと2日で帰ってしまうけど、本当に1年半ごくろう様でした。

9月29日 木曜日 くもり

関 口 ナツコ

午前は斎藤先生と、研修課題についての個別相談だった。私はセンターにくる先生方全員が好きだが、特にこの先生を尊敬している。まるで歩く辞典のように、知識が大変豊富な方なのだ。

日本語に関してはもちろん、外国語、社会問題、はては雑学まで詳しく、話を聞くのは興味深い。私もよく授業を脱線して、全く関係の無い事について質問するのだが、必ず答えてくれる。

午後は、丸山先生の日本事情。今までしっかり日本の歴史を勉強したことが無かったので、この機会を逃さず習得したい。奈良時代を終え、平安時代についての授業が進められた。実は、数ヶ月前、同室の郁代さんから藤原家の子孫だという家系図を見せてもらって、確か歴史の人物だったような気がするのと彼女に言った。今回の授業で藤原について習い、郁代さんを思い出し、関心がますます強くなった。

夜、センターにある学習まんがの日本の歴史を借りて、平安京について読んだ。以前、この本を読んでもさっぱりだったのが、やはり授業を聞いた後でみると、とてもわかりやすかった。

明日はいよいよ17回生が帰国する。

6ヶ月一緒に過ごした5人も、お別れ。何かまだピンとこない。

明日からトモの笑い声もカズの話し声も聞けないのかな。マルセーロの口ぐせの「男はツライ！」、父ちゃんとのふざけあい、カルロスにはメカオンチの私はずいぶん助けられたっけ。ニコはいつもみんなにやさしかったし…でも、南米だから絶対又会えるよね？それまでしばらくお別れだけど、元気だね！

9月30日 金曜日 曇り

宮 脇 郁 代

朝早くから、17回生のマイクの呼び出しや荷物の整理などで、3階の廊下は賑やかでした。

午前9:45、江崎さんとの集合がありましたが、5人はうっかり忘れていて欠席しました。

午前10:20、斎藤先生に研究課題について研修生3人の相談がありました。

午後1:00、17回生が発券するのでセンター全員が見送りに出ました。この研修生達は1年半の

研修が終わり、母国へ帰国しました。

ほんの短い時間でも
心と心がふれ合って
ほんの小さな出来ごとが
若い仲間をつくるのさ
またいつか会える日を
約束して別れましょう…

これがセンターに残る研修生の送る言葉でした。

午後1:10、語彙の授業が始まり、先生は楽しく勉強を進めようとして、クイズなどで始めましたが、別れのつらさが残っていてみんなはしょんぼりしていました。

午後14:50、日本語能力試験の指導がありました。1級の試験問題の練習と申込書の説明でした。今日はセンターは静かで寂しかった。

10月3日 月曜日 曇り、晴

葛西順子ルシア

今日は2学期の第1日目でした。Aコースの皆さんは、早くも先に行ってしまいました。私達は8:40にセンターを出ました。1時間目は長野先生の日本語教授法の授業がありました。「国語」教育と「日本語」教育はどう違うのか、教える時にどう影響するのか、独自性を見つめ直して、再確認すること等を考えられる授業でした。楽しみです。そういう授業はとっても興味あります。

そのあと、私、美樹、直美、広美はお弁当を作って持っていったので、おいしくおいしく食べました。

2時間目はスリッパで登場！でも腹話術実習の先生は体の調子が悪く、休講でした。3時間目は学長さんが、Aコースとのお話し合いのため、Bコースは解散しました。残念ですが…（へへ…）

久しぶりに町田で買い物をして帰りました。

明日もお弁当を作るので、なにを作ろうかなと思っています。これも玉大へ行く一つの楽しみとなりました。

どうしてお弁当っておいしいのかな？

10月4日 火曜日 晴

木村直美

火曜日の玉川大学通学は前期と同じで、聴講生として授業を受けます。

今日の1限目は金平先生の担当で、学級経営の意義、学級経営のあいまいさについて勉強しました。2限目は丸岡さんとなっちゃんは幼児教育学を取っているが、後の10人は、2限目の授業を取っていません。この時間に、長野先生とお話に行ったり、食堂で勉強したり、手紙書きをしていました。

3 限目は、徳座先生の担当で国語表現法について、勉強しました。前期で徳座先生の授業をとっていた人は、後期では同じこと勉強するので、出なくてもよかったそうです。

4 限目は国語教材研究で、片山先生が、国語能力の言語技能、言語知識について授業を進められました。

これから週に4回玉川大学通学となっていますが、この新しいスケジュールや、重い荷物（勉強道具）になれるまで、みんなもちょっと大変みたいです。

10月5日 水曜日 曇りのち雨

清水理恵カチア

今日は、9:30から玉川学園幼稚部の高橋先生の講義がありました。それは主に玉川学園の歴史についてでありました。

II 限目は金平先生の漢字論の授業でした。「漢字の読みの面白さと複雑さ」について勉強しました。「生」という漢字には、幾つも読み方があり、私達はその中の20ぐらい考えだしました。

授業は30分ほど早めに終わり、ゆっくりとお昼を食べることができました。12時になると学生が大ぜいで、座る場所もなかなか見つからないのです。

午後からは、金平先生の短歌論の時間です。私達の先輩達が作った短歌を読んでみました。それぞれ毎日の生活のこと、帰国した喜びの気持ち、家族などのことが素直に書き表されていて、とても感心しました。私達も書けるようになるといいなあ。

IV 限は林先生の折り紙実習でした。きれいな色の折り紙をいただき、へび（2種類）とこまをつくりました。先生は私達に折り紙カタログなど貸してくださいました。

これからAコースと一緒に勉強いろいろ楽しくなりそうです。

10月6日 木曜日 曇り

土屋真弓

今日は週1回のセンターで授業がある日、久しぶりに江崎さんとの集合がありました。

1 時限目は音声の授業では「日本語音声概説」のP74からP87まで勉強しました。内容は、長音節（長母音音節、撥音つき音節、促音つき音節）でした。

2 時限目の文字と表記では、いつも通り漢字の読みとりがありました。その後、金沢へ研修旅行に行った時のレポートが返されました。それからは作文指導についての勉強でした。東海大学の案内図を生徒に見せ、作文を書かせたら、どのような文型がでてくるか。（一で、一ています。一に一があります。等）次に「図表を使って文を作る」という題のプリントが配られました。そこで一人一人図を見て連想したものを紙に書き、その図を使ってどんな題名の作文が書けるかを話し合いました。

2時45分頃から講堂でBコースの研修課題中間発表がありました。Aコースの先生方、斎藤先生、坂根先生、丸山先生、JICAの職員の前で発表して、皆緊張したようです。そして、先生方の意

見、感想などを言ってもらいました。

6時にAコースの先生方と金光氏の歓迎パーティーが開かれました。

10月7日 金曜日

井上明楽

今日午前中授業はなかった。午後からは全人教育論（石橋先生）児童言語論（本多先生）の授業が行われた。

全人教育論の授業では先生が一方的に“教育はこういうものだ”と講義を行って、私達は聞いている立場でした。次の授業から全人教育論という科目の目的を、もっと具体的説明してもらいます。私達が日本語を教えるところは日本ではなく、中南米とカナダですから、日本の教育の丸写しはできないので、もしも先生が行っている講義は“日本の教育はこう言うものだ”としたいなら、黙って聞いています。

寒くなってきた。風邪をひいた。やわじゃ。何日か休んだ。

17回生が帰った。寂しくなった。俺にはまだ6ヶ月在る、里にかえりたいな、でもやるっきゃない。

10月11日 火曜日

丸岡アウベルト義彦

秋で極あたりまえなこと、「風邪をひくこと」を経験した。風邪をひいてから2日目で、頭と喉がいたくて玉川大学へ行くのがつらかった。

10:40に幼児教育の授業で「乳幼児の人格形成と家庭教育」をテーマとして、平井先生の考えを勉強した。

4限目の国語教材研究で片山先生は、「言語感覚」に対して授業を進められた。

10月12日 水曜日 曇り後雨

若林広美リンダ

日本へ来てから6か月になった。早かった。後、5か月半しか残っていない。

今日、Aコースの先生と一緒に玉川大学で授業を受けた。水曜日には、8時10分までの電車に乗れば、最初の授業に間に合う。

9:30~10:30 幼稚部研修、高橋先生

・狙っているもの

→きれいな心、よい頭、強い体の玉川っ子を育てる

→知性豊かな人

・人を作るのに一番大事なことは心教育

10:40~11:30 漢字論、金平先生

・漢字の起こり

- ・中国で作られて、中国から伝わって来た。
- ・漢字の成り立ち

(1)象形

(a) 自然の象形

例：水

(b) 人間の象形

例：目

(c) 動物の象形

例：魚

13：20～14：30 短歌論、金平先生

「歌を作る」ということ

- ・単なる趣味や風流というような安易な気持ちだけで行っているのは、本当の歌の文芸的な意味というものが分からないでいってしまうことをおそれたからである。
- ・歌を作る人が、何としてもまず最初に心しなければならぬ根本的な問題を、解決するためであった。
- ・内面の思いをはき出す
- ・苦しみや悩みや怒りだけではない
- ・喜びや楽しみといったものもまた、自らの心一つに包んで置くことのできないものがある。

14：40～16：10 折り紙実習、林先生

- ・林先生がAコースとBコースの皆に折り紙で作ったしおりを下さった。皆お土産を嬉しくもらった。
- ・果ごもりつるとみの亀と鬼（2種類）を折った。
- 今日、どこにも寄り道しないで、真っすぐセンターへ帰った。

10月13日 木曜日 とっても晴れ

出 合 美 樹

2回目の秋の青空、すっきりと心も水色良い気分。

日本の各地で初雪が降り、今朝は少し寒かった。木枯らしも吹き、強い風でセンターの旗がおどり狂っているようにはためいた。

今日は、センターで授業を受ける日なので、朝は遅く起きた。

斎藤先生には音声の二重母音、音調、方言のアクセントなどを習った。簡単に説明すれば、

①二重母音：音節で数える言語には、二重母音はある（Diplongo）

日本語でも無理に言えば、二重母音と言える例はある。例えば、書いた、Kaita、空いた、Suita、説いた、Toita、など。

②音重＝言葉における声の高さの変化の形の事を言う。

ある言語を話すにあたって、その文全体のプロミネンスで、話者の気持ちがあつたわる。

③方言、各地方によってアクセントが変わって来るが、昔ほど通じない事はない。最もテレビやラジオなどで見たり聞いたりするので、日本全国どこへ行っても、共通語が通じない所はまずないでしょう。

坂根先生の時間ではいつものテストを終え、その後日本で明治時代に作った漢字について、少し習った。例、電話、社会、自由化、宗教など。

丸山先生の時間では、武士の時代に入り、途中までできり上げた。

夕方は、開発青年の歓迎パーティーがあった。30名ぐらい新しい顔が増えた。立食パーティーではいつものパターンで、食事をした後少し踊って、8時半ごろ終わらせてしまった。

又センターがにぎやかになって来ました。

10月14日 金曜日

小田 希美

玉川通学日

1時限 小学部研修

Bコースは5年生の音楽の授業を見学する。

- ・授業の進め方、児童のあつかいなどに感心する。
- ・児童の音楽のレベルが高いと思う。

2時限 全人教育論

脳と人間について詳しく説明する。

「狼に育てられた子」(アーノルド・ゲゼル著)について話し合い、人間は生まれた時は生物存在であるということが分かる。

3時限 児童言語論

ことばあそびの教材を作り、実際にそれで遊ぶ。

授業の後、私は父に会うため新小岩まで行く。

父と12時頃まで話す。嬉しくて……。

10月17日 月曜日

山内 光子

今日からまた一週間のはじまりです。

Ⅱの長野先生の授業では、ダルトンプランについての説明

玉川の小学部のシステム

一斉画一などや、目標の妥当性についてで、玉川の小学生は学習のてびきなどで一人で学習をするということです。

IIIは腹話術で、腹式呼吸、胸式呼吸のちがい

発声練習など、実際に腹式で声を出しましたが、なかなかうまくいかず、恥かしくて、笑い出す人が何人もいました。でも先生が、かならずできるとおっしゃったので、がんばります。

IVは文化論ですが、今日は中南米における日本語教育の目標、人間づくり、人間形成とことばなどを勉強しました。

長野先生の授業はとてもおもしろいです。

本多先生は沢山のゆび人形を持って来てくださって、とてもかわいく、はやく声が出るようになったら人形を使ってやってみたいです。

10月18日 火曜日 晴

関 口 ナツコ

そろそろ秋が感じられるお天気。少し寒くなり、玉川学園の木々もヒラリヒラリと葉っぱを落とすしていく。

幼児教育の講義では、母と子の信頼関係についてだった。

最近では、母親は幼児に自立性を求めすぎ、ほっておくのが増えているようだ。身近にいて、愛情をもって育てることの大切さについて習った。

共働きをしているところの子供は、よくそのさみしさを人形をかわいがることによって、まぎらわすとのこと。うちも共働きだったが、愛情をもって育てられたと思う。だが、人形のかわいがりようは同年代の子よりすごかった。

先生にそのことを言うと、やっぱり私は心の中で母親が身近にいることを願ったのではないかと逆に質問された。

そうだろうか。ウーン、むずかしい！

音楽では、リズム楽器を使用した合奏編曲の仕方について習う。

- ・ 拍のリズム (METER RYTHM)
- ・ 曲の持つ特徴のあるリズム (CHARACTERISTIC RYTHM)
- ・ 各拍子の例 (リズム・パターン)

言語感覚では言語の理解、表現能力と、伝達の能力について

言語感覚には、認識、思考、伝達、創造の四つの技能があり、これを強化しなければならない。そのために日本語を学ぶ必要性がある。

週四回の玉川通学もだんだん慣れてきた。でも電車のラッシュはまだまだ……。

10月19日 水曜日

宮 脇 郁 代

さわやかな秋の晴れた日に玉川大学へ通学しました。

受けた授業は：

1 時限 幼稚園研修

- *子供は遊びながら完全な人になる。
- *子供は遊びの中で工夫、創造、協力などを覚える。

2 時限 漢字論

*指事文字について場所、区域、切断、隠す、合わす、交わることを示す、漢字の成り立ちを教わりました。

3 時限 短歌論

- *研修生が書いた短歌をなおしました。
“さわやかに秋晴れけり窓に寄り
子供の笑い声終日聞こゆ”

4 時限 折り紙実習

- *伝承の箱。0.5 mm違いで幾つでもかさねられる箱を作りました。
 - *おひなさま（おびなとめびな）の折り方を習いました。
- かわいくできあがり、もっと沢山折り紙をならいたいです。

10月20日 木曜日 秋晴

葛西 順子 ルシア

今日はセンター内でお勉強の日でした。久々に江崎さんと顔を合わせました。それから斎藤先生の音声授業、坂根先生の文字・表記と丸山先生の日本事情がありました。

とても暖かい、気持ちのいい日だったのに、部屋に閉じこもったままだったのは残念でした。

夜は開発青年達と座談会がありました。ブラジルへ行く人が多いようでした。

より一層のご活躍を祈っています！

今日は簡単で失礼させていただきます。

明日のお弁当は…何ができるかな…



日ノ丸弁当！！

10月21日 金曜日

木村直美

今日は、玉川通学日で、10:40から、Bコースは小学6年生の国語の授業見学でした。

授業の内容は、論説文の論旨についてでした。先生が『なぜ、お化けは夜に出るか』という文を3度分かりやすく読まれた後、文の論旨はどこに出ているか、と質問されました。

生徒達の答え聞いていると、だいたい、文の終わりに出ているように答えを出しました。でもそれが正解でした。

それから先生は、生徒達に、

「ある文の中で、論旨は必ずしも終わりに書かれてはいないから注意して聞くように……」

と、説明されました。小学校の授業は45分毎でした。

午後は、13:00から石橋先生の授業で全人教育論でした。先生は、
「人間は『教育されうる存在
・教育されねばならない存在』である」

というところから授業を進められました。

次の本多先生の授業は休講でしたので、今日は早くセンターに帰れるので、みんなも嬉しかったでしょうね。

わたしだけかな？

10月24日 月曜日 くもり

清水 理恵 カチア

今日はだいぶ冷えこんできた。だんだん、朝、起きるのがたいへんになってきそうです……。

今日はⅡ限から授業があった。

長野先生の「日本語教授法」で三育並進について勉強した。それは知育、徳育、体育である。この三つの調和によって人間の教育というものは成り立つのであることを教わりました。

お昼には、玉川大学の学生と一緒に食事しながらいろいろお話ししました。

Ⅲ限は休講だったので、それぞれ自由に行動。

Ⅳ限は長野先生の授業がありましたが、今日は特別で、社会国際部1年5組の学生とお話会をしました。短時間でしたが、お互いいろいろ質問したり、答えたり、にぎやかな時間でした。

10月25日 火曜日 曇

土屋 真弓

今日は1時限から授業があるので、いつもより早く(7:30)玉川大学へ行かなければならない日です。

学級経営の授業では3人の学生がレポートを発表しました。

- ・ 第3章学級経営のPDS「学年学級の経営」P.53~64
- ・ " 「学級教育目標の設定・実践例の検討」P.64~74
- ・ " 「学級経営計画と学級経営案」P.74~83

4時限目は国語教材研究の授業、今日は先週の続きから国語教育のなかの、「読むこと」の指導過程について勉強しました。読むということは「文字化されたことばを理解しながら目で追っていく」ことであり、その指導過程の方法論として垣内松三氏の「形成理論に立つ指導過程」、石山脩平氏の「教育的解釈学」などが挙げられました。

帰りに関口さんに誘われて、清水さんと3人で渋谷区にあるイベント・プロデューサー養成学校の説明会へ行ってみました。

10月26日 水曜日

井上明楽

玉川学園文学部第2校舎 401室AM9:25に、一時限目の幼稚部研修の授業を受けにきました。高橋先生はもうすでに教室にいて講義をなさっていました。これから水曜日はもっと早く行かないといけない。先生がおっしゃることは納得しますが、私みたいな青二才はまだ色々経験をつんで考えなければなりません。ついこのごろ、私は日本人を見る目を変えないといけないと気がつきました。たとえば、私は日本人は仕事ばかり考えると決め付けていました。その考え方が間違っていると気がつき始めたのは金沢でした。ホームステイの家の主人と飲み屋で話していた時、この人は本当に人間なんだなと思いました。そして今日五人の大学生(一年生)と喫茶店で話していたら、それぞれ自分は自分に気が付いていることが分かりました。文化、社会、習慣、家族、お金、人間の頭、それに人間の心理と言うものは大変複雑で恐ろしい物ですね。これからもっと気を付けて見て聞いて、事実を知らずに判断しないように気を付けます。ですから私は日本人に対して大変失礼なことをしてしまいました。心から本当にどうもすみませんでした。

人間と言う動物は抱くテーマですね、これからもっと勉強して私を造っていきます。それでも、私も人間ですから自分の頭と心に合わせると思います。

二時限目は漢字論(金平先生)でした。色々漢字はどうやってできたか学びました。

三時限目は短歌論(金平先生)でした。今日の先生は短歌の代表として見られる短歌を幾つか私達に読んで説明してくれました。その中で気に入ったのはこれです。

“石がけに子ども七人こしかけて ぶぐを釣りより夕焼小焼” 北原白秋

この歌は、私に、子供そのものが子供らしく大自然の中に溶けこんでいる風景が目には浮かびます。最後の講義は折り紙実習(林先生)。折り紙は好きですが今日は駄目でした。

そのあと美(B)コースの3人とAコースの2人と、玉川学園の学生5人で喫茶店で8時ごろまで話していました。PM9:15ごろ根岸駅について三和食堂でAコースの先生達と夕食を取りました。やっとセンターに辿り着いたら、平安時代について明日発表しないといけないレポートを書かないことを丸岡さんに思いださされた。10月27日のAM3:00にすんだ。これでやっと一日が終わった。

おやすみ

10月27日 木曜日

丸岡 アウベルト 義彦

今日はセンターで勉強があった。

10:20 一斉藤先生は、

*同志社大学で参加する(ASJ-ADVANCED SPOKEN JAPANESE)授業内容に対して説明。

*音声と音声教育の授業で数詞(助数詞/序数詞)の勉強であった。

12:50 一坂根先生は、

* AコースにBコースから京都、奈良への所外研修発表があった。

* または京都の同志社大学で参加する授業 (AKP-THE ASSOCIATED KYOTO PROGRAM/VIDEO) に対して説明。

14:40 一丸山先生は、

* 私たちBコースの希望で「リクルート・コスモスK.K.」の問題に対して説明をいただく。

* 日本事情で「鎌倉幕府の移り変わり」とモンゴルの来襲」の授業でこの一日が終わった。

10月28日 金曜日 晴

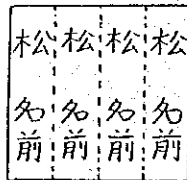
若林 広美 リンダ

今朝は晴れていたカメラを持って行って、玉川学園で黄色いコスモスの写真を撮った。

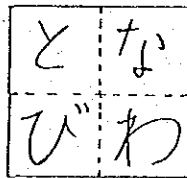
10:40~11:30 小学部研修

習字 4松(4年生)

南澤雅助先生



最初の10分に生徒が自分の名前を練習した。



初め一枚には、先生は何にも言わないで、生徒が先生のコピーを見ながら「なわとび」を書いた。先生は皆が書いたのを見てから、注意する所を教えた。それから、生徒がきれいに書けるように練習した。

13:00~14:30 今日は礼拝堂で特別の講義があった。早稲田大学の峰島旭雄先生が比較思想について話した。講義の話題は「宗教を比較する。」仏教とキリスト教を比較したり、哲学と宗教の違いを説明したりして下さった。

14:40~16:10 児童言語論 本多先生

今日の授業は本多先生の幼稚園の教室であった。児童のために教室はいろいろな特徴があった。

- ・本棚や箆箆や帽子掛けや流し等は低くおいてあった。
- ・椅子とトイレットは小さくて低かった。
- ・おもちゃーはく製の動物や絵本や紙芝居等ーがたくさんおいてあった。

・積み木やボールは堅いスポンジで作られているので、子供が当てられても痛くない。

いろいろな面白い物を見せていただいて、皆は嬉しそうに帰った。

10月31日 月曜日 秋晴

出合美樹

今日はいつもより早くセンターを出て、玉大の学生と待合わせて、彼女の取っているスペインの歴史の授業をきみさんと共に聴講する事にした。授業のパターンは他の科目と同じで講師の一方的な講義で終わった。玉川みたいに教材や設備が整っている大学なのに、どうしてそれを有効に利用できないのか不思議に思う。授業は、途中までした開けなかった。急におなかが痛くなり、保健室で午後2:30まで休んだ。そして最後の長野先生の授業にだけ参加した。

今日の授業の内容は次のようであった(ようだ)。

10:40 長野先生、教授法

- 全人教育と言語教育の関連
- バイリンガルの特質、利点など

13:00 本多先生の替りの先生、幼児部

本多先生が来られなかったので替りに女の先生がこの科目を埋められた。授業内容は、3~5歳児のための、ゆびあそび、ジャンケンあそび、ことばあそび、身体表現あそび、ダンスなどであった。

14:30 長野先生 日本文化論の授業内容は、

- 児童日本語教育の目的、a) 言語的目的 b) 文化的目的 c) 教育的目的に分けられ、これらの目的と許された条件によって各地域の授業を設定するべきだと言われ、これからの教育者にとって大きな課題となるだろうと述べられた。

今日は最高気温が16℃しかなくて夕方はとっても寒かった。

やっと11月が始まろうとしているのに、こんな寒さだとこの先はどんなに寒くなるのか考えたくもないが、皆さんはどう思いますか。

体力をつけて、体を大事にして下さい。

11月1日 火曜日

小田希美

玉大通学

センターを7:30に出る。

1時限 学級経営

学生が学級経営計画と学級経営案について説明する。

- ・学級経営案の必要性

” の内案と様式

2 時限は授業を受けてないので食堂で妹の佳恵に便りを書く。

3 時限 国語表現法

音読みについて詳しく学ぶが少ししか理解できない。

- ・七音と呉音・漢音
- ・漢音が1番多い
- ・呉音はお経に多い
- ・唐音はほんの少ししか入っていない

4 時限 国語Ⅱ

- ・プロセス
- ・目標 について学ぶ

読みの・種類

- ・技能

大学の講義は一方的なので疲れる。

11月2日 水曜日

山内光子

今日は幼稚園の参観だったが、休講になった。

Ⅱコマめは金平先生の漢字で偏と旁について学んだ。

Ⅲコマめは、短歌でした。今日はAコースの先生方が作られたものを、先生がなおしながら授業なされた。

Aコースの先生方はとても熱心に作っておられる。

Bコースもまけないように、がんばりたい。

Ⅳコマは折り紙でした。おひな様を完成させてこいのぼりを作った。もっと色々なものを折りた

い。

今日はとても寒かった。秋がこんなに寒いから真冬はどんなに寒いか…今から心配です。

かぜを引かないように気をつけましょう。

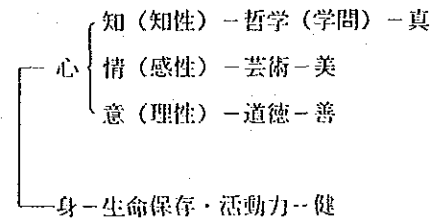
11月4日 金曜日

関口 ナツコ

今日は午前中は休講。ゆっくりセンターを出て、1時に石橋先生の授業を受ける。全人教育論なのだが、実は私の一番苦手なものの一つなのだ。

教育論では色々な人の考えを学ぶのだが、それぞれ考え方が違うし、受け取り方も違う。したがって、教育について、ああだ、こうだと言っても、結局は個人の意見になるのだと思う。でもそういうことばかり頭に入れていたら、道徳も哲学も心理学もあったもんじゃないので、最近やっとな

んとか、聞きいれるようになった。石橋先生の授業はテキパキしているので、教育論にも興味が出てくる。いずれは、よく授業に出てくるペスタロッチやルソーの書物も読んでみたい。



教育→狂育
知→痴 } にならぬようにと言われ、なるほどな、と思った。
体→怠

本多先生の授業では幼児部に行き、ネルを使ったパインルの教材を作った。みんなで小さい机で子供の頃に掃ったように、手をのりてよごしながら取り組んだ。これはブラジルに帰ったら使えそう。

明日から二日間、千駄ヶ谷で日本語シンポジウムに参加してくる。

現在の日本語教育についても、日本とアメリカの研究者の方々が研究の成果を発表し、討議を行うのだ。

一日七時間、とハードだけど、充実した週末になりそうだ。

11月7日 月曜日

宮脇郁代

日本文化について研究研修が始まった。大雄山最乗寺で座禅をした。

9:25 江崎さんとA・Bコース全員がセンターを出発した。まず最初に根岸駅から大船発の電車に乗り、そこで小田原発に乗りかえた。

10:49 小田原駅に到着し、お弁当を買って大雄山発に乗った。ここからは道了尊までバスだった。最後に大変なことがあった。6分ぐらい荷物をさげて階段を上り、やっと大雄山最乗寺に到着した。

12:00 貴寺到着し昼食にお弁当を食べ、茶湯をいただいた。

13:00 山おくの緑とさまざまな寺を味わった。大きくて全体を見学できなかった。

14:00 お坊さんが法話をしてくださるので全員集まった。内容は・お寺の成立ち、座禅の仕方、座禅は身心関連であることなどを教わった。

15:00 全員集まり、お坊さんから座禅の仕方を教えてもらい、25分間ほどした。

16:00 それぞれ各部屋に帰り、Bコースは部屋で皆が話し合った。

17:00 夕食を正座してごちそうになった。お坊様は、食べ方に注意し(例えば静かに食べる。お茶わんを一個一個もって食べる)、食事の後、食事の心得について説明があった。

18:00 江崎さんと集まりがあり、明日の日程の連絡があった。

19:30 お風呂に入ったあとは、皆お休みになった。なんてよい気持ちで眠っている。グーグー〜
お休みなさい。

11月8日 火曜日 晴

葛西 順子 ルシア

お寺での二日目は早く、5時に一人のおぼうさんが、ドタドタ走ってカンカンなにかを鳴らして
始まりました。

それからゲタをはき本堂でお経を40分あげてもらい、またゲタをはいて、今度は長い長い階段を
上り、きとうを20分あげてもらいました。若い、沢山のおぼうさんにはびっくりしました。お経は
何を言っているのかはぜんぜん分かりませんが、皆声をあわせて読むものでとても良い感じで気持
ち良くなりました。でも寒かったよ —— !!

そのあと、朝食!!大きい間で、皆、食事の心得を読んでから食べました。皆、だまって、もぐ
もぐ食べました。これは一つの心得なのです。

大雄山最乗寺に行った一番の目的は、自分に目ざめることです。それは、人よりも自分と人間の
ことを考えることです。

9時にはお寺を出て、京都への新幹線には11:30に乗りました。

京都には14:50に着きました。タクシーで旅館にむかい(15:35)それから自由時間でした。

6:30夕食。そのあと、また、ちょっとおさんばに出ました。

今日はながい日でした。

おわり、ごくろうさまでした。

11月9日 水曜日

木村直美

京都研修旅行 二日目 予定表

7:30 朝食

8:10 Bコース旅館出発

9:00~10:40 同志社大学授業参観

13:00~17:30 京都観光

この予定を終了するのにとっても忙しい一日でした。

同志社大学の授業参観はADVANCED SPOKEN JAPANESEクラス3つと SPOKEN JAPANESEクラス1つで
各クラスに3人ずつ入りました。

私と順子さんと真弓さんは伊藤先生の授業を見学してもらいました。伊藤先生のクラスは、生
徒7人で、授業は日本語と英語をまぜてされるので、学生さんには解りやすそうでした。また解ら
ないときは、英語を使って質問しておられました。授業が終わる20分前、私達3人は学生さんにイ
ンタビューされ、共通語の日本語で話してもなかなか通じていないようでした。

10:50頃から、ちょっと時間があつたので京都御所に行きました。

御所は、11月5日から9日まで公開されていて、今日最後の日に入れて最高でした。

次は13:00の観光バスに間に合うように少し急ぎました。

京都駅から、バスに乗って、昼食（お弁当）にしました。

観光順路は、

- ・金閣寺
- ・平安神宮
- ・知恩院
- ・清水寺

でした。ガイドさんは、入口まで送ってくださり、後は自由に見学して、決められた時間までにバスにもどることになっていましたが、なんだか忙しい観光でした。

清水寺からはバスに乗らず、自由に旅館に帰って来ました。

6:30には夕食して、それぞれ、京都での最後の夜を楽しんでいました。

京都べんをちょっと、

あたえ、うちーわたし

あんた -あなた

おおきに -ありがとう

11月10日 木曜日

清水 理恵 カチア

7:20に岡たみ旅館で朝食。

8:20出発、観光バスにA・Bコース一緒に乗り、京都市内見物。まず、龍安寺へ行き、朝の紅葉を見ながらお寺を歩き周った。

その次、平等院（10円玉の表にあるお寺）へ向い、ガイドさんからいろいろと説明を聞く。

黄檗宗大本山萬福寺で普茶料理をいただきました。これは精進料理、肉類は使っていないものばかりで、食するのももったいなくなるほどきれいなものでした。珍しいものが次々出てきました。とてもおいしかった。

バスに乗り奈良へ。

法隆寺では五重塔、金堂など見ながら紅葉がきれいな庭園を歩きました。

最後に東大寺。お寺が閉まる5分前に着いたので、みんな走って行った。ぎりぎりセーフで大仏を見ることができたのでよかった。

ごちそうが次々目の前にでてきた。食後のカラオケはもりあがり、とても楽しい時を過ごしました。

龍安寺 旭とともに 紅葉が

こころの奥を しずかに 染める

11月11日 金曜日 晴れ

土屋 真弓

今日は7:30に朝食をとり、8:30にチェックアウトした。Aコースの先生方と別れ、タクシーで奈良駅へ行った。小林先生は私達と一緒に行動することになった。コインロッカーに荷物を入れて、そのまま電車に乗り、薬師寺へ行った。まだ若いお坊さんが修学旅行で来ている学生達を相手に色々とおもしろおかしく説明していたので、私達も一緒に聞くことにした。最後に「皆さんの行中安全、家内安全、そして無理だと思うけど(!?)成績向上を願って」お経を唱えてくれた。

次に歩いて10分くらいのところにある唐招提寺を見にいった。御影堂にある鑑真和上の肖像彫刻と、東山魁夷が描いた障壁画が公開されるのは年に一度、6月5日から7日までで、見られないのが残念だ。

そこからまた電車で奈良駅に戻り、繁華街を歩いて、そこで昼食をとった。

そのまま居残ると言う6人と別れ、京都駅から新幹線で帰った。

11月14日 月曜日

井上 明楽

今日から日本外国語専門学校(日本語科)にて授業参観と実習が始まった。学校が高田馬場にあって遠いのなんの、根岸から一時間半かかって行かなければならない。

学校に9:15に着いた、ちょっと余裕を見すぎたかな。10:10から林先生がオリエンテーションを行いました。オリエンテーションの時、先生がBコースを班に分けて1班(土屋さん、丸岡さんと私)はもう明日実習をしなければならぬと言いました。おおおおお……びっくり。

午後から授業参観をしました。1班は13:30から15:20まで中級1の演習の授業とLL教室で行われた授業を見ました。15:30から16:20まで反省会が開かれました。

11月15日 火曜日

丸岡 アウベルト 義彦

日本語教育見学実習・日本外国語専門学校

◎10:10に初級5・演習/石橋先生の授業に参加

教材: -日本語演習(初級1)

P98会話3「とおりで」

◎11:11に初級5・LL/倉富先生の授業参加

教材: -初級LLI(聴解)日本外国語専門学校のテキスト

{ 発音アクセント練習・第6回

{ 聴解・第3回

◎13:30~16:20に井上明楽／土屋真弓／丸岡義彦、3人の先生方が12人の生徒に初級演習

第三課の授業で、

－グループ別指導（3グループ）問題点の把握（P.20）

－新しいことば

・6と7に重点をおいて、（こ、れ、あ、ど、いくら、だれ、～の、～まで）（P.21/22）

－ドリル

・文型を覚えさせ、

・意味を理解させる（P.23）

－ドリルの続き

・肯定文、否肯定文

・～の（P.24/25）

－ドリル2

・数字

－会話練習

11月16日 木曜日 曇

若林 広美 リンダ

今週、Bコースは新宿にある日本外国語専門学校へ、日本語教育の勉強のために授業見学と実習に行っている。

10:10~11:00 比較文化 谷口先生

日本語ガイド専科

この学生達は自分の国で日本から行く観光客を案内しているか、帰国してから案内業者になるつもりで勉強している。

今日、谷口先生が江戸文化について話して下さった。その中で宗教（仏教、神道とキリスト教）のことも出て来た。

11:10~12:00 日本事情 林先生

日本語ガイド専科

日本ジャーナルの雑誌に出た「相撲の世界」という記事を学生に読ませて、林先生が難しい言葉や文章の意味を説明して下さいました。

13:30~15:20 初級演習 第四課

指導担当 石橋先生

実習生 清水理恵カチアさん

葛西順子さん

木村直美さん

今日の実習生は先に、数量詞のドリルをしてから、会話の練習に入った。

基礎会話を変化したり、いろいろな教材（絵カードや本物）を使ったりしてよかったと思う。

15:30~16:20 反省会

石橋先生と林先生と参加者の意見や忠告を聞いて、次の時にどんなところに気をつけるかを皆と一緒に考えた。

11月17日 木曜日

出合美樹

今日も高田馬場へ行った。

午前中は、内山先生が教えている初級4の授業を参観した。とても明るいクラスだった。始めの15分ほどは生徒達の質問に答えながら自己紹介をした。生徒達は習った日本語を必死に使おうとしていた。とにかく彼らは、はずかしがらず、聞きたい事や、言いたい事を表現するのに色々苦労していた。

授業の内容は、日本語演習の第10課の「電車」でした。

ここでは、自分が分からない所や（地名や場所）、分からない事を人にたずねる練習だった。気になる点ただひとつだけあった。それは、会話を暗記させていた生徒自身、あまりはっきり分っていない時もあったが、そのまま棒暗記していたようだった。だから、おぼえた事を5分後に忘れていくというケースが見られた。

午後からは、山内さん、関口さんと宮脇さんの実習だった。

授業の形体は良かった。教材もうまく使われていた。（字が少しうすかったけれど）最後の何分かを使得って授業に関連したゲームを行ったのがよかった。

授業が終って反省会があった。色々な批判があり、お互いにとても参考になった。ここで大事だと思ったことは、1人1人が自分の長所・短所を認めることが進歩するためのカギであって、これからは批判を受け入れて、そして建設的な批判を出来るような人間になって行くことが大事だなどおもった。

今日も一日、ご苦労様でした。

11月18日 金曜日 曇

小田希美

日本外国語専門学校見学実習

午前中2、3時限は、初級IクラスのLLと同クラスの演習を私たち4班は見学する。

午後5、6時限 私たち4班の実習。

クラス ガイド専攻科（上級）

時間数 100分

次の目標にそって授業を進める。

1. 全文を読み、あらすじを理解する。

2. 新しい言葉や表現を理解する。

初めて成人（学習者）の前に立ち、すごく緊張する。

私が導入と通読の部分をし、美樹さんが段落ごとに説明し、広美さんがまとめの部分をする。

授業後、反省会がある。建設的な批判がある。

反省会が終わってから茶話会がある。

実習が無事終わりホットする。

11月21日 月曜日 晴 サ、サムーイ 関 口 ナツコ

昨日は日曜日、極真空手の全日本大会に行ってきました。朝早くからすごい行列、それも男の人ばかり。うちのそばに道場があり、大山倍達の本も読んだことがあるので、私もチケット片手に寒さにブルブルふるえながら並んでいました。

朝の十二時頃から始まって、五時半まで行われていたのですが、選手達が戦う迫力に驚かされ、目が最後まで釘付けになっていました。とても良かった！

さて、今日の一時限目は方先生の表現教育。自分の中にある感情を引き出し、表現する授業です。童心に帰ったように、恥かしいという気持ちを捨て、音楽をバックにゲームをしたり、体を動かしたりしました。こういう事をすることによって、想像力や集中力を養い、安らいだ気持ちになるそうです。

私は人前で感情を表に出さない性格なので、先生のおっしゃる素直な気持ちで授業に取り組むことは、大変むずかしい…。

静かな音楽は人を落ち着かせるようで、パンク・ロックは不満をぶつける対象なので、気持ちを静ませることはできないそうです。

むしゃくしゃして、落ち着くためにパンクを聞く私はどうなのでしょう。

二時限も方先生。

三時限は、本田先生の腹話術。発声練習でおなかから声を出さねばならないのだが、どうしても胸から声が出てしまう。

何回も「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」の発声。この授業の後は、必ずおなかですいてしまう。

四時限目は長野先生の授業。良い教師の条件について。

南米でも使われている光村の教科書の使い方についても習いました。

玉大も後三週間、信じられないくらい、あっという間に過ぎていく月日。日本にもあと四ヶ月。美コースのみんなと別れるなんて考えられない！

11月22日 火曜日

山内光子

今日は火曜日で玉川の学生と一緒に授業でした。

I時限目は、金平先生の学級経営でした。

例によって、学生の発表を聞いていました。

学級通信について（学級だより 学年だよりはいつ出すか）

学級経営の計画、などでした。

III時限目は、徳座先生の国語。

和語と漢語について。

IV時限目は、金平先生の国語教材研究でした。

読書指導について。意義と方法。

II時限目はないので、学園内を少し歩きました。

もう半年以上通っているのにまだ歩いたことがなく、天気もよく、ブラブラ歩いて、とても気持ちよかったです。

11月24日 木曜日

宮脇郁代

曇りの日をむかえ、センターで授業を受けた。まず最初に、1時間早く日本語能力試験について林先生から指導してもらいました。

次には、斉藤先生の音声の時間でした。形容詞のアクセントの型は、平板型（あかい）と起伏中高型（あつい）の2種類しかない。2拍の場合は頭高となるについて教わりました。その後、意力を集中して形容詞活用の練習をしました。

お昼からの授業は坂根先生と丸山先生でした。

坂根先生の文字表記では、ローマ字のつづりかたを教わりました。

例えば、sya syu syo は 内閣訓令式

Kyo wa densya ni notte kimashita

(sha syu sho) は ヘボン式

Takasa-ga nibai-gurai aru-deshoo

丸山先生の授業は、日本歴史で室町幕府時代に入った所で、社会生活のことを聞かせてもらいました。同じ人間でも文化の違いでわかるものだね……

11月25日 金曜日

木村直美

今日は、小学6年生の国語の授業を見学しました。

授業の内容は、

・漢字書きとりのテスト

- ・知っている短歌を一人一人言う
- ・6つのグループを作って、百人一首のカルタ取り

Bコースも各グループについて、百人一首を読んだりして、授業に参加させてもらいました。

午後3時限は、石橋先生の全人教育論で、

- ・小原園芳による全人教育の提唱
- ・成城小学校を母体とした新学校の系譜
- ・校歌を通して「玉川学園の教育理念」を考える

この三つのプリントを配られ、これらについて講義されました。

「質問コーナーは来週に」とのことでした。

4時限、本田先生の授業は、幼児部でフランネルの工作をしました。来週と再来週、この授業で、これらを使って実習することになりました。

ああ！実習って、思うだけで、どきどきする。

11月26日 土曜日 晴れ

葛西 順子 ルシア

今日は、A・Bコース一緒に川崎の東芝を見学しました。

とても広くて、きれいな所でした。もう、お客に東芝のものを見せて、いろいろ説明できる様になっていました。

中では、AコースとBコース（Aコースの男の先生2名と江崎さん）にわかれしました。いろんなものを見ました。

最初に①高性能ロボット（より人間に近づく技術をめざして）

②リニアモーターカーの模型（じしゃくの力）

③人力発電のしくみ（自転車）

④人工雷

⑤静電気発生装置

⑥レーザーアート（新しい光の芸術）

⑦高品位テレビシステム（走査線数 525本を1125本に）

⑧超音波診断装置

⑨すばやさーReflex Test

⑩スピードは？ーQuickness Test

⑪電子身長・体重計

⑫東芝のランプ歴史

⑬電子インコ（同じ声をつくりくりかえず）

⑭マンモスランプと^{あつが}薬粒ランプ

⑮東芝電池のボルト “ボクは力じまん”

⑯ホーム・コントロール・システム

⑰東芝映画

1875（明治8）－田中久重－創始者

1959（昭和14）－東京電気と芝浦製作所が合併した

で、東芝電気になりました。

とても広くて、おもしろい所でした。もっと、もっと他の物を見たかったが、1時間見て回っていた。

説明の途中でいろいろと参加して、実験などしたので、もっとわかりやすいし、とてもおもしろかった。でも私としては、できれば、本当に東芝の工場なども見たかった。

その後、自由行動になった。

11月28日 月曜日 晴のち雨

清水 理恵 カチア

今日の1・2限は方先生の表現教育、静かな曲（Mind Music）が流れる空間で、体と気持ちをほぐした。それは軽い動作とゲームを通じてできた。それから、劇というのは、ある人生の経験を表現することだと教えていただいた。

午後からは、本田先生の腹話術。まず発声練習をし、次に一人一人人形を使いながら、短い会話をした。でも腹話術の声を発声するのはとても難しく、なかなかできません。練習すればだれでもできると先生はおっしゃったけれど。

4限は、長野先生の授業。今日は、日本語の特色についてみんなと話し合いました。主な特色には次のことが考えられました。

－漢字、ひらがな、カタカナとローマ字が交ざって使用されること

－敬語

－数詞

－男女のことばの違い

－擬態語が多いこと

まだまだたくさんありますけれど、それはこの次の機会に。

11月29日 火曜日 曇

土屋 真弓

1限：学級経営／金平先生

本の紹介－「主人公はみんな」

発表－＜教科担任制とティーム・ティーチング＞

＜生徒指導について＞

- ・精神的条件整備機能論
- ・人格形成機能論

<チーム・ティーチングの導入>

4限：国語教材研究／片山先生

発表プリント「あいさつの言葉」（出典：教育出版刊『小学国語 4下』）を教材として
どのように使うか、どんな学習法が考えられるか
テキスト「学習指導案について」を配る。

11月30日 水曜日

井上明楽

今日の一時限目は幼稚部で授業参観しました。子供達と一緒に遊びながら子供達の一日の始まりを見ました。二時限目には金平先生が漢字論と短歌論の授業を一つに纏めて行われた。ですから三時限にあるはずでした短歌論の代わりに、体育館で行われた玉川大学・玉川女子短期大学の音楽発表会で演奏された L・van Beethoven の曲を聞きました。四時限目は林先生が行われた折り紙実習の授業を受けました。

12月1日 木曜日 曇

若林 広美 リンダ

本当なら今日は丸岡さんの当番だったが、ちょっと気分が悪くて一日中休んだから、今回の順番を変えた。

午前9時30分から10時20分まで、日曜日（4日）に受ける日本語能力試験のために、林先生が指導して下さいました。Bコースの6名は皆1級の試験を受けることになったが、私には難し過ぎると思う。それでも、皆と一緒に頑張る。

午前10時30分から12時までは高藤先生の音声の授業だった。まず、先週学んだ形容詞のアクセントを復習してから、書取りがあった。そして、今日、動詞のアクセントの発声を練習した。動詞の場合にはアクセントの型の数は少ない。平板型（○　○、○　○○、○　○○○、○　○○○○）と起伏式（○　○、○　○　○、○　○○　○、○　○○○　○）と少数の例外があるだけだ。

午後1時から2時40分までは坂根先生の文字・表記の授業だった。久しぶりに漢字の読み方の試験があった。今度の試験で勉強した漢字は多かった（18ページ）ので難しかった。それから、同音異義語の練習問題（平仮名→漢字）をした。

この授業も日本語能力試験のためにいい復習だった。

午後2時50分から4時20分までは丸山先生の日本事情の授業だった。授業が始まる前にちょっと話し掛けた。今年も世界中で日本人の平均寿命が一番長い。だから、現代の日本人の体位や体力や日常の飲食物等について話した。それから、本当の授業に入った。丸山先生が室町時代の文化についていろいろ話して下さいました。丸山先生は話しやすい人なので、今日の授業は面白かった。

12月2日 金曜日

丸岡 アウベルト 義彦

朝、10時40分に玉川学園の小学校見学であった。5年生の組、数学の授業であって、教師は分かりやすい説明で生徒に伝えていた感じがしました。分数を教えるのにいろいろな教材をつかって授業を進めた。

午後13時から全人教育の授業がなくて、その代わりに西ドイツガイスラー教授（ボン大学）の特別講義があった。その後に本多先生の授業でいろいろ教材研究、または教材の使い方。

12月3日 土曜日 晴

出合 美樹

今日はAコースの先生方と美コースそろって鎌倉見学に行った。引率はいつものように江崎父ちゃんにいただいた。センターを9:15に出発する。10:00ごろ北鎌倉に着いた。そこからは、安田三郎先生（鎌倉の博物館でお仕事している方）に案内をしていただいた。見学した順を下記に示す。

1. 円覚寺 700年前2度にわたって蒙古軍が日本に攻めて来たが、二回ともその時吹いた台風によって日本は救われた。その時戦った軍死者の霊を慰めるためにこのお寺が建立された。
2. 昼は鎌倉駅東口から出た近のお店でそれぞれ自由に昼食をとった。
3. 12:30ごろ集合し、その後、源平池を見学した。この池は、その時代の極楽浄土を表したと言われている。池の岸にシロシダと言う柳があり、春になるとその実が白い線をつけて風に乗るとも美しいそうで、これを中国では柳絮と言うそうだ。

池を後にし、雪の下通りを歩いて少し行った所に、鎌倉幕府の跡や頼朝の墓といわれている石塔を見た。そこから少し歩いて三第天人様のお宮に着く。時間があまりなかったので遠くでお参りして覚園寺の方へ向う。鎌倉で最も鎌倉らしさが残されているという、優れた環境に抱かれています。ここでは、青い空にイチョウともみじがとっても美しくはえていた。

バスで駅まで行き、ここからはエノデンで長谷に向う。

4. 駅から10分くらい歩いた所にある長谷観音のお寺へ行き、その後、仏像が沢山並んでいる洞窟をくぐりぬけたあと、やっと待ちに待った大仏さんにご対面する事ができた。「どっしり」とかまえていて、お参りに来る人に安心感をもたらす感じでした。これは、1252年に出来たそうだ。

☆☆ここで ひとつ なぞなぞ を おぼえました

「奈良の大仏様と鎌倉の大仏様とどちらが先にたったのでしょうか？」

……答えは江崎さんに聞いて下さい。

最後に一言。今日の見学は何も予習して行かなかったのですが、少しむずかしかったが、先生の説明がすばらしかったので、以外とおもしろく聞くことができた。それにとっても良い天気にも恵まれ、運が良かったとも言えるでしょう。

12月4日 日曜日 晴のち曇

小田 希美

Bコース6人と子弟研修生7人が日本語能力検定試験を受けに行った。皆、実力があって受かったそうです。(心からの願いである)

12月5日 月曜日

小田 希美

1・2時限の表現教育は休講。

3時限の教授法では1 指導計画の必要性

2 指導技術と授業設営

3 指導案の分類

4 指導案の段階

導入

展開

評価

について学ぶ。指導案を提出する。

4時限 腹話術では発声練習をした後、実際人形を動かす。難しい。

12月6日 火曜日 晴

関 口 ナツコ

1 - 益井先生 - 保育活動の概観

保育の場 { 地域環境
園環境
子供の生活環境

カリキュラム(教育課程)の基本領域

A. カリキュラムをささえる3本の柱

A. 1 - 社会、A - 2 人間の学習、発達の基本原理、A - 3 知識の領域・生活の知恵

B. カリキュラム構成をガイドする諸要因

B - 1 - 幼稚園・保育所の目的、B - 2 - 知識の領域、B - 3 - 心理学的基本原理

2 - 高森先生の音楽の授業では、「うみ」と「夕やけこやけ」の歌をアレンジして、学生たち(私たち研修生も)が楽器を演奏する。

3 - 片山先生 - 作文指導

目標 - ひとまとまりの文章を書く能力

教師は表現意欲、構想、記述、推敲などの指導をすべきである。

おととい久しぶりにうちに電話しました。沢山話したいことがあったのに、母の声を聞いたとたん、何をしゃべればいいのかわからなくなってしまいました。三分間ぐらい、「元気」「元気だよ」

と、たわいのない会話。母いわく、「すっかり日本の女の子の話し方になったわね」。

来年、再会した時、少しは“成長した”と思ってくれるかしら？

12月7日 水曜日

山内光子

今日も寒い朝ではじまりました。日に日に、冬が近づいていることをしらせているように、顔をあらう水もとても冷たい。それにもかかわらず、『子供は風の子元気な子』この言葉どおり、玉川の幼稚部の子供達は朝から寒さに負けずに走り回っていました。

私は、りす組を見学しました。ちぎり絵でクリスマスのもを表現させようという先生をおかまなしに、子供達は好き勝手にちぎり、はっつけていました。でも彼らにとっては、それはいっしょうけんめい考えてつくったもので、ひとつひとつ感じが出ていてよかったです。

そのあと、本田先生のクラスの子供達と親子ゲームという楽しい遊びをしました。子供が私達のひざの上にすわり、先生が「女の子」というと、女の子をだいている人達が自分のいすから立ち、あいているいすをさがしてすわる。すわれなかった人はおにです。少しの時間でしたが、とても楽しかったです。

次は、金平先生の漢字論と短歌でした。

おり紙は、クリスマスでサンタクロースとクリスマスツリー。

あとで先生の作品のちゅうせんがあり、とても楽しかったです。

12月8日 木曜日

宮脇郁代

あまり忙しくない日は、センターで授業を受ける日です。特に今日は、江崎さんが病気でお休みになったからです。

授業は午前10:20に始まり、音声の時間でした。動詞句（イコウトオモイマスーアクセントは動詞で決める）と漢語動詞（案内する一名詞にするをつけて動詞にする。アクセントは名詞の形をそのまま使う）のアクセントのつけかたを教わり、日本語能力試験の感想について話しました。

2限目は、坂根先生に年賀状の書き方を教わりました。

3限目は、丸山先生の日本事情でした。日本歴史の中でヨーロッパの人（イギリス、ポルトガル、イスパーノ）の来着について長い話しを教わりました。今日も大変つかれました。

12月9日 月曜日 晴れ

葛西 順子 ルシア

今日は小学校の見学！そしてもっとうれしいのは、音楽の授業だからです！4年の梅組で、長嶋先生のクラスでした。

子供達は元気いっぱい、歌います。本当に心から歌っているみたいで、とても楽しそうです。先生もすごく好かれているようで、いつも何人か先生の手とか、後をくっついて歩いているようでした。

とにかく、私達に残る疑問は、どうやってあんなにも子供達を参加したい、歌いたい気持ちにさせるのだろうか、玉川がそうさせるのか、先生なのか、日本の教育がそうなのか、国民性なのか、ただ単にやっぱり音楽はいいものであって、それがあたりまえなのだろうか……

その後、全人教育論の石橋先生の授業でした。いつもの様に、小原先生の全人教育と個性尊重の教育について話しました。今日の全人教育論は始めて、はっきりわかりました。小原先生と玉川ももっと理解できました。私には玉川の先生達が話して下さる小原先生、または理想、玉川学園の事はあまりにもすばらしいので、何かへんな気持ちでしたが、石橋先生が始めてもっと現実的な事を言ってくれたので案心しました。たとえば、今の玉川はたぶん小原先生の理想とだいぶちがうものになってしまったのではないのだろうかとか。

そして、一番良い事を教えてくださったのは、

①教師は水車である



② “進みつつある教師のみ人を教うる権利あり”

(ディースターヴェーク)

の事でした。とてもよかったです。

そのあと、本多先生の児童言語論でした。(Black Magic)

ブラックマジックで遊び、とても楽しく最後の授業を過ごしました。この遊びはここで教えませんからね？

今日は、本当に有効な一日だと私は思いました！

12月10日 土曜日

木村直美

今日は9時半から、Aコースと美コースは講堂に集合して、石井和夫先生からレクリエーションの授業を受けました。

先生は最初1時間程、ご自分の体験を通して、教育者の心、人間関係について、わかりやすくお話くださいました。

またゲームを通して気のついた点や、指導者の心掛けや、ゲームを通してどれだけ子供に近づけるかを話しながら、イストリゲーム、足踏みゲーム等教えてくださいました。

「ゲームで間違ったりしても、人に見られなかった、知らぬ顔して、子供達に頼りなさを与えないこと。」

午後は1時から、2時まで音楽でした。歌を歌う時は、姿勢を正しく背筋をのばして、声は大きく出なくても、口を大きくあけて歌うようにと先生は注意されました。

先生のアコーディオンに合わせて、ホルディリア クック、かかし、歓迎の歌、今日はどなたです

か、ROCK MY SOUL、日本の歌で忘れてはならない歌、雁、赤とんぼ、もみじ、等歌ってからシャローム、今日の日はさようならを歌って、音楽の授業は終わりました。

続いて折り紙、新聞紙を作って7変化帽子を折ったり、クリスマスツリーを作りました。新聞紙をちょっと工夫すれば、なんでもできることがわかりました。

次、九去法（九になったらとる）、教遊びやことば遊び等、教わりました。

先生は、最後にキャンプ（野外活動）について、話してくださいました。

美コースは8月に石井先生の授業受けていたので、時間のため先生が教えられなかった工作は、美コースがAコースに教えることになりました。

土曜日授業があることはちょっと疲れますが、石井先生の授業は勉強になることばかりで、教育について反省させられることばかりでした。

今週の土曜日も鎌倉見学に続いて、充実した土曜日でした。

12月12日 月曜日

清水 理恵 カチア

また新しい一週間が始まろうとしています。本当にこのごろ時間が過ぎるのがとても速くすでに私達が日本に着いてから今日で八ヶ月になります。

今日の1・2限は方先生の表現教育の授業です。

まず、マイント・ミュージックをききながら体を動かし、気持も楽にしてから「カラスときつね」という朗読劇の脚本をグループに分かれて練習しました。それから各グループがそれをみんなの前で発表しました。

今日は玉大の演劇部の学生が「ジャックと豆の木」と「だってだっておばあちゃん」を発表しました。

3限は本多先生の腹話術。まずみんなで発声練習をし、それから一人一人前に立って声をだした。その後は人形（ケンちゃん）を使って、先週練習ができなかった人が、今日お話ししてくれた。

最後の4限は長野先生の授業。

今日は授業計画の中の学習を行動化（例：労作）させることの大切さ。「為すことによって学ぶ - Learning by doing 」など教えていただいた。

それから学習者にはいろいろな個人差があり、それは

- 知能
- 学力
- 学習速度
- 特殊能力
- パーソナリティー
- 学習のスタイル

等のちがいによるものだと教えていただきました。

今日で玉川の授業はもう終わりです。

Aコースの先生方と講義を受けるのはこれで最後です。

短かったけれど、とても楽しい時を一緒にすごせたことと思います。

12月13日 土曜日 曇

土屋真弓

1 限目：学級経営・金平先生

レポート提出（7～10枚）

学級経営における基本的考え方を述べ、児童生徒の理解とは具体的にどうすることかを考察せよ

学習指導、生徒指導の両面から学級経営において、教師の持つべき教育観とその実践方案をしめせ

学生達の発表

・オープンスクールによる個と集団を生かした学習

実例：札幌市立丘珠小学校

利点：授業内容の多様化－個別学習、グループ学習

子供の個性を育てる

・学年教育目標と学年経営案 p. 143 ～ 154

学年教育目標の設定

学年経営計画の作成

学年経営の実際

4 限目：片山先生

宿題：来週までに学習指導案を作成し、提出する

学習指導の展開

本時の目標

単元（ユニット）設定の理由

教材の分析・設定－大人（教師）の解釈の上に立って、今の子供達に何を感じてほしいのかを考える

教材－『川とノリオ』

どういう作品なのかを考え、ノートに書く

一人一人それを発表する

12月14日 水曜日

井上明楽

今日は玉川でAコースとBコースの修了式がありました。

13:30から14:30までは相変わらず長野先生が講義を行った。そのあと修了書をいただきました。そこには文学部長小原先生、長野先生、金平先生、林先生、松田課長、江崎さん、鶴飼さんがいました。そしてパーティが開かれて少ししたら本多先生がきました。

これでもう今年玉川に行かなくても良い。

12月15日 木曜日

丸岡 アウベルト 義彦

今日は一日中坂根先生の授業でいろいろと指導をいただいた。

文字・表記の時間に、

- ・履歴書の書き方・注意
- ・教師検定試験、文字・表記の問題

24~27までやった、またその訂正をした。

- ・暑中見舞いの書き方のプリントをもらった。

研修課題指導の時間には葛西先生と私が参加した。彼女と私側からいろいろ課題で迷っていた点について坂根先生に相談、また坂根先生から具体的に指導を受けた。

12月16日 金曜日 晴

若林 広美 リンダ

江崎さんはまだ風邪を引いているので、今日も皆と集合できなかった。江崎さん、一日も早く元気になって下さい。

午前10時20分から12時までは斎藤先生の音声の授業だった。いろいろな動詞活用のアクセントを練習した。例えば、和語例外動詞の活用は：

終止形	て形	～ながら	～ないとき
○ <u> </u> ○○	○ <u> </u> ○○て	○ <u> </u> ○○な がら	○ <u> </u> ○○ ないとき
○ <u> </u> ○○ <u> </u> ○○	○ <u> </u> ○○ <u> </u> ○て	○ <u> </u> ○○○な がら	○ <u> </u> ○○○ ないとき

けれども、漢語動詞の活用は：

終止形	て形	～ながら	～ない
○ <u> </u> ○○する	○ <u> </u> ○○して	○ <u> </u> ○○しながら	○ <u> </u> ○○しない
○ <u> </u> ○○ <u> </u> ○する	○ <u> </u> ○○ <u> </u> ○して	○ <u> </u> ○○ <u> </u> ○しながら	○ <u> </u> ○○ <u> </u> ○しない

漢語動詞を活用しても、初めの名詞の部分のアクセントは変わりません。

午後1時から2時40分までは斎藤先生の教材研究の授業だった。今日はこのコースの初めての授業だったから、いろいろなことを話した。

2時40分から3時までは研修課題指導の時間で、斎藤先生と相談したい人だけ先生と相談した。

3時から4時30分まではAコースの先生の研修結果発表会で、Bコースも参観できた。Aコースの先生は皆ありがたい気持ちいっぱい、いいことだけ発表した。けれども、一つ出た大切なことは、センターの中に図書室が必要なことだ。4階の第1講義室と第2講義室とL室とビデオ室で皆テレビを見ながら勉強するので静かな部屋はない。そして、一人の研修生はステレオをかける時、ただ自分の部屋だけに聞こえるようではなく、3階の皆さんに聞かせるように音を立てるので、自分の部屋で勉強できない。

6時から8時まで、Aコースの先生の送別会を開いた。この3ヵ月が早く飛んでしまった。あっと言う間に終わった。Bコース達は後3ヵ月しか残っていない。

今日で今年の授業が終わって、これから冬休みに入る。

皆さん、いい年をお迎え下さい。来年もどうぞよろしく願い申し上げます。

1月9日 月曜日 くもり

出合 美樹

冬休みから皆帰る、又明るい笑い声がセンターによみがえった。この休み、変わった事と言えば、皆も知っているとうり、昭和の時代が終り、平成へと変わった事である。

天皇陛下が、1月7日午前6時33分に崩御された。

にぎやかな夜をかざるネオンはすべて消え、しずまり返った日々が2日続いた。テレビでも、2日間どのチャンネルを回しても、同じ天皇陛下のお話しばかりでした。

とにかく、日本全国の雰囲気「ガラッ」と変わっていた。

国民にとって、このできごとはどれほど重大であるかわかった。

今日の授業はいつもとちがって、9:30から丸山先生と斎藤先生に「昭和から平成へ」と言う題目で、午前中みっちり講義を受けた。斎藤先生からは、天皇に対して使われる特別用語について教わった。丸山先生からは、日本人が思っている天皇の存在について話していただいた。特に丸山先生にとって、共に昭和の大部分を大行天皇と歩まれたと言う事で、話す事がたえないぐらい、陛下の事をよく御存事であったようだ。陛下の人格を、あの大きく豊かな心でとても理解していたようだった。

午後からも丸山先生で、日本語教授法について、先生の体験を話された。特に重要な点だけ示しておく。

・本ものの教師としての資質 その1 実力を持った上で、自信を持つ事。そのためには常に研修し、向上心を持つ、そして労力をおしまない。

・その2 経験を多く持つ事、若さを失わない事。若さとは情熱である。つまり、教育とは技術と理論をもって実践する事である。

今日の反省日誌がおくれて他の人にめいわくをおかけして、真に申し訳ございません。その上、

きたない字なので、言う事なしですね。

それでは お休みなさい。

1月10日 火曜日

小田 希美

玉大通学日

1時限 学級経営

学生達が玉川学園小学部（低学年）における総合学習について発表する。

天皇の崩御について先生からお話がある。

授業後、食堂へ行き、昼食をとる。

光ちゃんと文Ⅲの図書館へ行き、研修課題の本をさがし、かりる。

4時限の国語教材研究の授業では、一斉授業、グループ指導、個別指導について学ぶ。

夕食後、大学でかりてきたIQの本を読む。

玉大通学も後1回。

1月11日 水曜日

山内 光子

今日は久しぶりに江崎さんとの顔合わせがあった。

去年のくれからは、江崎さんが忙しくて朝の集りが出来ず、月曜も9:30から授業だったので、本当に久しぶりだった。

一時間目音声で形容詞について。

二時間目は、丸山先生の日本語教授法だったが、先生がいらっしゃらなかったので休講になり、2時10分から高見沢先生の教材研究があった。まず、学習者の目標、期間、条件、学習者の質によってテキストを選び、教授法を決める。

良いテキストとは、目標に合って、興味のある内容、

（一般教材、分野教材に分かれる）長期的な記憶、

頻度×強度（インパクト）などで授業する。

授業が終わったのは4時、それから少し運動不足だったので、ナッチャンと30分間バドミントンをした。順と直美と丸と明楽がとなりでバレーをしていた。

これからもう少しスポーツをしなくては……

1月12日 木曜日

関口 ナツコ

久しぶりの日誌で何から書こうかな。

まず、授業について、今日は坂根先生の授業が午前、午後とあった。

午前は文体について

- ・口語体→現在使われている
行かなければ なりません
- ・文語体→昔使われていた（現在残っているものもある）
行かなければ なるまい
- ・常体→ふつう体/だ・である体
- ・敬体→ていねい体・ですます・でございます
- ・同義語→同じ言葉
- ・類義語→似ている言葉

午後は、色にまつわる言葉（色彩言葉）

青くさい・赤恥をかく・緑の黒髪など

ポルトガルで、フルック・ベルデ（fruta verde）と言うと、緑の果物となり、未成熟の果物を指すなどと話した。

ベツト（丸岡さん）が、これをひねって、私に「美成熟」と言ってくれたのが面白かった。彼は、ほめ言葉が得意なので全く信じないのだが……

最近、TBSの方達とよく話す。ニキビをすごく気にしている私に、毎日「ナッチャン、きれいになったよ」と言ってくれる。魔法の言葉みたいに一日が明るくなる。おばさん、ありがとう！

1月13日 金曜日

宮 脇 郁 代

江崎さんとの集まりで皆と顔合せた。

今日の授業は一日斎藤先生の担当でした。2時限目までは教材研究、“82年女子大生就職事情”と“NHK週間ニュース”のビデオを見たあと説明があった。

3時限目は、研修課題指導の時間でした。でも、そのまえにお茶と先生からいただいたお菓子で茶会があり、自由に研修について疑問に思っていること、知りたいことの会話時間があった。この後、研修課題について相談があった。

1月17日 火曜日

葛西 順子 ルシア

今日は、玉大の最後の日でした。なんかさびしいのとホッとした気持でした。いつものように、金平先生、徳座先生と片山先生の授業がありました。

私は、この火曜日の先生の中で一番好きなのは、徳座先生です。とてもおもしろく、やさしく、本当に生徒達に授業の内容をわかって理解してもらおうとする気持がはっきりわかります。で、私にとってはちょっとねむくなったりしますが、そんな時、クラス全体もそうなので、先生ははげましながら良く説明してくれます。この先生とは話しができそうです。

今日は、17.01.89、私の同室、直美のお誕生日でした。

直美、いつまでもいつまでも チョキチョコキ心を忘れないで、
幸せになって下さい！！

Parabens!!

1月18日 水曜日

木村直美

今朝9時45分の集合で、江崎さんから色々話があり、終わったのが10時20分でした。それからすぐ斎藤先生が見え、音声の授業が始まりました。音声の授業はだいぶ解って来たようですが、なかなか先生がおっしゃる通りのアクセントができませんでした。

午後の授業は教授法で丸山先生が、日本語教師の心構えについて、ご自分の体験などを通して、解りやすく、講義してくださいました。

3時限目は、今日休講だったので、みんな荷物を送ることにしました。もう玉大の授業も終わり、そろそろ帰る準備、と思うと淋しくなります。

でも、まだ研修課題にがんばらないと……

1月19日 木曜日

清水 理恵 カチア

今日は、一日中坂根先生の授業でした。

今度、2月2日に研修課題の発表があるので、そのために今日は、文章構成の方法について勉強しました。

表紙、目次、箇条書、会話の書き方について勉強しました。

もうだんだん日にちが近づいて来るので、不安の気持ちでいっぱいです。

授業が終わってから、山内さん、木村さん、葛西さんと私の4人は目次の書き方を指導していただきました。

1月20日 金曜日 晴

土屋真弓

今日は1限も2限も斎藤先生の教材研究の日でした。'82女子大生就職事情という内容のビデオを見、その背景を理解する、といった授業でした。先生は、1課見るごとにテープを止め、私達の質問をうけたり、説明して下さったりしました。

10月1日－会社訪問の解禁日

なぜ10月なのか？－会社と大学の妥協の結果である。

会社説明会々場－学生達は朝の5時頃から来て、自分達の熱心さを会社側に認めてもらおうとする。

就職先が内定している学生は7～8割

男子は11月頃

女子は次の年の春頃までに決まる。

大学での勉強—社会では通用しないと見られている。

希望した会社に入れても、希望の部門に入れてもらえるとは限らない。

男女雇用機会均等法—会社側は「女性だから…」という理由で断ることはできない。

JICA—政府関係機関

1時には皆で移住者の人達を玄関で見送りました。

午後の授業の前に白鳥先生のご厚意で、Bコース全員に送られたフラッシュカードが配られました。

1月23日 月曜日 雨/曇

井上明楽

今日ベットから下りたのが9時40分、急いでズボンをはいて朝の集合に駆けた。江崎さんからは幾つかの知らせの中でこう言った。「今日もっと冷えたら雪が降るでしょう」期待して待っていたのに雨風だけ。雪が降るのを初めて見るのは今回ではなかった、残念、残念。

もう直ぐアキラが「留学生です。」と言える時期が終わる。この留学期間の終わりには一日中一人の先生が講義を行う日が多くなった。今日、月曜日は丸山先生でした。午前は“日本事情”午後は“日本語教授法と研修課題指導”。

この頃授業中居眠りしないようになったし、日本的な表現ができるようになったと思うようになった。日本語教授法の授業のあと、受付まで手紙がきているか見に行ったとき、坂根先生が雨の中からセンターに入った。そのとき何も考え付かなかったけど、階段を上がっている時この様なことを言ったらどうだ、「寒い雨の中をごくろうさま」と思った。けれどその時はもう遅かった。また今度の機会だな。と言うことで、私は出来なかったことが少し出来るようになって嬉しい。特に今は。

研修課題指導の時、私は最後で、先生を少しインタビューすると先生と約束していた。私の番まで時間がかかったのでインタビューは今日出来なかった。

丸山先生のお話を聞くのが面白い。先生の考えたこと、先生が生きたこと、先生はそれを私達に話してくれるから有り難く思っています。なぜかと言いますと、それは私が生きたこととがないこととか、生きられないこととか、生きたくないことを話して、それを何かの形で私達のものに出来るからです。先生みたいな人に出会えて本当に良かった。

1月24日 火曜日

丸岡 アウベルト 義彦

「昨日は雨が降ったし、今日は何と良い天気、冬とはおかしいな…冬は感情のようころころと変わるのかな」と窓から景色をながめていたら、林先生が来ました。

林先生は「語彙・意味」のプリントにそって授業を進めました。内容は…、

－日本語教育における語彙・意味の指導に当たって、どの程度の語数、どの程度の派生的意味を取り扱ったらよいかは、なかなか一律にいかないこと；

－象徴語、擬音語、擬声語、擬態語、音象徴語

午後、1時からは加納先生の対照言語研究の授業では「漢字とは何か」、中国語とは？中国語の特徴。日中の漢字のいろいろな比較がありました。

2時50分からは今まで一番面白かった先生で、実は私自身が悩んでいた、頭は痛かったが石川先生の授業を聞いているうちに「笑いたくなくても笑った！」。石川先生も対照言語研究の授業でスペイン語とポルトガル語を日本語と比較の授業で、

－「言語（言葉）」の比較・意味の違い・文化の違いなど；

ほんとに経験、知識の深い先生で、その上に導入のテクニックがすごく良かった、また聞いている方も諦めないようにうまく授業を進めました。

1月25日 水曜日 晴

若林 広美 リンダ

今日も何とも言えないいいお天気で、カナダ人としてこんな暖かい1月（10℃）を経験したことは初めてだ。

江崎さんとの集合で帰国することと、2月と3月の予定表の変化のことを知らせて下さった。後63日しか残っていない。

けれども、帰る前にしなければならないのは：

- (1)研修課題口述発表と、
- (2)研修課題提出と、
- (3)各授業の総括アンケートと、
- (4)一年間の研修総括報告書と、
- (5)研修結果発表と…

午前中は斎藤先生の音声の授業で、「はなしことばの形態的分類」について勉強した。一つの大切なことは日本語の会話に相槌をうつことだ。

午後1時からは斎藤先生の教材研究の授業で、「『女子大生就職事情』の背景」について話して、「NHK週間ニュース」のビデオを見て勉強した。

次は、高見沢先生の教材研究の授業で、外国人に日本語を教える時に使うビデオをいろいろ見て勉強した。

一本はビジネスマンのためのビデオで、挨拶とか名刺交換のし方を教える時にはいい。そして、ビジネスマンに教えると、読み書きより会話のほうを強調するので、教科書は日本語ではなくてローマ字で書いてあった。

今日は土屋真弓さんの誕生日だった。なぜだか分からないが、皆で歌ってあげなかったので、何か物足りない気持ちでした。だから、

Iverida amiga Mayumi,

Feliz Aniversario !

Feliz Cumpleanos !

Happy Birthday !

お誕生日 おめでとうございます！

Um abragao e um beijao,

Hiromi

Your canadian friend

1月26日 木曜日 雨後曇

出合 美樹

いつもと違った朝を迎えた。それは、いつもより早く起きて、朝食を自分で取って、ゆっくり食べた。いつもは、だれかさんにとってもらって、ギリギリに起きて、江崎さんの集会までにパンをのみ込みながら上がります。

江崎さんとはセンターで受けている授業についての反省をした。来年のために、これを参考にして良い授業に展開して行くと言っていた。

坂根先生の授業は先週の続きで、論文の書き方や学術書の書き方、特に今日は、かぎやかこの使い方、引用の仕方などをした。午後からは、日本語の表現のバリエーションで呼称と人間関係について学んだ。例、

- ・呼称の色々、お母さん・ママ・おふくろ・母・etc
- ・人間関係、自分を中心に考えて、内と外の人・仲間・他人・世間・世界・etc
- ・相手に対して話し方や表現の仕方、あつかい方が変わる。

一例づつ細かく分析した。

3時から研修課題の相談のスペースがあったので、いくよさんとのおみさんと私が少しずつ坂根先生に相談にのっていただいた。

課題発表までにあとわずかしが時間がないので、みんなあせっている。

1月27日 金曜日 晴

小田 希美

1・2時限、斎藤先生の教材研究の授業では、第6課の参院全国区改正、第7課の国連事務総長広島訪問、第8課の公務員ベア凍結、第9課の厚木騒音判決の内容について詳しい説明がある。

説明後今度は、『82年女子大生就職事情』のほうのテキストで、練習問題のやり方について説明がある。

授業後、研修課題の指導があり、7人相談をする。

夜9:30から51期生の打ち上げパーティと誕生パーティがある。

1月30日 月曜日 晴

山内光子

今日は一日丸山先生との授業でした。

- I. 日本事情
- II. 日本語教授法
- III. 研修課題指導

でした。私は、I. は病院へ行ったので授業を受けられませんでした。II. はじめの20分ほど先生の体験談(生活の知恵)を少ししていただきました。

教授法はカリキュラムについて、どう作るか、などでした。

あと3日で口頭発表です。みんながんばりましょう!!

1月31日 火曜日 晴

関口ナツコ

うわ〜、朝起きて鏡を見てみると左目がはれている。

みんなに疲れ目と言われた。これも研修課題のためにワープロの打ちすぎ? 肩もこってるし…何年たっても、机に向かうのは苦手。ながら族の私はワープロが苦痛。でも便利だと思う。

今日は火曜日だけど玉川学園に行かないでセンターの授業。

午前中は林先生の擬音語、擬態語についての授業だった。

にやにや・にこにこ・へらへら・にたにたの使い分け方などがあったのだが、なんとなく感覚でしか知らないので説明できなかったが、ジェスチャーしながら先生が教えてくれたので、とても面白く、勉強になった。

午後は加納先生が簡体字(中国で使われている字が書きやすくなる)の説明

例: 繁体字(昔の字) [藝] → 簡体字: [芝]

中国での外来語の表記も習った。例: 打火机 → ライター

それをクイズ風に先生が聞くと、カチアは、みんなでクイズ番組に出場したらいい、と言ったほどよく当てた。

ピンポン・ピンポン・ピンポーン!

石川先生の授業では言葉の誤用。

これをもってニュースは終わります。

↑
目的語

↓
これをもってニュースを終わります。

研修発表のためにみんな遅くまで起きている。今は夜中の十二時をちょっと過ぎたところ。美コ

ース、がんばりすぎて体をこわさないようにしましょう！

では、おやすみなさい。

2月1日 水曜日

宮 脇 郁 代

午前中は、江崎さんの集りと音声の授業でした。

この授業には、文章の中のアクセントや空間の書き取り練習をしました。例えば：

センセエワ オゲンキデイラッシャイマスカ。//

午後の2時間目は無かった。3時限目は、谷先生の教材研究のAn Introduction to Advanced Spoken Japanese の教材の作成の仕方について教わった。

授業の終わりにJICAからいただいた教科書をわけて、明日の準備のため講義室のおそうじをしました。

2月2日（3日・書記）

葛西 順子 ルシア

私は昨日のうちに日誌を書かなければいけなかったのですが、なんだか、ガックリ、グツリして考える気力もありませんでした。

でも今日はもうだいじょうぶです。

研修課題口述発表は10：20に松田研修課長の挨拶で始まりました。お客様としては、言語治療の神山先生、現代日本研究のフェウラー先生、アルク出版社の西岡さん、日本語教授法の名柄先生、坂根先生、土井先生でした。丸山先生は何故かご出席されませんでした。残念でした。

十二人の発表は広美から始まりました。

広美→テーマ：日本文化とカナダ文化の比較

明楽→ : 先生もいろいろ

真弓→ : バイリンガリズム

光ちゃん→ : 教授法

直美→ : 日本文化－茶道－

私→ : 日本人の心・人間関係

郁代ちゃん→ : 漢字教材作成（低学年）

カチア→ : 年中行事と日本人

ナツコ→ : 外国から来た浦島太郎

希美→ : 知能テスト

美樹→ : 低学年の指導計画案

丸ちゃん→ : 生徒に興味を持たせること

一人ずつ15分ぐらい話しました。中には25分スピーチしてもたりないくらい話した人もいました。

発表の後、先生方のご講評をいただき、いろいろ為になるアドバイスをうけたまわりました。

私にとってこの口述発表を終えたことはこの一年を通してやって来た一つの段階で、自分でも今まで何をやって来たのか、いろいろ考えさせられました。帰る日がだんだん近づいてくるのも感じ、本当に自分にも為になる研修をして来たのだろうかと思ったりと淋しい気持ちと不安でいっぱいになりました。

私達がどんなにガンバッテイルかを坂根先生にみとめていただきました。そのことをご講評の時におっしゃって下さって、とても言葉にならないくさいいろんな感情が私の中におしよせてきました。

残り少ない時間を今よりもっと有効に使って、有意義な人生の一時期にしたいと思います。皆さん、お互いに助けあってがんばりましょう！！

今日のところはこれくらいにしておきます。

節分の日でした。51期生達のおかげで、日本の年中行事の楽しみを一つ味わうことができました。(あとのおそうじがちょっと大変だったけれど…) どうもありがとう！！

2月3日 金曜日

木村直美

今朝、9:45の集合で江崎さんと昨日の研修課題口述発表について反省会をしました。

今日の授業は3時限とも斎藤先生で、10:20音声から始まりました。音声の授業は今日で最後なので、先生は昨日の発表会について一言もふれないで、プロミネンスについて授業を進められました。

後は教材研究で、NHKニュースの教材使用法を説明してくださいました。

3時限目は、研修課題指導だったので、先生は昨日の発表会の時間の配分、内容について話されました。

2月6日 月曜日 晴

清水理恵 カチア

最近ずっと晴天の日が続いています。

新しい週の始めにふさわしい朝です。

今日も9:45に江崎さんと全員集合。今日は3月の日程表をいただき帰国までのあと二ヶ月のスケジュールをさっと見てみました。

今週はとても楽しみにしてるスキー旅行があります。今からもうきうきしています。

10:00からは丸山先生の日本事情の授業。

今日の内容は江戸幕府の「鎖国令」についてでした。

どのように鎖国政策が廃止されたのか、ペリー東インド艦隊司令長官が日本に来たことなどを分かりやすく説明していただきました。

丸山先生は日本のことだけではなく、そのころの世界の動きと同時の日本の歴史を教えて下さる

ので、とても分かりやすいです。

午後からは、研修課題指導がありました。

その後、14:50から初めて神山先生の言語治療の授業でした。

まずみんなで「言語障害とは何か？」について考え、一人ずつ自分の考えていることを言った。

言語障害にはいろいろな原因があり、ひと口でこれだと言えないものである。脳の損傷、心理的な問題、発声発音器官の異常など、さまざまな原因があることを教わりました。

それから手話とジェスチュアもいろいろありますが、国によって表し方が異なってきます。文化的なちがいが、身振りにもはっきりと表れるのですね。

2月7日 火曜日 晴

土屋真弓

9:45 集合

-丸山先生の補講-22日にするか、24日か。

-帰国準備-荷物など。

10:20 意味・林先生

- | | | |
|-------|---|------------------|
| -自動詞・ | { | 無意思性 - お茶が入りました。 |
| | | 無責任 - 皿が割れた。 |
| -他動詞・ | { | 意思性 - お茶を入れた |
| | | 責任 - 皿を割った |

- 教える順番 - {
- ①自動詞 ②他動詞
 - ①他動詞 ②自動詞?

教師は具体的な例、アイデアを持っていないといけない。

13:00 対照言語研究-加納先生

文法・中国語の文法上の特徴

- ・語形変化がない
- ・虚詞の省略
- ・語句の構成に対する音節数の影響

中国語のシンタクスの基本型

” 可能表現

” 敬語

” 故事成語

音声組織について

14:50 対照言語研究・石川先生

敬語

—手紙の結び・敬句、草々、かしこ (atenciosamente)

—謙遜語・小生、家内、愚息

—「お」の誤用・お奈良へ行きました。

お床(男)を用意して下さい。

—先生、尊敬の氣持・「私は先生です」はおかしい。

ことば

—手相、色相などがあるように、語相がある。

—和歌をわざと字あまりにするなど、ことばにも「遊び」がなくてはつまらない。

—状況に応じて意味内容を把握する。

19:30 9、10日のスキー旅行の説明・51期生、子弟研修生、Bコース全員集合

—引率者、徳永総務課長、江崎さん、井口さん

—日程表の説明

—部屋の割り振り(女子)を決める

2月9日 水曜日

井上明楽

今日午前、二人の先生が初めて講義を行いました。西岡先生(日本語教育特殊講義)とファウラー先生(現代日本研究)。西岡先生は株式会社アルクの日本語事業部の編集局長で、授業をどう進めたら良いかわからないから、質問をしながら進めて行こうと言いました。先生は日本の日本語学校について色々な情報を伝えて下さいました。それにアルクが出版した本を紹介してくれました。

ファウラー先生は日本の小説家二人作品(志賀直哉の「網走まで」と津島佑子の「歎きの島」)を比較しながら授業を進めていくとしました。今日は「網走まで」を解剖しました。

谷先生は会話文をどう書いたら効果的なものになるかを教えて下さいました。

明日はいよいよスキー・・・・・・・・・・・・・・・・

2月9日 木曜日

丸岡 アウベルト 義彦

子弟・日語・移住研修生合同スキー研修旅行で、35人が朝8:55にセンターを出発して、12:05に越後湯沢についた。

湯沢ビューホテルでスキーをする準備をして布場スキー場へ行った。

このスキー場で面白かったこと、「たすけて!」「まえをどきな!」「あぶない!」などの大声が山の奥に響いてた。私は転ぶことに関してはギネスブックに入れるぐらいであった。

だいたい17:00にホテルに戻って、19:00頃に夕食をして、私に関してはあくる日が一番の楽しみであった。それは雪が降ると天気予報で聞いたからであった。

「今日はスキー…スキーは好きより体験したい!」という気持ちが研修生たちの中で多かったと思う。

「雪のことはリングさんから…」



2月10日 金曜日 雪!

若林 広美 リンダ

今朝、8時に皆と一緒に朝食をとった。皆の大好きな納豆が出て、何も残さないようにおいしくきれいに食べた。この集会で、江崎さんが今日の予定を知らせて下さった。

午前9時30分前に布場スキー場の初心者コースの所で集まった。午前中、スキー教師に教わった。二つのグループに分けられた。一つは初心者で滑ったことがない人。そして、もう一つは初級者で少し自信がある人。三つ目のグループは中級者と上級者で教わりに行かなくて、真っすぐスキーをしに行った。

皆は適当に昼食をとって、午後2時30分まで自由にスキーをした。ほとんどの研修生は初めてスキーをしたが、この二日間のために皆滑れるようになった。

日本へ来てから初めて雪が降るのを見た。朝の雪は半分雨だったから、スキーウェア、手袋、帽子、全部びしょりぬれた。それから、午後から大雪が降って来たので、スキーする時にはちょっと見にくかった。カナダでもいろいろな雪が降る。一番きれいなのは、綿みたいにくわくわくして、夜になると、ダイヤモンドが入っていると思うようにびかびか光る。

午後2時30分にスキーを返して、湯沢ビューホテルへ戻って、シャワーを浴びて、スキーウェアを返して、3時30分にホテルを出発した。越後湯沢駅の辺りでお土産の買物をして、4時12分の新幹線に乗って帰った。夜の7時にセンターに着いた。

研修生の大部分は初めてスキーをしたが、だれもけがをしなくて、皆無事に帰って本当によかった。今度は、子弟研修生と移住研修生と一緒にいったから、このスキー研修旅行はとっても楽しかった!江崎さんも一緒にスキーをしたら、もっと楽しかったわよ。

カメラマンの江崎さん、ご苦労様でした。徳永総務課長、江崎さん、井口さん、この二日間の間いろいろな世話になりました。誠に有難うございました。とっても楽しかったです!

2月13日 月曜日 晴れ

小田 希美

1時限 日本事情の授業では、日本の近代化、開国と倒幕、近代国家への移行 ((a)維新の諸改革(b)文明開化、富国強兵(c)明治の主な出来事) について詳しい説明がある。

12時頃 帰国する中学生の研修生を見送る。

2 時限 研修課題指導

3 // 言語治療の授業では脳のメカニズム、失語症の定義、言語障状、標準失語症について学ぶ。
検査は実際教室の中で行う。

神山先生の授業にはすごく興味がある。

授業後、神山先生からいただいた知能検査を読む。

*明日はバレンタインデーです！

2月14日 火曜日 晴

出 合 美 樹

-明楽と丸ちゃんチョコレートもらってうれしそう

中西先生は少しおくれて授業に入る。中西先生は、日本語を教えて18年目だそうで、とても経験がある先生で「日本語・個人教授法」という本を書かれた方である。

自己紹介から始めて、個人的な日本語に対して又は教えるにあたって、どんな問題があるか聞いて下さった。そして、問題点を3つに分けて、それに対して先生なりの答えを教えて下さる。

○日本語に対しての実力、教授法、内容についてどうするか。

-それなりに苦労して研究して行けば、それで良い。しかし、うそと分かればそれを教えない。

-文法的にむずかしい事はあと回しにして、先に興味がある事を教える。そして自信を持たせる。

-教科書はかならずいつか自分で作れるようにがんばる。

-Total 時間数を検討してゴールを決める。それによって内容をさがす。

-動詞のグループ分けの方法

-基本構文：時間→場所→目的→動詞

-日本語を教える場合、現地の言語も利用してもよいが、全部現地の言葉で教えない。

-疑問文を有効に使う。

-必要な表現を六つのカテゴリーに分ける。

-長い文章を作る練習①（理由～ので —— 否定又は肯定）

あいまいな表現を文章の最後につける②（とします、～でしょう、～のような気がします）

③（もし～たら）仮定

④（て～で）時間、時

-最低限20の動詞を教える。朝起きてねるまで

-敬語の使い方。

-前おき表現。

-新聞の切りぬきなどを生徒に合わせて書き換えて使う。（中級）

- 地図を教える場合は、見せないで説明にそって書かせる。
- 電話の場合、相手が見えないから身内じゃない人に対して敬語を使う。
 - さそい、伝言を伝える、さそいをことわる場合
- 約束を守れなかった場合、いいわけのしかた。
- 面接でかならず聞かれる事を教える。
- 日本に来た時必ず聞かれるような質問を教える。
- ことわざ導入(上級)外国のことわざと比較する。
 - ひとつのことわざに対して、その反対のことわざもある。
- マンガを使って会話やことわざなども使う。
- テープを聞かせて書かせる。そして、それをベースにして授業を進める。

今日の授業はいつもより楽しく、そして自分達にとって興味のあるものを直接教わったので、いねむりしている人もいないにひとしかった。もっと中西先生との授業があれば良かったと思う。とても実践的な事を教わった。

2月15日 水曜日 はれ

山内光子

1時限 ファウラー先生と“網走まで”と“歓びの島”を見ていった。“網走まで”は、母と女の人がキーワードだったが、“歓びの島”はどうか。

作者は何を言いたいのか。

皆とても深い所まで読んでいるのにはおどろきました。

今日でファウラー先生との授業はおわりです。たった2回しかなかったけど、日本文学の読み方、キーワードのさがし方など、これから小説を読むのに役にたつことを色々教えられた。

2時限 井下先生の現代日本研究でした。新しい先生で、OHPを使って丙午について説明されました。

3時限 谷先生の教授法でした。

今日は谷先生も最後の日でした。

帰国まであと1ヶ月半、あと少しですので皆さんがんばりましょう。

2月16日 木曜日 くもり

関口ナツコ

しばらく沈黙が続いた。口はかたく閉ざされ、センターは闇に包まれていた。ピカッ!ゴロゴロゴロ…(雷の音)

暗い、くらーい雰囲気国際協力事業団の建物に漂っている。というのはウソ。単に、私がしゃべるのがおっくうになっただけ。

例の関口さんのだんまり発作が出た。

いちいち細かい事やプライベートな質問をされるのがもともとキライだけど、何ヶ月に一回かは、もっとキライになる。だから最近話さない。

まあ、個人的な事はさておき、今日の授業は一日坂根先生。

午前は「日本語学習者の多様化」というプリントを読みながら、文章を書く時の注意について習った。文の流れや、終わりなどについて勉強し、その他に日本語学習者についての事情を話し合った。

海外の地域別日本語学習者の図を見て、中南米が全体の 5.4%しかないとは以外。

お昼ごはんはあんかけ、かたやきそばにシューマイ、みっちゃんと一緒に食べてる時、お掃除のおばさんに「美女が二人一緒にいる」と言われてごきげん。いつもおばさん達は落ち込んでいる時に楽しい話しをしてくれるから好き！

午後は「気」という字について。「気」と「心」の違い。

どう違うかと聞かれて、説明するのはむずかしい。ただ、なんとなく自分でわかっている…つもり。教師失格！

この授業の始めに、坂根先生に、まず「気」のつく言葉を知っているだけ書きなさい、と言われ、その後、書いた言葉によって性格が表れる、とじょうだんで言った。みっちゃんは「気になる」、マユは「気が強い」、と書いたけど、さあ、どうでしょう？ちなみに私は「気になる」と書いた。

ここでクイズ「気にかかる」「気にかける」

「心にかかる」「心にかける」

さて、違いを説明して下さい。答えは坂根先生まで。

研修課題ももうすぐ提出、間にあうでしょうか？

2月17日 金曜日 雨

宮 脇 郁 代

雨降りの天気、寂しい日。

9:45 江崎さんとBコースの集りである。

10:20 初めて担当されるタイラー先生、日本文化研究の授業である。

—明治時代に、ウィリヤン ブライアンが日本の人々に弁舌する時の、挨拶の言葉の間違いの笑い話。

—アメリカにおける日本語教育

1940-1970 大学院で教えていたesotericな話。

1970— 大学院だけでなく日本語のクラスを作る。

目的は日本の一つの生活、社会、文化、宗教を学ぶ。

1980-1981 大学院の他、学部生が増加する。

目的は経済、ビジネスのようにかわる。

- 13:05 文法を担当される井口先生
-表現形式の補筆練習
-助詞の「は」・「が」の復習
-省略できる名詞と名詞句が主題になった時
- 14:50 日本語教材研究を担当される名柄先生
-自己紹介
-日本語教になる総合的注意
-言語教育理論の発展

16:40 総務課長が今度の月曜日に避難訓練の実施要領を話す。
昼食後、開発青年が中南米へ出発するので見送りに出る。

2月20日 月曜日 晴れ

葛西 順子 ルシア

また新しい一週間が始まる。

江崎さんとの集り、10時から丸山先生の日本事情、2時限目の研修課題指導と3時から言語治療・神山先生の授業があった。でも今日はいつもの月曜日と一つだけ違うことがありました。それは、避難訓練のことです。ベルがジリジリ鳴りだし、皆、非常階段から降りないといけないのです。直美はスキーでねんざしたので、ピョコピョコ歩くんだけど、早いこと早いこと。信じられないくらいでした。

片足でも直美はぜったい逃げおくれなことがわかりました。よかったね、直美！！

2月21日 火曜日 晴れ後曇

木村 直美

この頃は、研修課題提出の為、Bコースの者は、夜遅くまで頑張っているの、朝は大変のようです。

でも江崎さんの集合で、教材のリスト、帰国の荷物の話が出ていましたが、帰国まで後37日です。今日の1、2時限は文法、井口先生でした。先週の省略文から、「助ける、手伝う」「ある、持っている」「行く、来る」の使い分け、こそあど、丁寧さを表すもの、等の練習問題を通して、勉強しました。

3時限は、日本語教授法、名柄先生でした。先生は教授法発展の理論的考察について、詳しく講義してくださり、ときどき聞き慣れない専門用語が出てきたりして、とまどったりしましたが、先生はみんなの質問にも分かりやすく答えてくださり、とてもいい授業でした。残念ながら今日で終わりです。

部屋にもどると、又研修課題にかかるが、なかなか思うように進まないの、気があせるばかり

です。

(この足のため、みなさんには大変お世話になり、申し訳ありません。)

2月22日 水曜日 晴のち曇

清水 理恵 カチア

朝は江崎さんと集会がありました。その時、今夜のパーティーのことを思い出して下さいました。

10:20からタイラー先生の授業。

まず先週の復習。皆に質問しながら、先週教えてくださったことが頭に入っているか確認された。

タイラー先生は学生に日本文学を教える前に、文化論について話を始められるそうです。

日本の六月ごろは、梅雨の季節であり、一ヶ月間ぐらい雨が降り続きます。水田でお米を作るのも日本的だそうです。

そのような自然がその国の文化に影響していることを教えていただきました。

日本文化は“しめっばい”というのも梅雨に関係があるのではないのでしょうか。和辻哲郎の「風土」も、そのように日本の自然がその文学作品の背景に表されています。先生は他に、いろいろな作品も紹介してくださいました。

午後からは井下先生の授業でした。

今日のお話は贈り物についてでした。

私達の国々(カナダ、ペルー、ボリビア、アルゼンチン、パラグアイ、ブラジルと日本)の贈物をする習慣について話し合いました。

国によって、贈ってよい物とあまり良い意味を持たない物があること、相手によって喜ばれる物などいろいろ教えていただきました。

それから、のし袋と水引についてもお話を聞きました。

夜はセンターでパーティーがあり、おいしいものがたくさん並べられていました。このようなパーティーは、センターで生活している私達研修生にとっては、とても楽しい一時なのです。

ごちそうさまでした!

まゆ おそくなって ごめんね

2月23日 木曜日 曇

土屋 真弓

今日は3限とも坂根先生の授業でした。

午前中の授業の内容は「ワードプロセッサ、変体少女文字の時代と書写教育」でした。

書写教育に関しては、字は弁別機能が果たせさえすればよしとする立場と、厳密に日本の字体にしたがって書かなければならないとする立場があります。

書写教育を、日本語教育辞典にあるように「作文に至るまでの基礎的な訓練」と見るのなら、ワープロ使用の教育こそふさわしく、自分のために書く場合(日記、ノートなど)なら、横書きの筆

記体として変体少女文字の機能性も見のがせない、とのことでした。

午後はまず読みとりの試験があり、先週勉強した。「『気』のつくことば」の続きのプリントが配られました。

ほとんどの人が研修課題の指導を受けたがっていたので、午後の授業は早目に終わりました。

2月24日 金曜日 雨

土屋 真弓

大喪の礼で今日はお休みです。ブラジルのサルネイ大統領も来たそうです。

とにかく今日はどこも休み一要するに遊びに行くこともできないから、研修課題を進める…予定です。

2月27日 月曜日

井上 明楽

一時限目、丸山先生（日本事情）、先生は大正時代の初めのころに付いてお話ししました。実際にその時代を生きた、又は実際に戦争に行った日本人の立場からお話しして下さいました。二時限目も丸山先生でした（研修課題指導）。

三時限目は神山先生でした（言語治療）。最後の授業でして、締め括りをしました。

これから、また研修課題、もういやだ。

2月28日 火曜日

丸岡 アウベルト 義彦

一時限目は斎藤先生の授業であった。日程表には教材研究となっていたが、先生から一月以降のあたらしい先生の授業などについて、私たち（Bコース）の評価、意見などを午前中の授業であった。

午後は研修課題指導であった。

研修課題提出の日が近づいてきたので、一年間の中で一番忙しい時である…「そういえば研修課題をしなければならぬので……」

3月1日 水曜日 雨

若林 広美 リンダ

今朝の集合で江崎さんが、玉川大学でAコースの先生と一緒に受けた授業のアンケートと、今週末の玉川大学研修旅行についてのお知らせを下された。

午前10時20分からは斎藤先生の現代日本研究の授業であった。皆に「日本語教師読本」と「第2回日本語教育能力検定直前対策」という日本語ジャーナルを下された。ファウラー先生が書かれた「日本語の『国際化』に思う」という記事が「新潮」という文学雑誌に印刷されて、そのコピーも下された。いろいろな文学雑誌について説明して下さいました。研修課題を明日提出しなければならぬし、皆は眠そうな顔をしていたので、授業を11時15分に終わらせて下さった。

午後1時から4時30分までは新しい先生、三澤先生の対照言語研究の授業であった。まず、三澤先生は自己紹介をなさった。次に対照言語学とは何かを説明して下さった。それから、マダガスカルと台湾の二言語併用問題について講義して下さい。マダガスカルの民衆は、クレオール語しか話せないが、教育をフランス語で受けなければならないということである。けれども、フランス語は分からないので、教育はちゃんと受けられない。それで、教育を受けないと、いい就職ができない。いい仕事を取れなかったら、経済的に生活は貧しくなるということである。台湾で日本人が台湾人と結婚している場合がある。台湾では台湾語とマンダリン語（ペキン語）を使っている。けれども、教育をペキン語で受ける。それで、現代の若い人達はペキン語しか分からないので、日本語しか分からないおじいさんやおばあさんと話が通じないことがある。こういうことをどうやって直すかは、まだ現在の問題である。今日は、三澤先生の最初で最後の授業であった。

研修課題のために後もう少し頑張って、提出したらちょっとほっとすると思う。

3月2日 木曜日

出 合 美 樹

今日は、研修課題提出の日だったので、みんな忙しそうにしていた。そんな私達の状況を見て、坂根先生は今日の授業を休講にして下さった。皆、夢中になって研修課題を完成させた。そして、17:00に提出することができた。ここ一週間、皆あまり睡眠をとっていなかったの、とてもつかれていた。

3月3日 金曜日

出 合 美 樹

今日は朝から丸山先生、坂根先生と井口先生が提出した課題を、審査して下さい。私達はその間、斎藤先生と授業があった。午前中は学位制度について話した。午後の教材研究の時間では、日本語教育ビデオシリーズ⑥と⑦の中に出てくる語句のリストを選ぶ時の基準について教わった。

3時30分からは、研修課題審査の個人指導があった。自分達が思ってもみなかった、好評をいただいた。「ホッ」としている人や、まだまだもう少し課題に手を加えるという人や色々な。とにかく、ひと息ついている所だ。

3月4日 土曜日

小 田 希 美

箱根研修旅行 1日目

ロビー集合 9時30分

横浜駅南口改札口で長野先生と10時に待ち合う。

2日間の係りの担当について説明がある。

早速、係りの人達が切符を買い、10時20分頃横浜駅を出て、目的地の彫刻の森には12時すぎに着

く。

昼食後、4時30分まで自由に見学する。

雨の中をびしょめれになりながら、巻貝の広場、ミケランジェロガーデンを歩きながら見学する。

ピカソ館、本館ギャラリー、シンフォニー彫刻等も見学する。

ホテルには5時30分頃着き、お風呂後夕食をする。

夕食後、9時20分から二次会があるが、その前に私は寝てしまい、でない。

3月5日 日曜日

山内光子

今日は旅行2日目です。あいにく朝から雨がザーザー。いったいなぜ神様は泣いているのでしょうか？！

AM8:30に朝ごはん。朝はゆうべとちがって皆ちゃんと服を着ていました。私はGパンで正座ができなくて…(ひとくろうー)

AM9:45にロビーに集合です。その前におみやげを各自買って、(センターのも買って)ホテルを出たのは10時過ぎていました。それから観光バスで箱根めぐりに行きました。バスは11時発。まず強羅へ行き植物園へ。それから、ケーブルカーで早雲山へ。早雲山からはロープウェイで桃源台まで。この時、だんだん上にあがるにつれて雪。だれかさんは、「まるでこのまま天国へのぼるみたい。」とっていました。本当に普通の日では体験できない別世界。さてロープウェイをおりて昼食です。皆それぞれに好きなものを食べました。

それから観光船で芦ノ湖をわたって箱根町まで、ここでも外の風景はあまり見れなくて残念……箱根町では関所へ資料館、ここでは雪…いえみぞれがぼたぼたと雨といっしょに。誰だったか「これは雪ではない。シャーベットだ!!」という人も。そういわれてみれば……それから又バスにのって最後の甘酒茶屋へ。ここでは6人と長野先生だけがおりて、先生に甘酒をごちそうしていただきました。バスは小田原の駅へ着き、観光バスとさよなら。

私達はお茶をしに13人で喫茶店へ。何と先生をふくむ10人はチョコパを食べました♡駅でわかれて小田原で買い物をする人、センター直行の人、半々ぐらい？

それから先生はもちろん先生宅へ。

長野先生、2日間ピーチク、パーチクうるさい12人のおもりのごろう様でした。

とても良い思い出ができました。

3月6日 月曜日

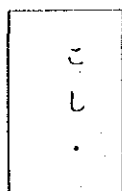
関口 ナツコ

丸山先生の授業では、大東亜戦争(太平洋戦争)から真珠湾攻撃までの歴史について勉強した。

歴史は、ブラジル学校で習っただけなので、別の国(日本)で習うと、また別の観点から見る事ができるので、興味深い。

時代の流れは、記す人、又は国によって異なるので真実が知りたくなる。だが、これは不可能だろう。

午後は河原崎先生の教材研究、ひらがなの教え方について自分がやってみたいと思ったのは、「目の検査」



←生徒に読ませる

楽しみながら覚えることができる

・ひらがなと、その国の言葉・イメージを合わせる。

Sole

Kite

・ひらがなを先に教えるのは、カタカナより多く使用されるため。

・九十分の授業で、十ぐらいの字を教える。

帰国するまで、後少ししかないのに、全くそんな気がしない。

帰って家族に会い、ホッとした後、何を思うだろう。

この一年、日本で経験した事がどのくらい自分を変えただろう。

毎日同じ生活をする平凡な生き方は絶対したくない！

不安と期待が入り雑じる。ブラジルに自分の居場所はあるのだろうか。

3月7日 火曜日 曇り

宮 脇 郁 代

今日の授業は斎藤先生の担当でした。1限目は現在日本研究で、日本人の好奇心や模倣について教わった。

次の時間は教材研究でした。研修生個人、あるいは2～3人のグループになって白鳥先生のフラッシュカードの使い方の発表をした。これについてほめられたが、先生からの指導は無かった。

3限目は斎藤先生から研修課題について一言言ってもらった。

この後、茶道の石井先生が最後のお茶をたててくださった。1時間ほどお話をして、「日本の良い物は持って行ってください。」とおっしゃった。わざわざ挨拶に来てくださってありがたく思った。

郁代ちゃんでした。

3月8日 水曜日

葛西 順子 ルシア

今日から金曜日までの三日間、江崎さんとのミーティングがありません。

10:20から斎藤先生の現代日本研究のきのうのつづきをやった。

13:00からは、研修課題指導の時間になっていましたが、そのかわりに縄文時代の土器等についてのビデオテープを一時間見ました。

その後、吉岡先生（久しぶりでした。）の詩歌の授業がありました。先生は詩がとても好きみたいでした。なかなかおもしろい、いい詩を読みました。

前の視聴覚教材の授業よりもいきいきしていました。

とても良い授業でした。

3月9日 木曜日 晴れ

木村直美

今日は3時限とも坂根先生でした。午前中は、文語の文体について、聖書の言葉を通して勉強しました。

午後はそのつづきをして、差別用語について勉強しました。

放送などで禁じられている差別用語のプリントを配られて、それらをどういいかえたらよいか、みんなで考えました。中には、「え、これも差別用語？」と思うようなことばもありましたが、気をつけないといけないな、と思いました。

差別用語が一番多いのは、英語だそうです。

3時限は、研修課題指導を何人が受けました。

研修課題も終わり、帰国まで後20日となりました。もうみんなもそろそろ荷物を詰めかけていますが、みんな大変みたいです。

3月10日 金曜日 晴

清水理恵 カチア

今日の1時限は齋藤先生の現代日本研究の時間で「東日本と西日本」のテキストと一緒に読んでいきました。

午後からは、齋藤先生の教材研究で「技術研修生のための日本語」というテキストを使いながらシミュレーションをしました。4人のグループに分け、各グループで日本語研修のためのコースを設定してみました。このシミュレーションはまだまだ来週も続きそうです。

3時限は、河原崎先生の教材研究の授業でした。

日本人の姓を教えるとしたら、どのようにすればよいのか、皆で考えてみました。12人でやると、いろいろなアイデアがわいてくるのですね。河原崎先生はとてもおもしろい方で、とても楽しい授業を受けさせていただきました。

今回で最後というのがちょっと残念。

16:30から TUNIBRA旅行会社の人に来て、帰国便について説明して下さいました。

あと20日たらずで帰国だなんて、なんだかまだまだ実感がわかない私です。

残りわずかな日々を皆楽しく過ごしましょうね。

3月11日 土曜日 晴

土屋 真弓

今日はBコース待望の宝塚観劇の日。11時20分にセンターを出発し、宝塚劇場の前で長野先生と合流する。

「恋と霧笛と銀時計」は少し少女趣味な内容の物語。

次の「レインボーシャワー」は迫力のあるステージで、私が宝塚に抱いていたイメージ通りの華やかなダンスが観られた。

日比谷公園と二重橋、皇居前広場を歩いてまわった後、地下鉄日比谷線で築地へ向かう。夕食まで、まだ一時間ほどあったので、本願寺と魚河岸を見学(?)する。それでもまだ早かったが、他に行く所もなかったので、予約しておいた“つきち田村”へ行く。

先生が招待していた玉川の学生2人も見えて(打ち合わせに誤解があったのか、この2人は宝塚劇場の前で2時間も待っていたようだ)、主人に御献立の説明をしていただく。

今まで懐石料理は何度か食べたことがあるが、今日のが一番おいしくて、満足できた。

9時半頃解散する。

3月13日 月曜日

井上 明楽

今日丸山先生は“日本人”についてお話ししてくれました。先生が思うこと、また先生が本で読んだもの。

吉岡先生は先週はじめたことを続けました。“詩の心を読む”の所々を取り上げて読みながら色々とお話しました。詩というものはやはり難しい、けれども読んでみると結構面白い。

もう直ぐブラジルへ帰る。帰りたいけれども、今の状態のブラジルではあまり気も進まない。

3月14日 火曜日

丸岡 アウベルト 義彦

今日は3時限とも斎藤先生の授業であった。午前中は、現代日本研究で「アジアの文化・経済」、論集＝日本文化「日本語リズムの地域差」(柴田 武)などを中心にした授業であった。

午後は教材研究の授業で中間報告があった。Bコースは三つのグループに別れて〔1時限目の授業の展開〕、各グループの目標を展開した。

3月15日 木曜日 曇

若林 広美 リンダ

今朝、江崎さんとの集合で、神山先生(子弟研修生の日本語の先生)が作られたドアノブカバー人形をいただいた。神山先生に教わったことはないのに、私達にも作って下さって、とても嬉しかった。

午前10時20分から12時10分までは、斎藤先生の現代日本研究の授業であった。最初にお料理のビ

デオを見た。重要なポイントは相手に丁寧な話し方をする、ということであったが、お料理の話に入って、斎藤先生にいろいろと個人的な質問をした。次に、「季節と文化」という、桑原武夫と川添登の対談について勉強した。そして、時間がなくなって、篠田統が書いた「舌ざわり後あしー日本の味について」をちょっとだけ目を通した。

午後1時10分から4時30分までは斎藤先生の教材研究の授業であった。昨日の続きで、国際協力事業団が作られた教科書、「技術研修のための日本語（初級1）」を参考書として、三つのグループが順番に第一日の第一時限の授業のシミュレーションをした。各グループの実習の後に質疑応答の時間があって、いろいろな意見を交換した。

日が暮れぬうちに、江崎さんが研修の証明書を下さった。

あとちょうど二週間で帰国する。研修課題を終えて少しほっとしたが、まだ一年間の報告書と荷造りに忙しい。

3月16日 木曜日 晴

土屋真弓

一日中坂根先生の授業だった。午前中は、日本国憲法をとおして、口語体や旧かなづかいについて話した。

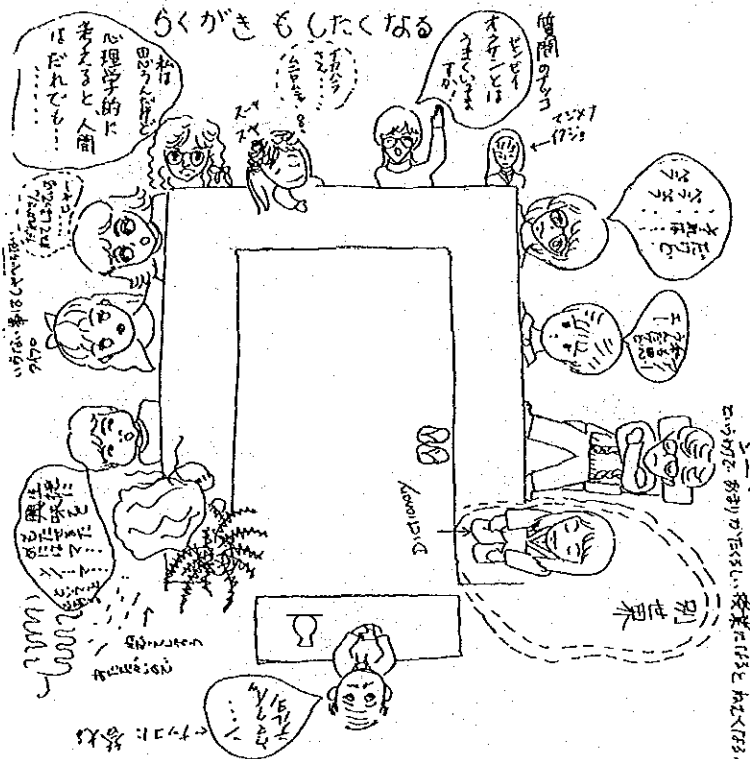
これらに出てくる用語は、特別な用語なので解釈しにくい。憲法の内容についても色々話をした。特に多くとり上げられたテーマは、天皇制度についてだった。

午後からは、日本国憲法に対立する大日本帝國憲法の、特に天皇について書いてあるところを読んだ。ここで今ブームになっている天皇の戦争責任についてもそれぞれ意見を述べた。しかし、責任が「ある」「ない」について簡単に答えてしまっても何も意味がない。日本や世界の歴史についてもっと深く研究してから、この視点にもどらないと片寄りのある、感情的な批判に終わってしまうがちである。先生が最後に「常に、何かについて疑問をもって、それを調べたり意を持つ事は大切な事だ」と教えて下さった。

夜はインフォーマルなお別れパーティーが開かれた。

それぞれがお金を出し合って、飲み物や食べ物を集めたささやかなパーティーだった。一年間もつきあってきたせいか、雰囲気がとてももり上がった。中には、はじめから最後まで踊っていた人や、お酒に酔ってあばれだした人など1人もいなくて、おとなしくお話しをしていた人もいた。今日はみんなとても楽しそうだった。

あと2週間しかなく、やーじりあまてしゆのて



美J-スの あゝこの授業

3月17日 金曜日 晴れ後曇り

小田 希美

1時限 現在日本研究の授業では、日本語の自称詞について学ぶ。

- 1 人称代名詞について
- 2 日本人が自分、相手を指すことば
- 3 日本語における人称代名詞の選択

昼食後、南米移住者を見送る。

2時限 教材研究

『青い目 茶色い目』教室は、目の色では分けられない、というビデオを見、教育について考え、ディスカッションをする。

3時限 1年間受けた授業についてディスカッションをする。

授業後、荷物をかたづける。

3月22日 水曜日

山内光子

今日は最後の授業でした。

丸山先生の日本事情、日本人の心について話をされました。午後からは、日本人の心について皆でディスカッションをしました。

やっと全授業が終わった！！

長いようでとても短い一年でした。

先生方には質問せめや、道をはずしてばかりいた私達があつかいにくかったと思います。

一年間本当にありがとうございました。

私だけ皆より先に(27日)帰るのはとてもかなしい。

だってひとりで飛行機に乗るんだよ！！

今度いつ会えるかな？又、いつか63年度的美コースが全員会えればいいのにな。

かあちゃんとして行きとどかないことばかりだと思う。

みんながいなかったらやって行けなかったと思う。

本当にありがとう。

皆がりっぱな先生になっていることをいつも思っています。

江崎さんどうもおつかれ様でした。

みんなこれからも

がんばろう！！

Peruのみっちゃん

3月24日 金曜日

関口 ナツコ

今日は午後三時から、一年間の研修報告、一人五分間ぐらい、感想を述べた。一人一人が自分の思いを話し、みっちゃんはもう泣きはじめています。じゅんと直美ももらい泣き。

私といえば、一年間の色々な思い出が頭に浮かび、ひたすら考えている。

ケンカして口をきかなかった、楽しくて笑いが止まらなかった、いらいらしてやつあたりしたり、喜びに抱きあったりした日々。

兄弟は字のごとく兄と弟で、いつも女の兄弟がほしかった私は、ここで友達以外に「姉」や「妹」ができたみたいだった…

報告会が終わり、「気が強い」美コースの十二人は全員話し終えた。

先生は席をはずし、教室には江崎さんと美コース、十三人いるだけ。

江崎さんが私達に礼を言う。とんでもない！お礼を言うのは私達の方。研修課題で江崎さんの事を書いて、ずいぶん気にしていたみたい。

だけど、父と接触が少なかった私にとって、怒られたりしたのもうれしかったんですよ。本当の

お父さんみたいで…

JICAの方々にもわがママを沢山聞いてもらった。

江崎さんが話し始めると、あれっ？目から水が流れてきた。

うそみたい。今まで人前で泣くことは一度も無かったのに。

人によく、クールとか、感情が無いとか言われているのに、玉ネギを切っているわけでもないのにポロポロポロ、バカみたい。

修了式は五時から、証書を受け取った時、信じられなくて、「本当に終わったのかな」と思ってしまった。

人間って一年という短い期間で変わるんだな、とつくづく思った。

日本に来る時、友達から「ナツコ、あっちに行っても絶対変わらないで」と何人にも言われ、「一年で、そんなに変わるわけじゃない」と笑ってしまった私。でも、変わった。

視野が広がり、様々な事に関心を持つようになった。

勉強は色々な分野に分けられているが、全てつながっているということを知り、又、あやふやな知識でなく、考えを述べる時、しっかり内容について知った上で口を開くのだ、ということを感じた。

ブラジルに帰り、日本語教師になる私は、自分が得たことを自己満足で終わらしたくない。できるだけ沢山の経験を生徒に伝えたいが、二十才の私の方が自分より年上の生徒にどれだけ話すことができるのだろうか。不安と同時に自分の表現力を使って、コミュニケーションする楽しみも感じてしまう。

「充実」という言葉がぴったりの一年だった。

この夢を実現するにあたって、協力してくれたみんなに心から感謝したい。ありがとうございました。

MUITO OBRIGADA

THANK YOU

MUCHAS GRACIAS

3月26日 日曜日

宮 協 郁 代

午前からBコース並び子弟研修生と横浜博覧会へ行きました。今日の引率は松田課長と江崎さんでした。

博覧会に入場してから、それぞれ自由に行動しました。

電子工学の技術とすばらしい人間の知能の力で、イマジネーションとファンタジーを通して科学の発展をみせていました。

博覧会は大きくて、一日で全部は見学できませんでしたが皆は楽しみました。

これが私達の最後の見学で、イメージーションのように日本での研修が終わりました。でも、この思いでは一生忘れたいと思います。

3月28日 火曜日

土屋 真弓

ぐずぐずしては不幸につかまる

急ぎすぎでは不幸に追いつく ——

これはロシアの諺だけれど、この通り、みんなあせらず気楽に、マイペースで行こうね。

3月28日 水曜日の一日前

出合 美樹

荷作りにおわれて皆いそがしそう。私もだいたい終わったので、最後の言葉を書いている。

この一年間あまりじょうずに使わなかったかも知れないが、とにかく一段落つき、「ホッ」としている。もう何も言う事がないと言えようそになる。何回もくり返された言葉だけれど、皆様に「ありがとう」の気持ちを伝えたい。

特別に江崎さんには、教えきれないほごのごめいわくをおかけした事をおわび申し上げます。本当の父親みたいに私達の相談にのって下さったり、ふざけたりしながら一年間甘えさせてもらった事は忘れません。これからも南米から来る親なし子達をよろしくお願いします。

美コースの皆様、一緒に勉強しながら、よろこびや悲しみをどうもありがとう。「とっても愛しています」

又 いつか どこかで 会いましょう…

ボリビア であいみき

3月29日 水曜日 a.m. 2:00

葛西 順子 ルシア

ペルーのみっちゃんはもういない…

みんなあしたの朝早く、森林公園へ行こうと言っている。

88年4月14日に美コース全員、初めて一緒に行った所だ。

そして初めて見る桜が満開！初めて全員の写真を撮った。

もうあれから一年たったなんて…

私の大好きな人が言ったことだが、

「別れはつらいけれど、出逢いは

それ以上、すばらしいものだよ…」

私もまさにそう思う。

本当に皆と江崎さんに出逢えて幸せ者です。

私の中にしっかり皆のことがぎざまれています。
どうもありがとうございました。

また 会う日を楽しみにして…

ブラジル 葛西 順子 ルシア

3月29日 水曜日

清水 理恵 カチア

今日私達11名は帰国する。ペルーのみっちゃんは一足早く出発してしまったけれど、何だかなんとなく「さびしい」という気持ちで胸はいっぱいです。

本当に今日が出発だなんてうそのようです。

今はAM4:00でもねむくないのです。多分興奮しているのでしょう。

この長くて短かった一年間、みんなと一緒に過ごせたことは、とてもすばらしかった。四月十二日をふり返ってみるとなんだかとてもなつかしいですね。

いろいろあったけれど、とてもいい仲間だと思っています。

又いつかどこかで、この中のだれかとお会いしましょう。

とても楽しみです。

私の今の気持は12名一人ずつ、そして特に江崎さん、私達がお世話になった方々、いろいろとありがとうございました。

キャンプに行った時のこの曲おぼえてますか？

ほんの短い時間でも心と心がふれあって……

……またいつか会える日を約束して別れましょう。

みんなで歌ったこの曲を思いだしては、美コースのみなさんのことも思いだします。

みんな お元気でね。

いろいろと本当にありがとうございました。

Katia Lie Shimizu

Sao Paulo · Brasil